

可児市
市民意識アンケート調査
調査結果報告書

平成 28 年 9 月

可 児 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	一般	2
2	若年層	76

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 27 年 10 月に策定した「可児市総合戦略」の施策の評価のための指標とするとともに、市政に対しての市民の皆さんの考えをお聞かせいただくために実施するものです。

2 調査対象

可児市在住の 16 歳以上を無作為抽出

3 調査期間

平成 28 年 5 月 31 日から平成 28 年 6 月 14 日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
①16 歳以上の市民	2,000 通	952 通	47.6%
② ①以外の 16 歳～ 39 歳までの市民	1,000 通	334 通	33.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

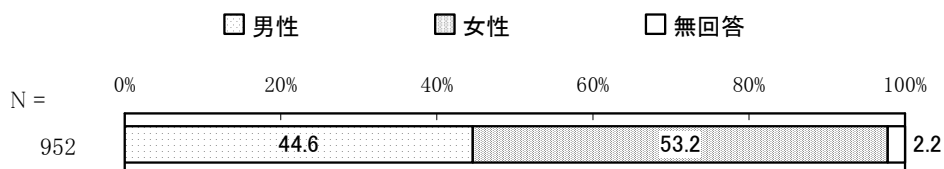
II 調査結果

1 一般

(1) 回答者属性

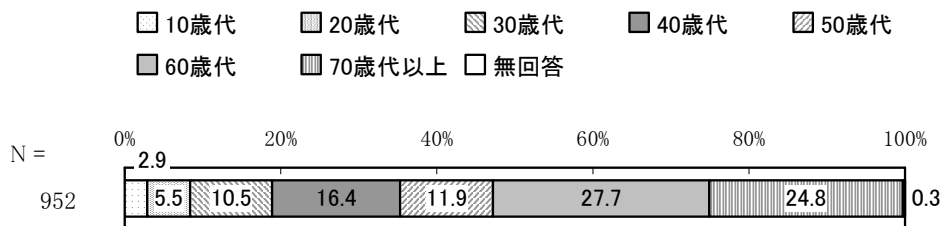
問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が44.6%、「女性」の割合が53.2%となっています。



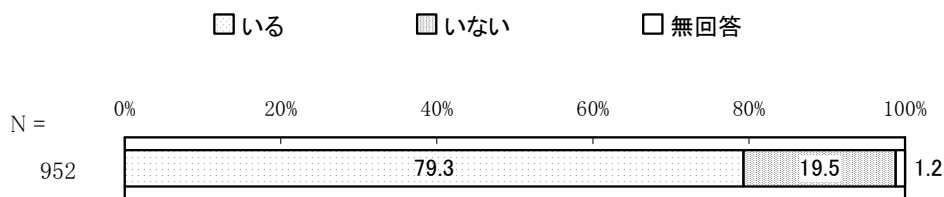
問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「60歳代」の割合が27.7%と最も高く、次いで「70歳代以上」の割合が24.8%、「40歳代」の割合が16.4%となっています。



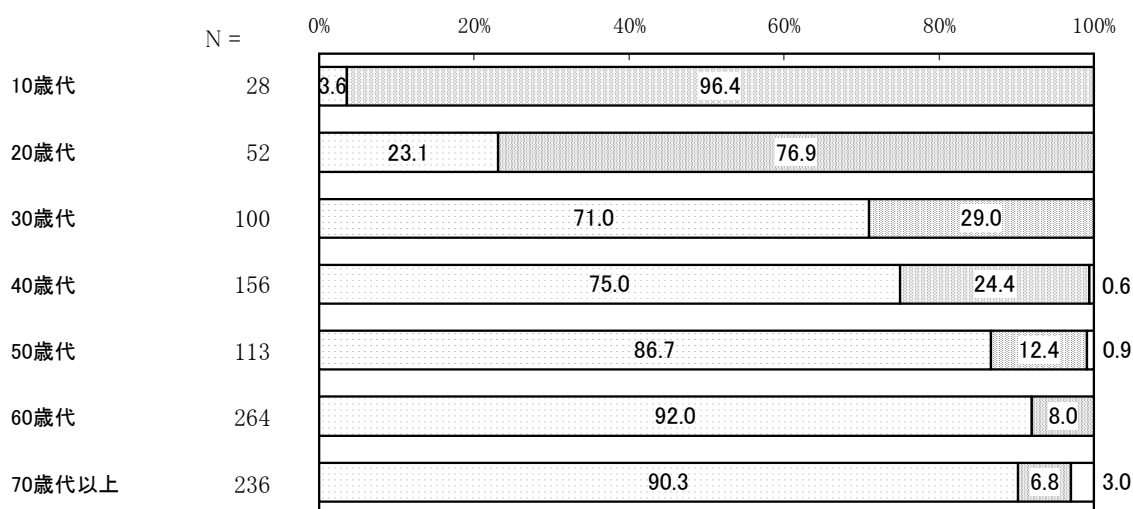
問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が79.3%、「いない」の割合が19.5%となっています。



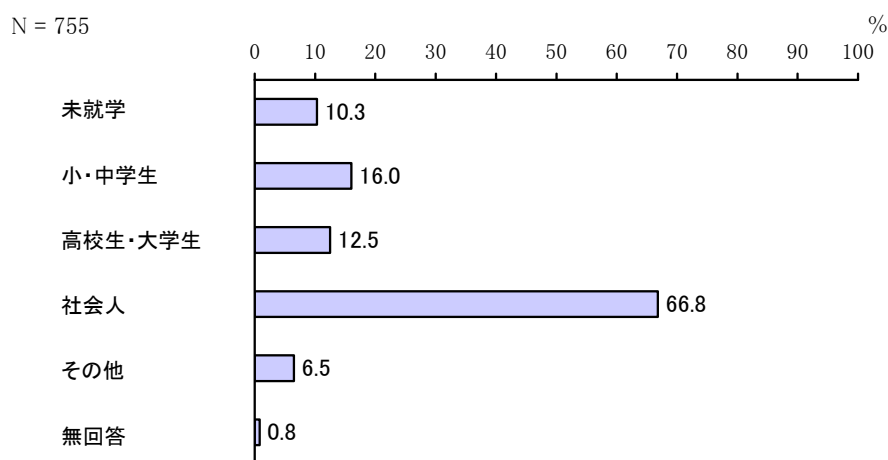
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなる傾向がみられ、60歳代以上で9割を超えています。



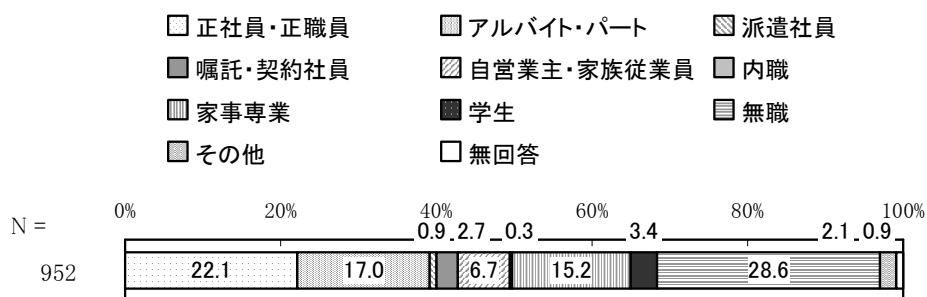
子どもの世代

「社会人」の割合が66.8%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が16.0%、「高校生・大学生」の割合が12.5%となっています。



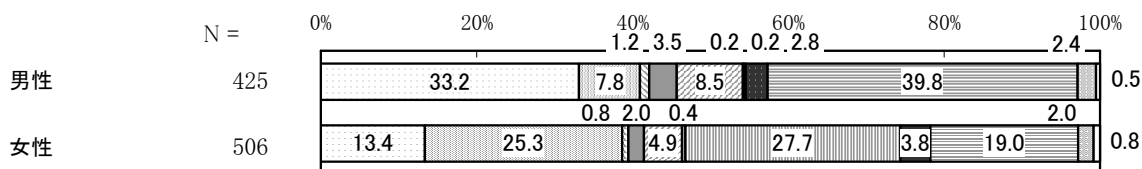
問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「無職」の割合が28.6%と最も高く、次いで「正社員・正職員」の割合が22.1%、「アルバイト・パート」の割合が17.0%となっています。



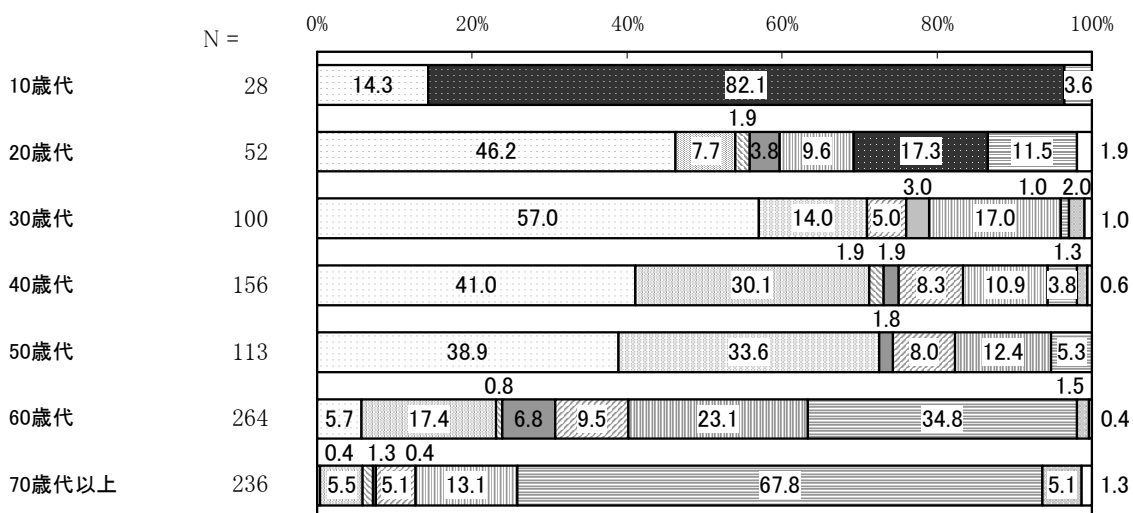
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」「無職」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。



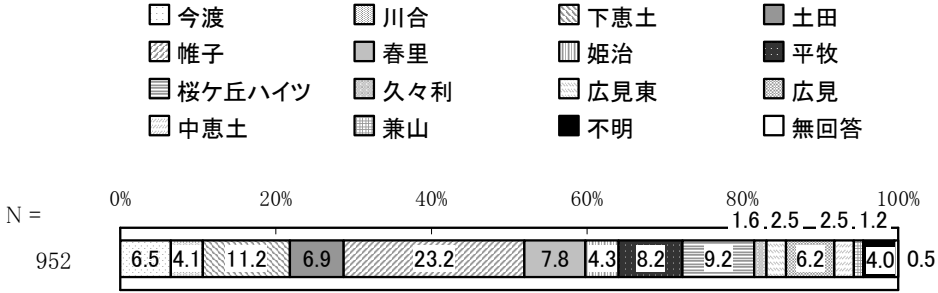
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「無職」の割合が高く、約7割となっています。また、30歳代で「正社員・正職員」の割合が、40歳代、50歳代で「アルバイト・パート」の割合が高くなっています。



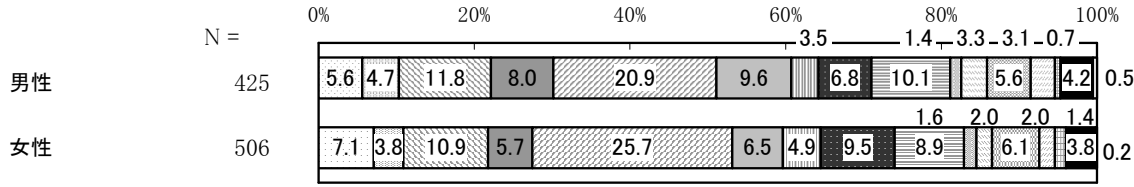
問5 あなたはどちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

「帷子」の割合が23.2%と最も高く、次いで「下恵土」の割合が11.2%となっています。



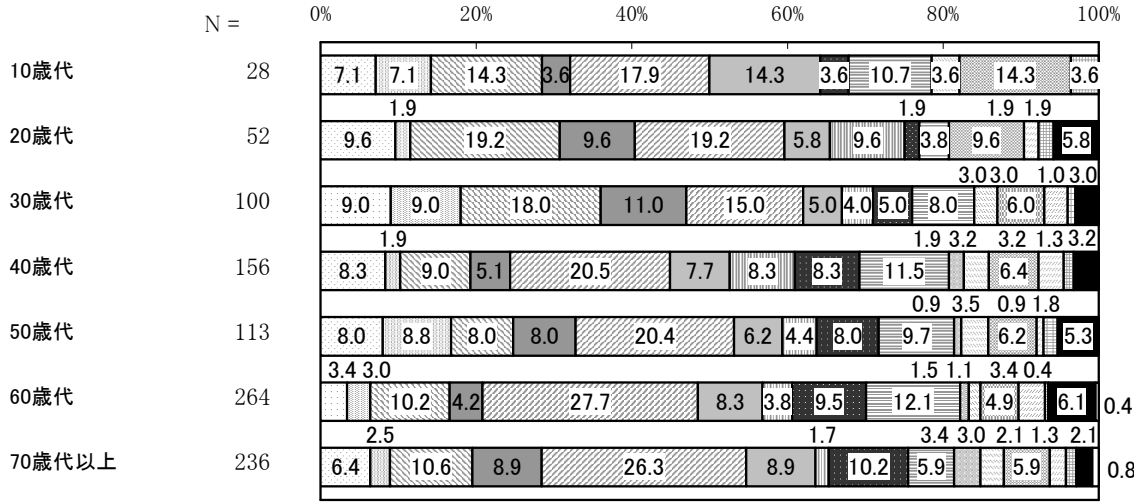
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



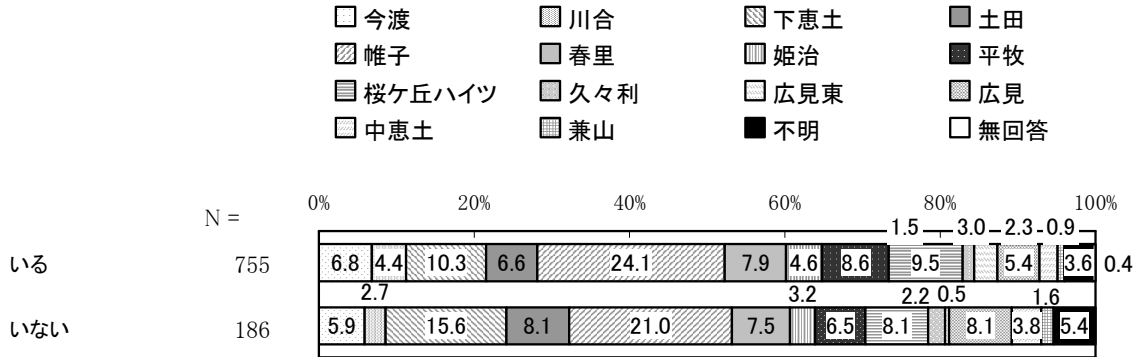
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、30歳代で「下恵土」の割合が高く、約2割となっています。



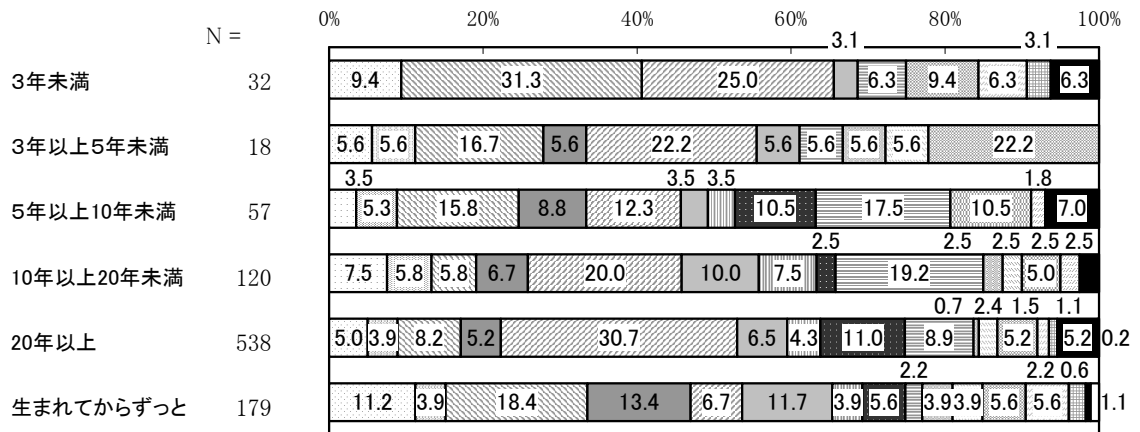
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「下恵土」の割合が高くなっています。



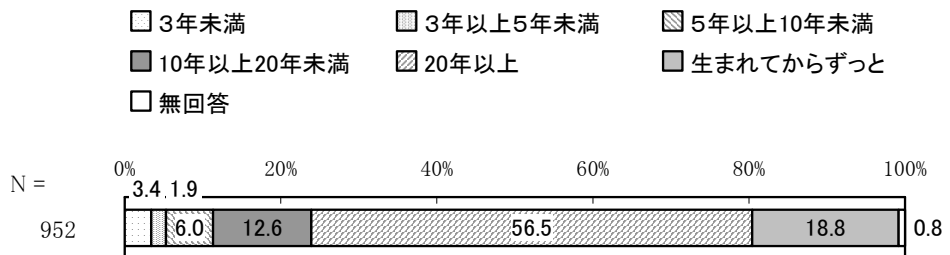
【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で「下恵土」の割合が、20年以上で「帷子」の割合が高く、約3割となっています。また、3年以上5年未満で「広見」の割合が、5年以上10年未満、10年以上20年未満で「桜ヶ丘ハイツ」の割合が高く、約2割となっています。



問6 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

「20年以上」の割合が56.5%と最も高く、次いで「生まれてからずっと」の割合が18.8%、「10年以上20年未満」の割合が12.6%となっています。



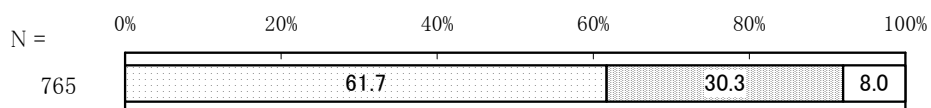
(2) 可児市への居住理由について

【問6で1～5を選択された方に伺います】

問7 どのように可児市を転居先選ばれましたか。(○は1つだけ)

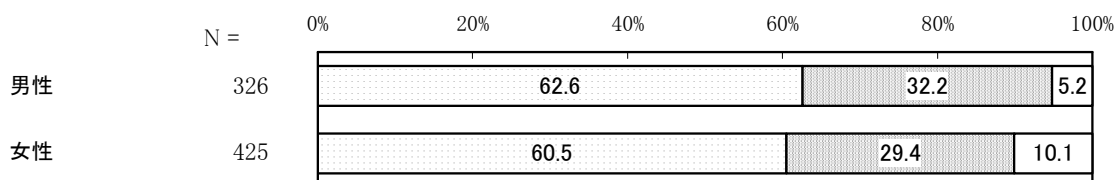
「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が61.7%、「他の市町村と比較した」の割合が30.3%となっています。

□ 可児市以外の選択肢はなかった □ 他の市町村と比較した □ 無回答



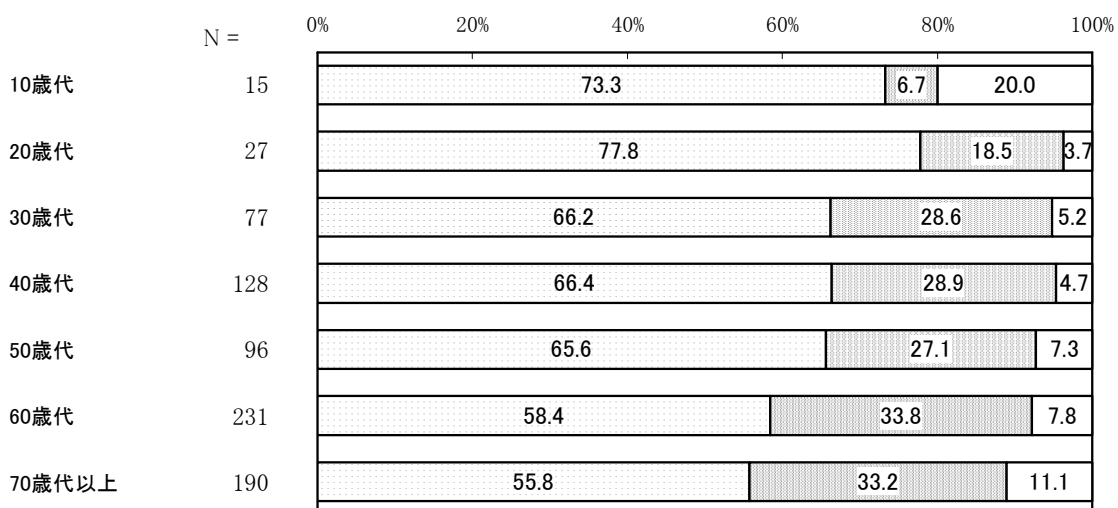
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別で見ると、10歳代を除き、年代が低くなるにつれ「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなっており、20歳代で約8割となっています。



<比較した市町村>

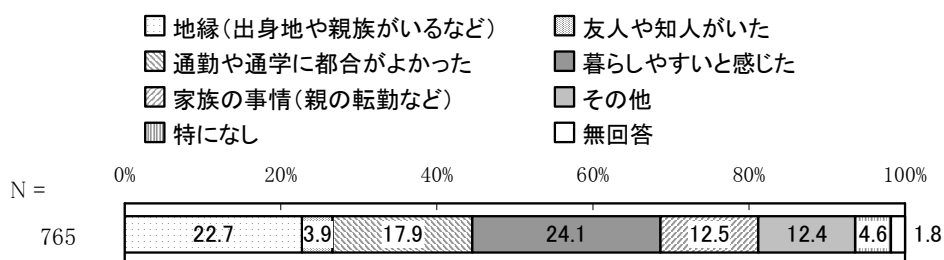
犬山市 (62 件)
春日井市 (44 件)
美濃加茂市 (24 件)
一宮市 (7 件)
御嵩町 (6 件)
豊田市 (4 件)
岐阜市 (3 件)
大口町 (2 件)
三好市 (2 件)
可児市 (2 件)
扶桑町 (2 件)
恵那市 (1 件)
稲沢市 (1 件)
大府市 (1 件)
大阪 (1 件)

多治見市 (60 件)
小牧市 (32 件)
土岐市 (7 件)
瀬戸市 (6 件)
関市 (5 件)
日進市 (3 件)
知多市 (3 件)
尾張旭市 (2 件)
笠松町 (2 件)
北名古屋市 (2 件)
知多郡 (1 件)
安城市 (1 件)
東海市 (1 件)
いなべ市 (1 件)
坂祝町 (1 件)

名古屋市 (46 件)
各務原市 (26 件)
江南市 (7 件)
岩倉市 (6 件)
桑名市 (4 件)
岡崎市 (3 件)
半田市 (2 件)
八百津町 (2 件)
瑞浪市 (2 件)
長久手市 (2 件)
中津川市 (1 件)
清須市 (1 件)
山県市 (1 件)
川辺町 (1 件)

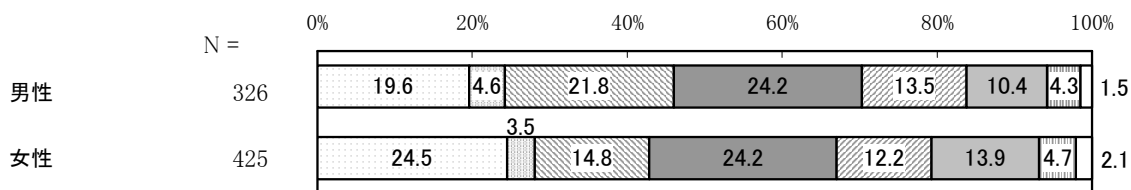
問8 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

「暮らしやすいと感じた」の割合が24.1%と最も高く、次いで「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が22.7%、「通勤や通学に都合がよかった」の割合が17.9%となっています。



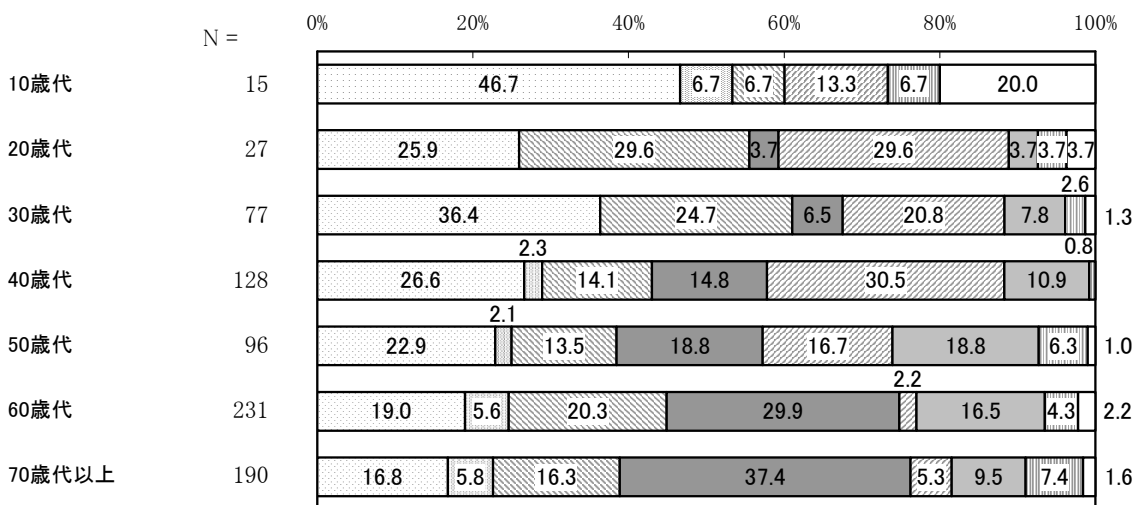
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、約2割となっています。



【年代別】

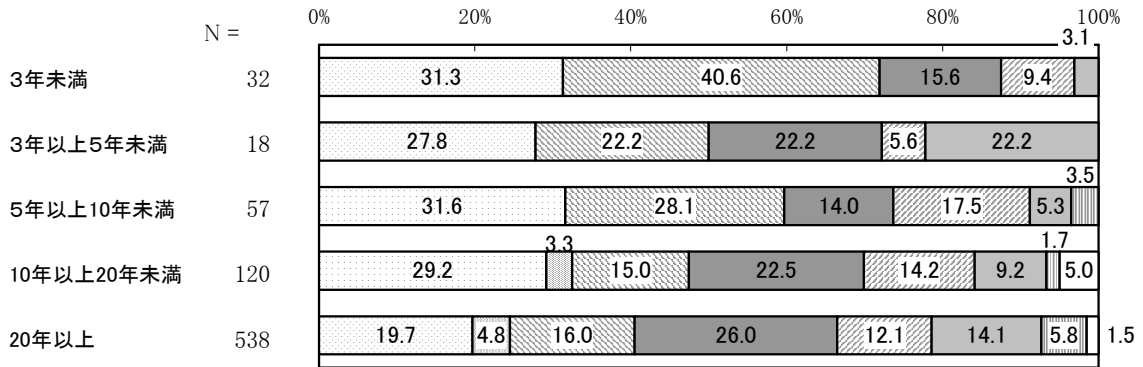
年代別でみると、他に比べ、10歳代で「地縁(出身地や親族がいるなど)」の割合が高く、約5割となっています。また、70歳代以上で「暮らしやすいと感じた」の割合が、20歳代、40歳代で「家族の事情(親の転勤など)」の割合が高くなっています。



【居住年数別】

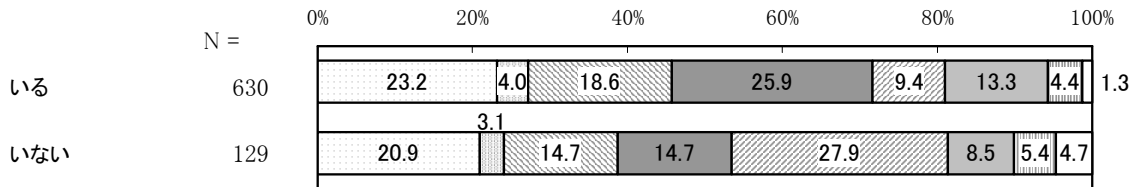
居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満で「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高く、約4割となっています。

- 地縁(出身地や親族がいるなど)
- ▨ 通勤や通学に都合がよかった
- ▩ 家族の事情(親の転勤など)
- 特になし
- ▤ 友人や知人がいた
- 暮らしやすいと感じた
- ▨ その他
- 無回答



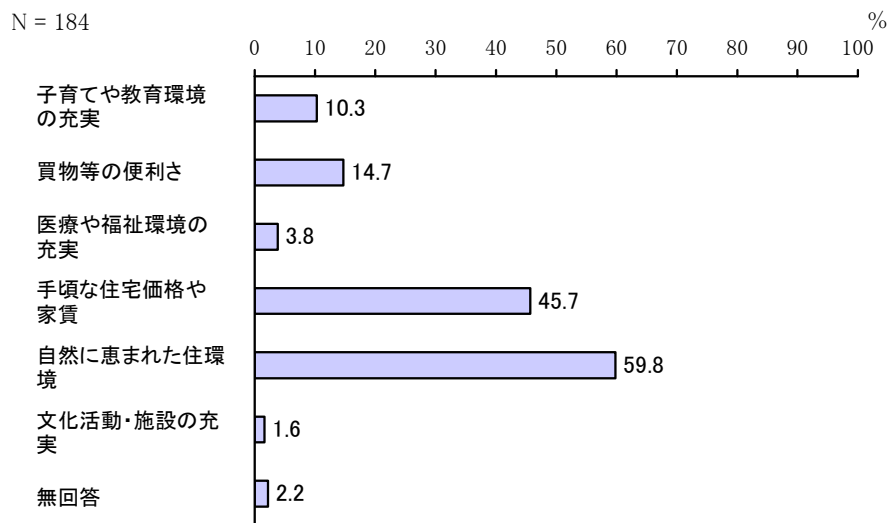
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「暮らしやすいと感じた」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、子どもがいない人で「家族の事情(親の転勤など)」の割合が高く、約3割となっています。



暮らしやすいと感じた理由

「自然に恵まれた住環境」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 45.7%、「買物等の便利さ」の割合が 14.7%となっています。



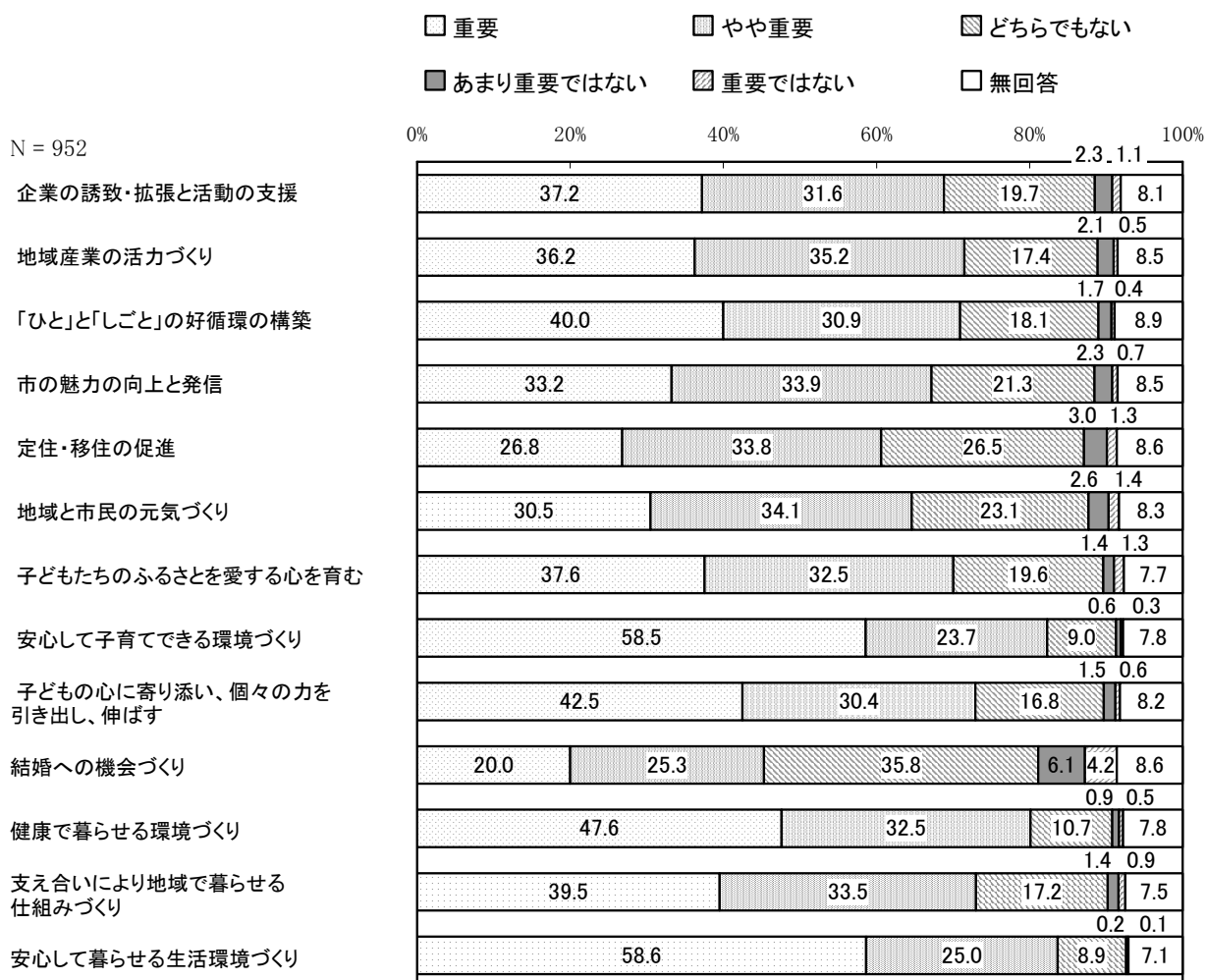
(3) 施策の重要度と満足度について

問9 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

① 重要度

『安心して子育てできる環境づくり』、『安心して暮らせる生活環境づくり』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。

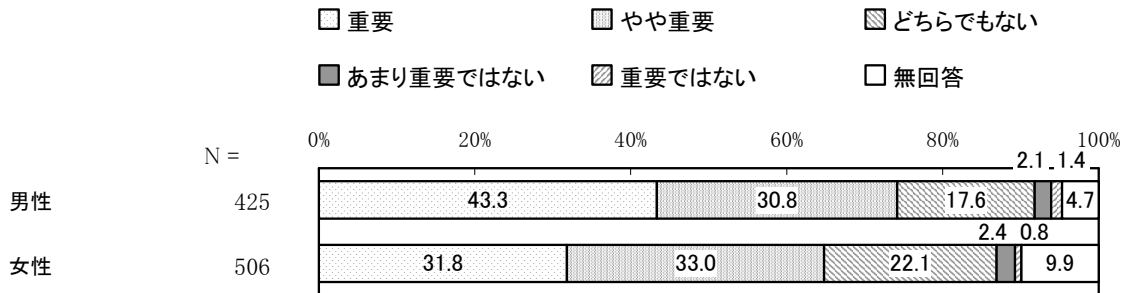
一方、『結婚への機会づくり』で「重要ではない」と「あまり重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

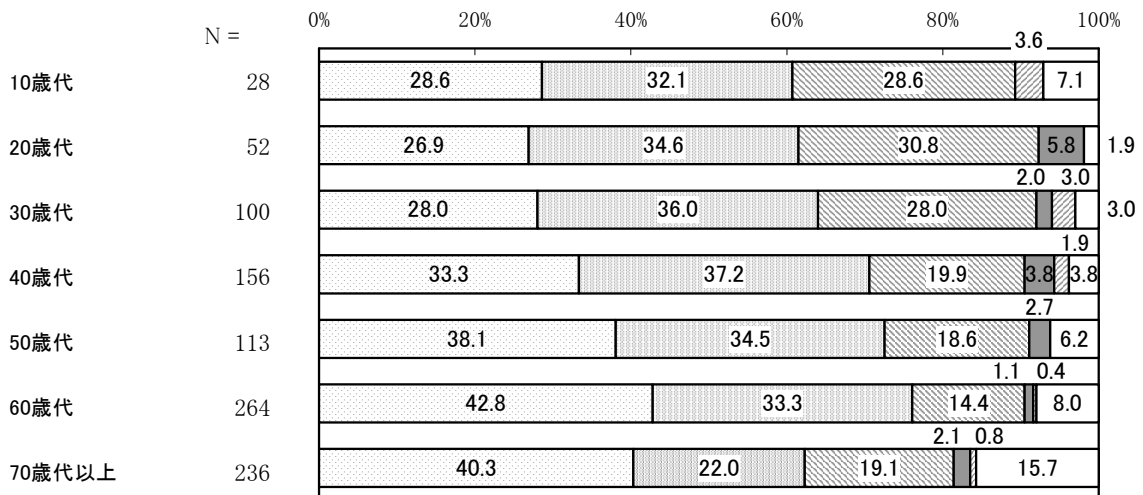
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



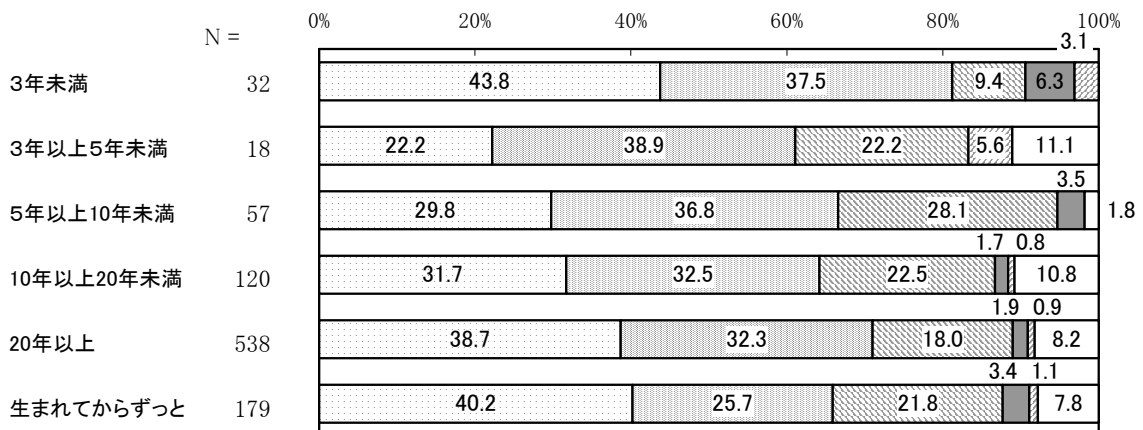
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、60歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

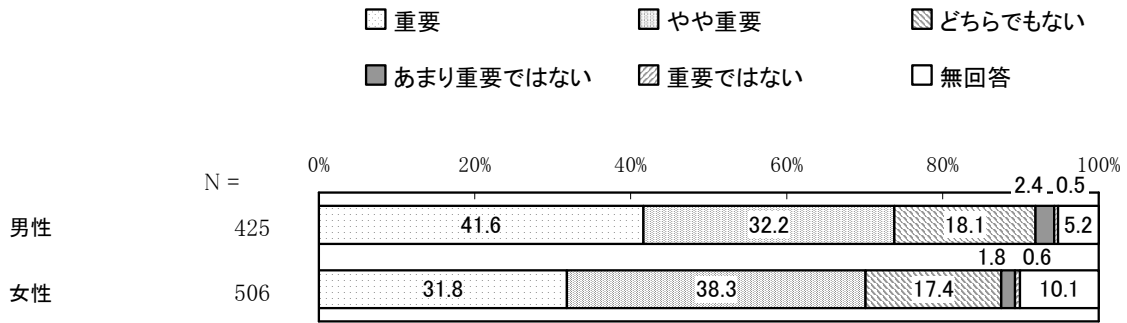
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



(2) 地域産業の活力づくり

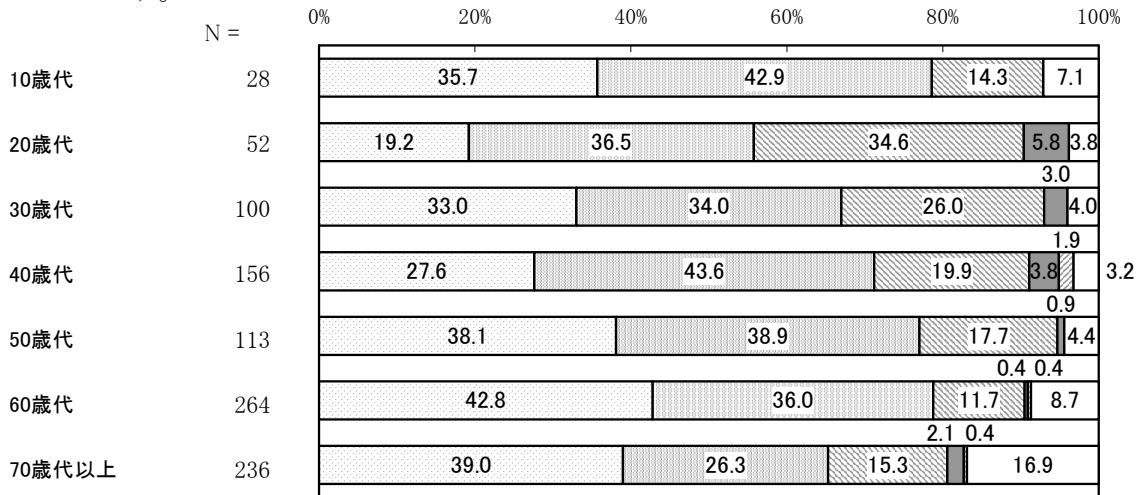
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高く、約4割となっています。



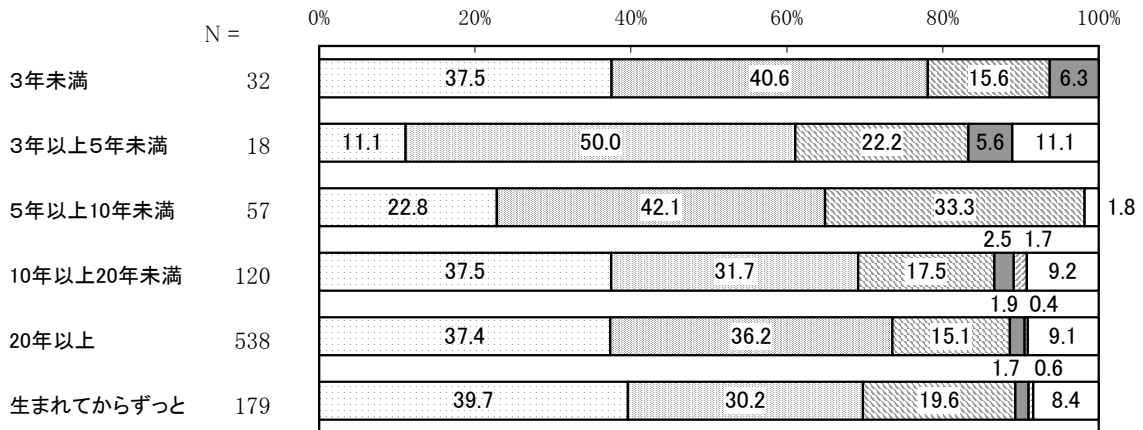
【年代別】

年代別でみると他の年代に比べ、10歳代、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



【居住年数別】

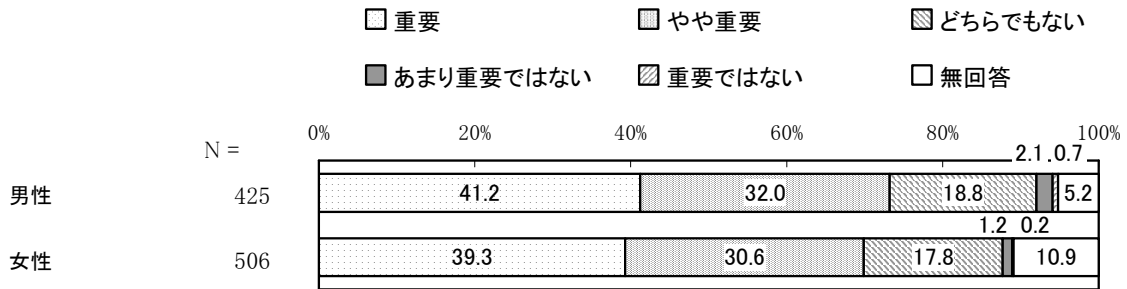
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

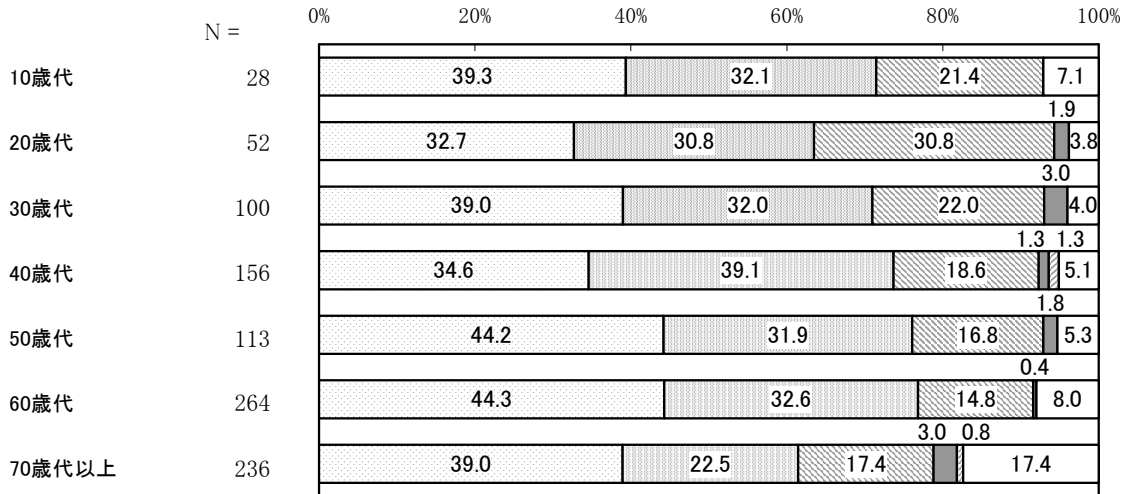
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



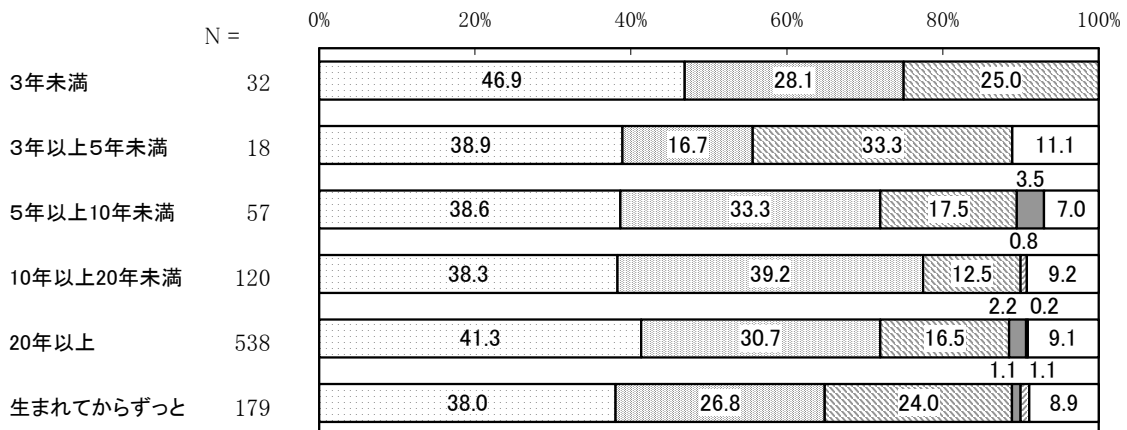
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

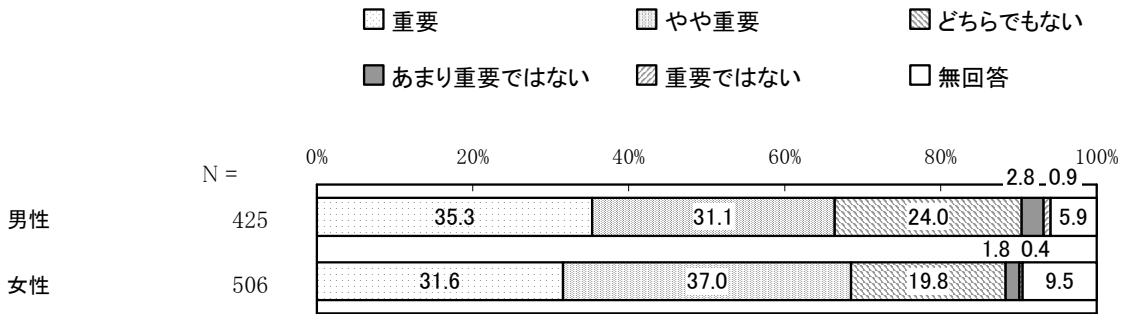
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



(4) 市の魅力の向上と発信

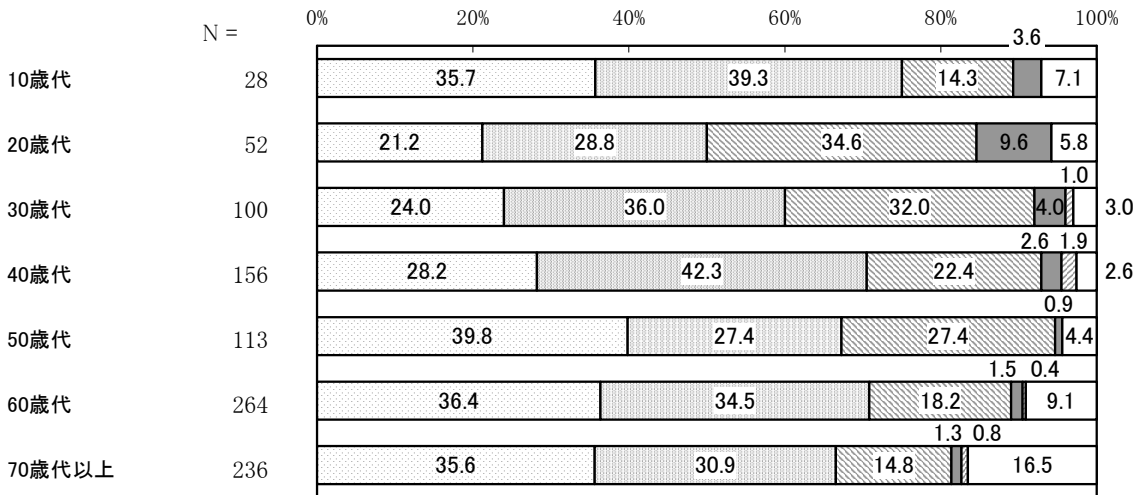
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



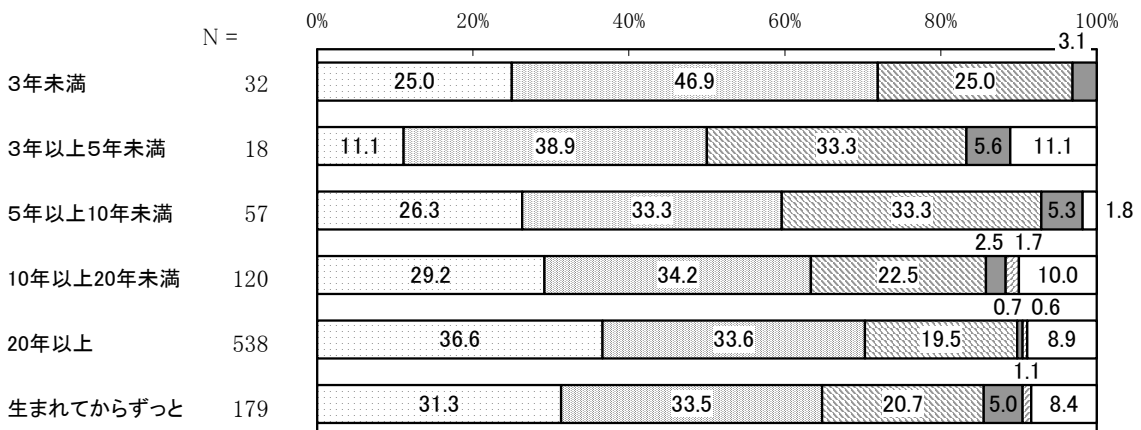
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

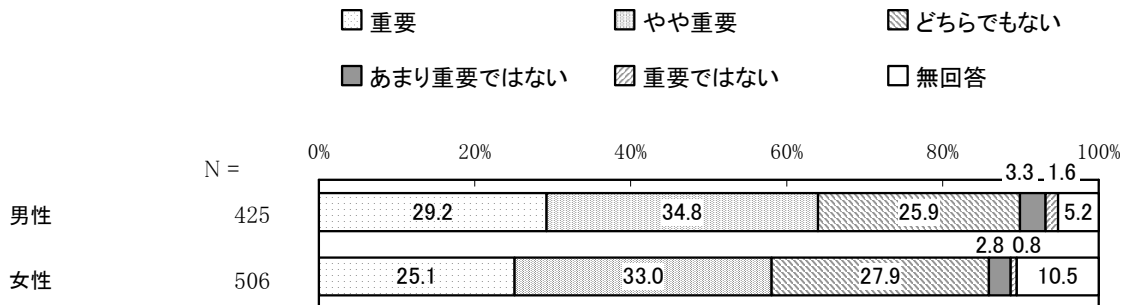
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



(5) 定住・移住の促進

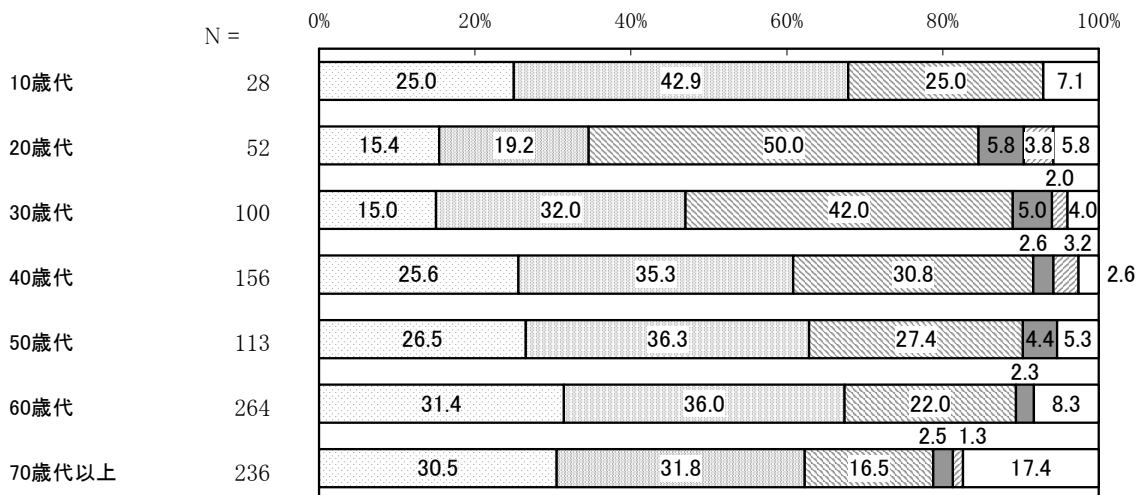
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



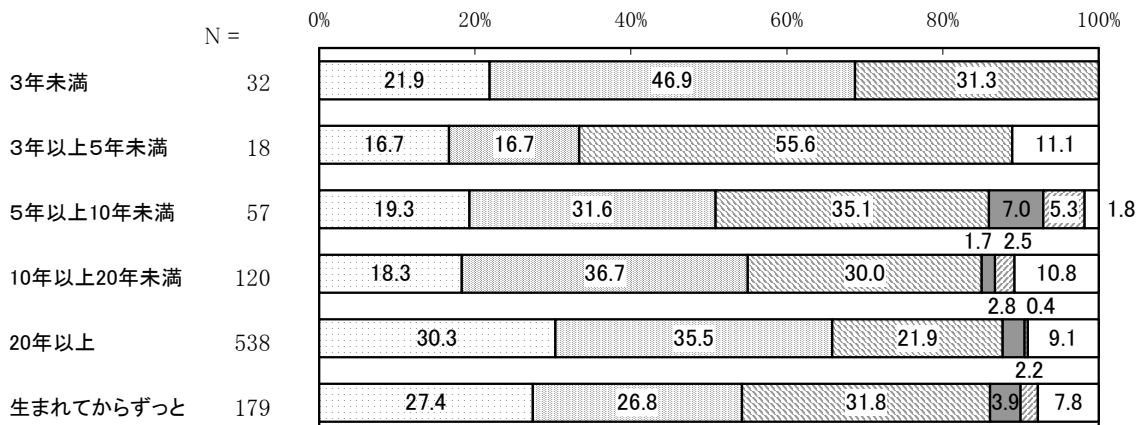
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

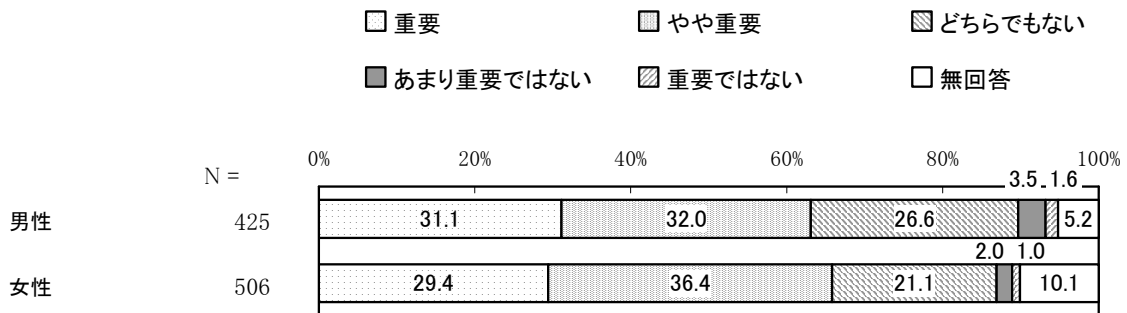
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

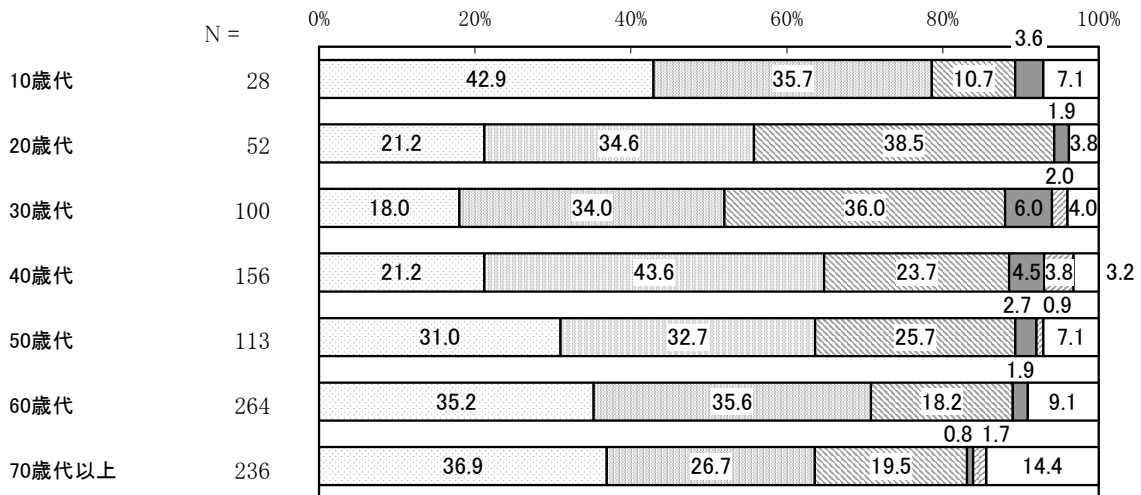
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



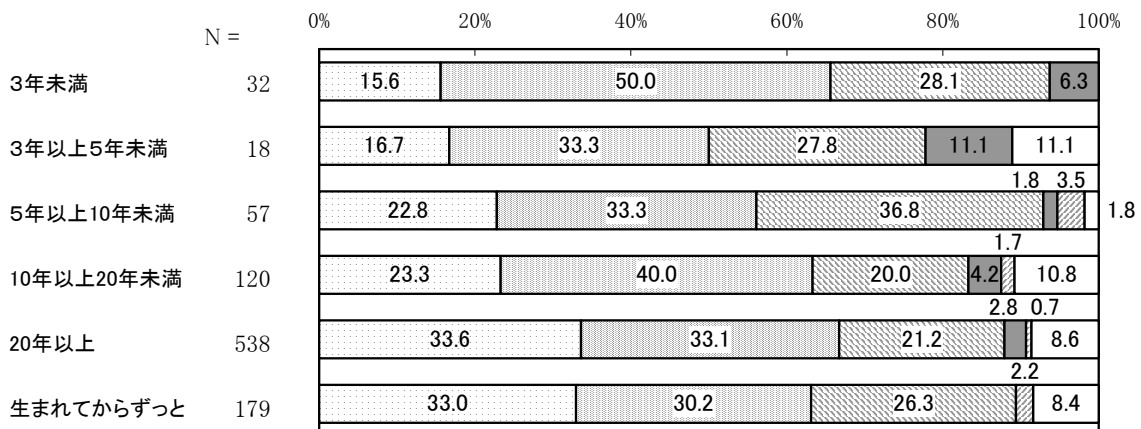
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



【居住年数別】

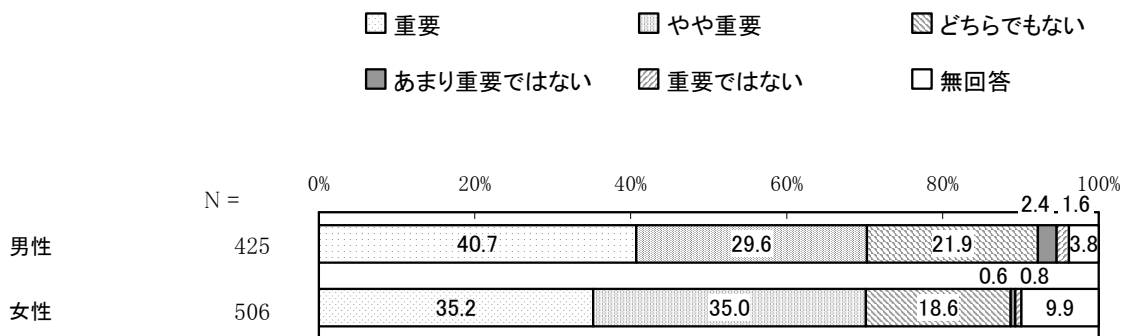
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、20年以上で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

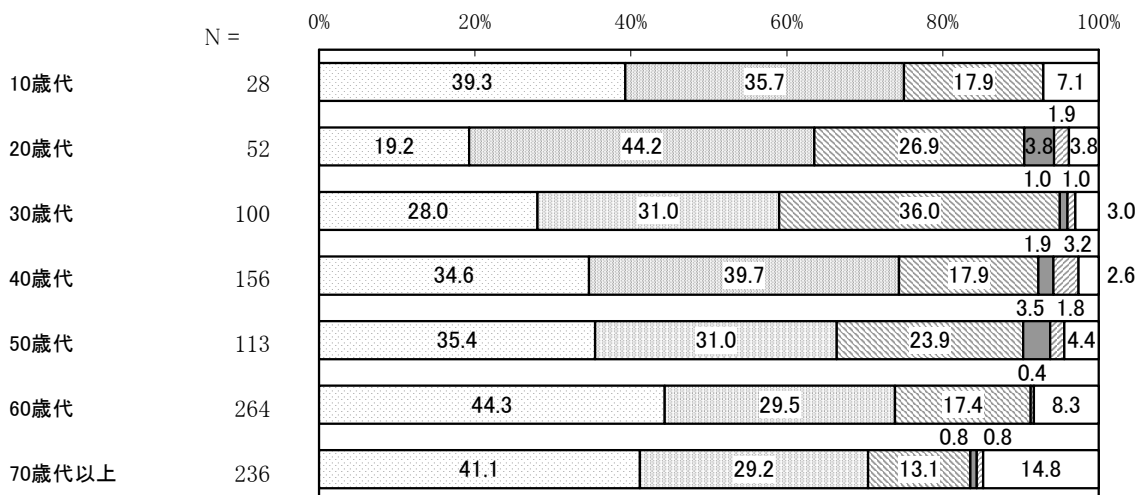
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「重要」の割合が高く、約4割となっています。



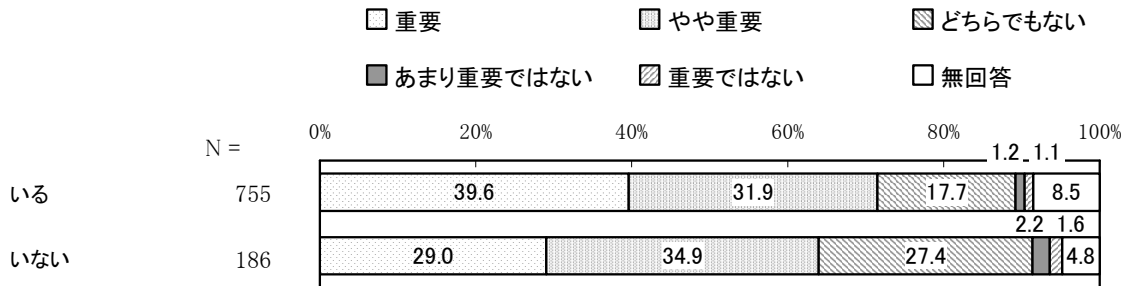
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、40歳代で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



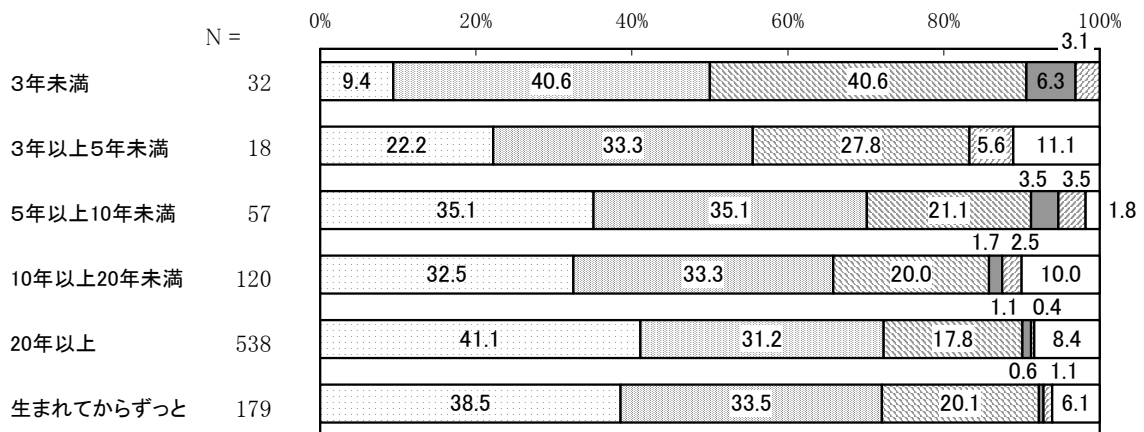
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

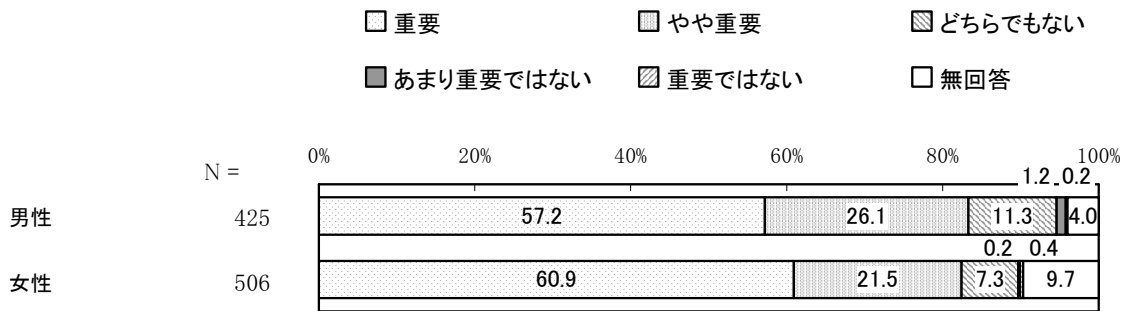
居住年数別で見ると、年数が長くなるにつれ“重要”の割合が高くなる傾向がみられます。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

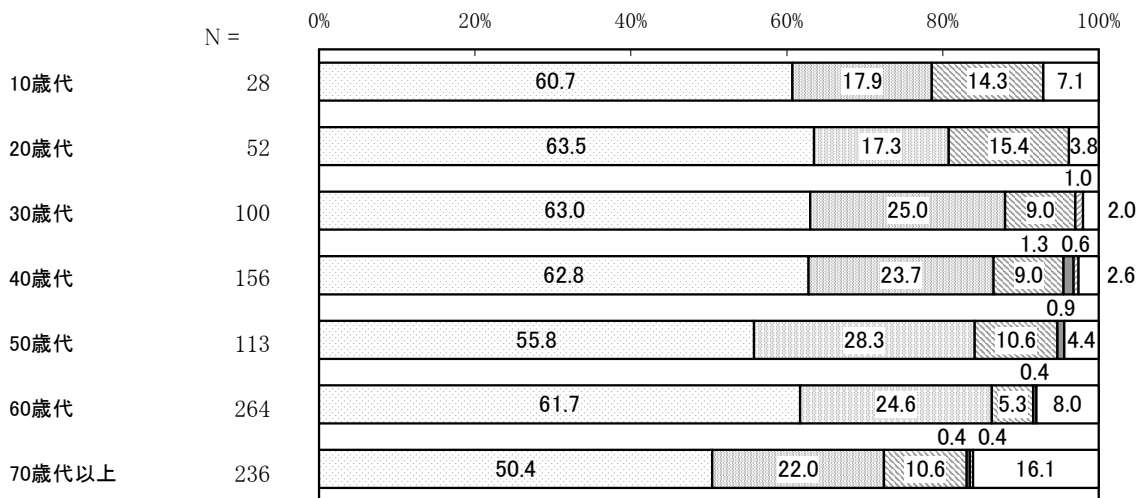
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



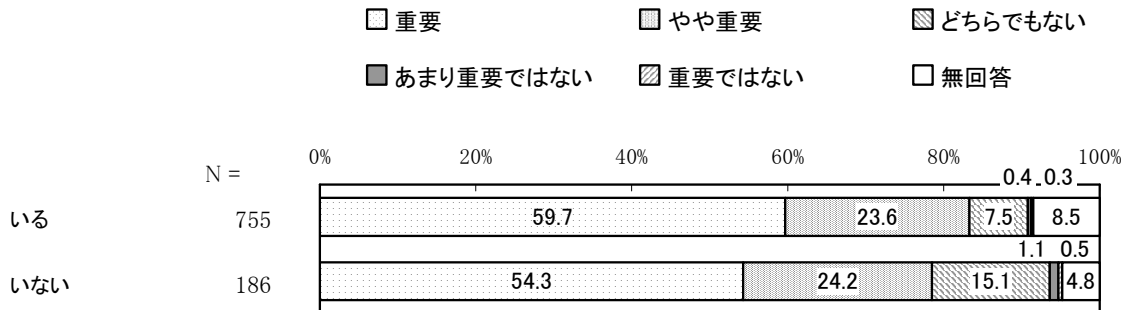
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で“重要”の割合が低く、約7割となっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらでもない」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



【居住年数別】

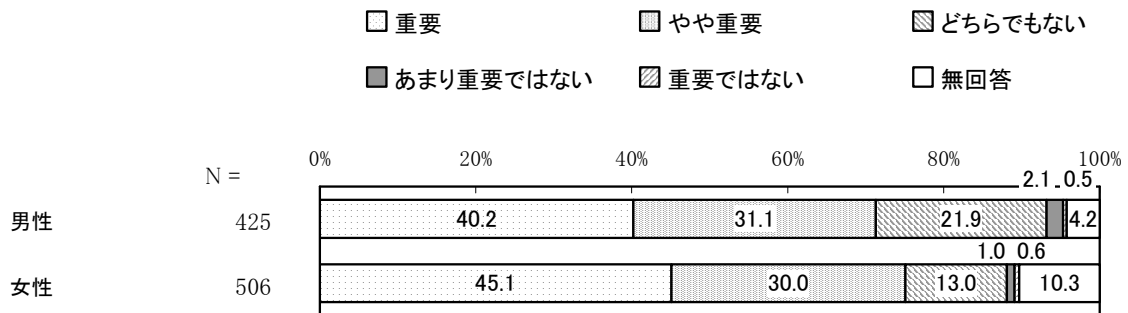
居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

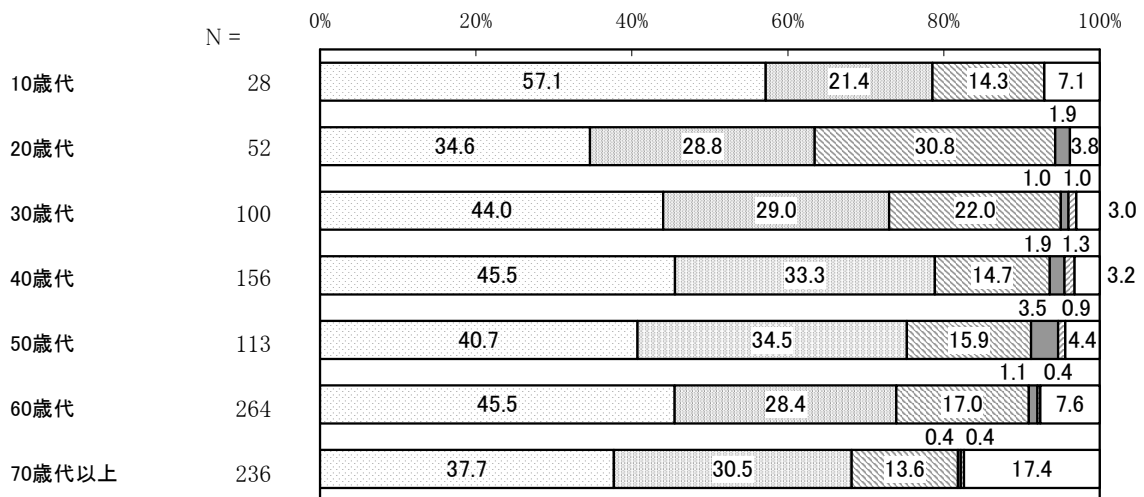
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



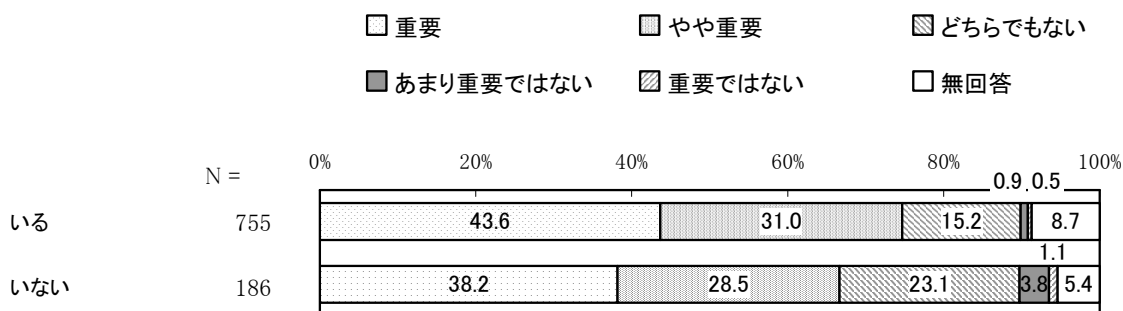
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代、40歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



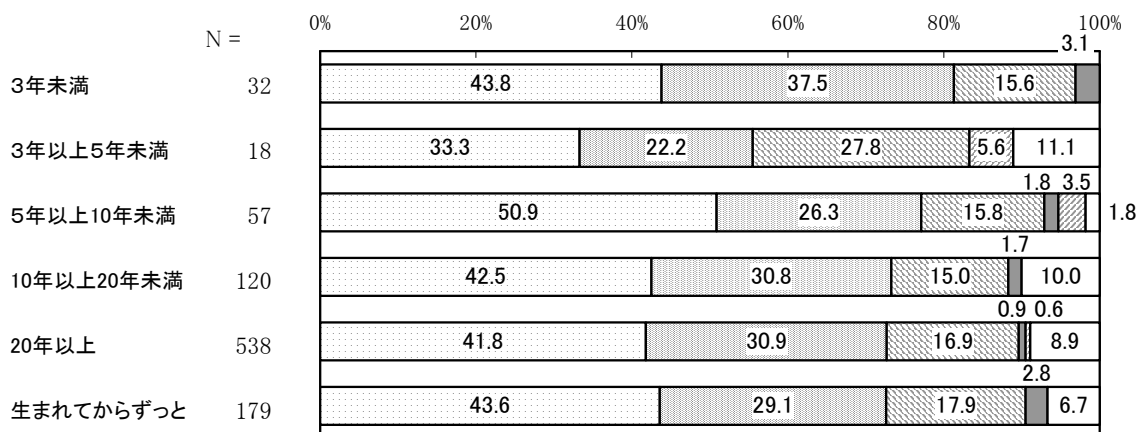
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



【居住年数別】

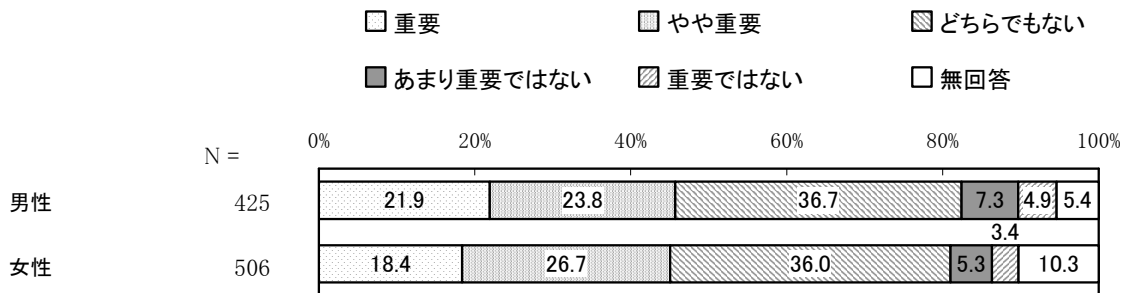
居住年数別で見ると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



(10) 結婚への機会づくり

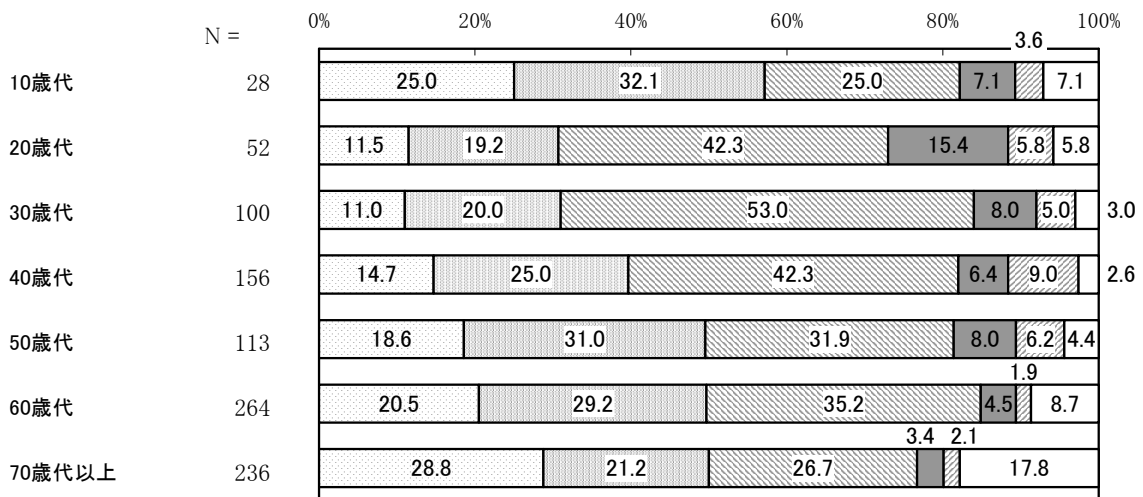
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



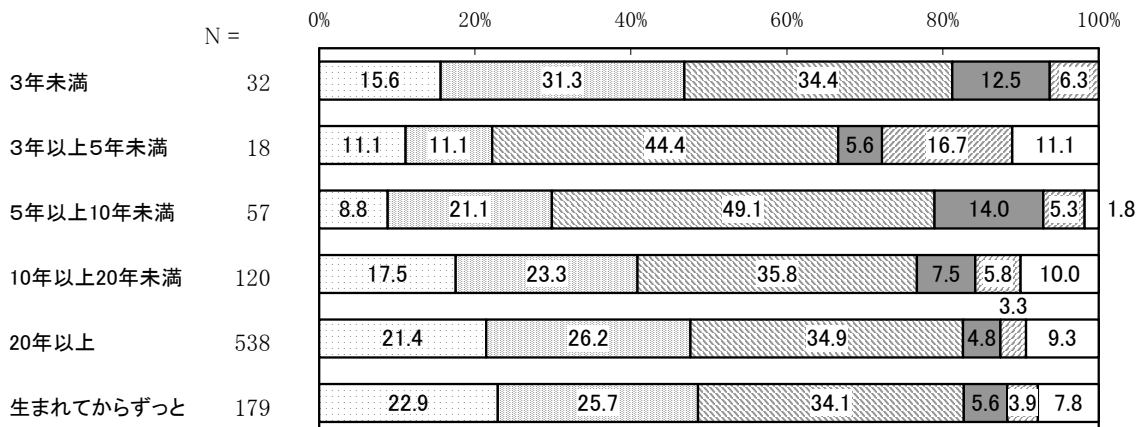
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、約6割となっています。



【居住年数別】

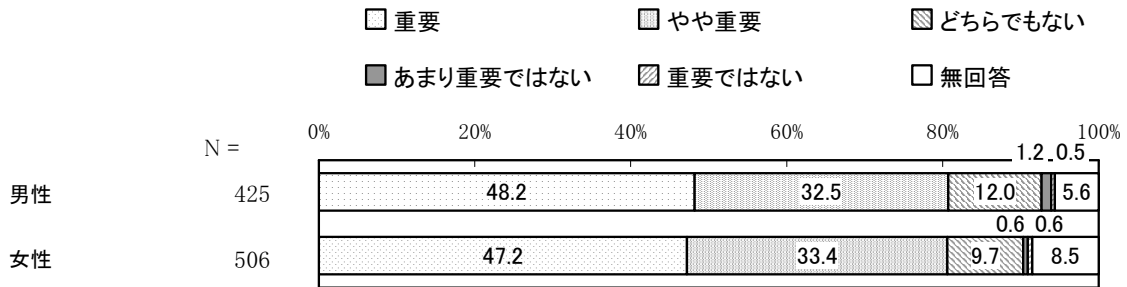
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、約5割となっています。また、3年未満、3年以上5年未満、5年以上10年未満で“重要ではない”の割合が高く、約2割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

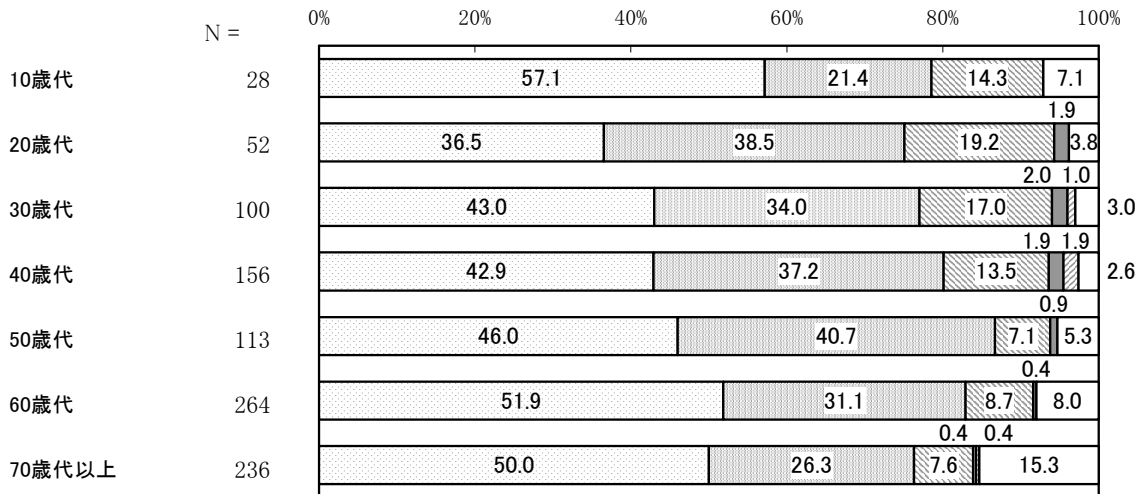
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



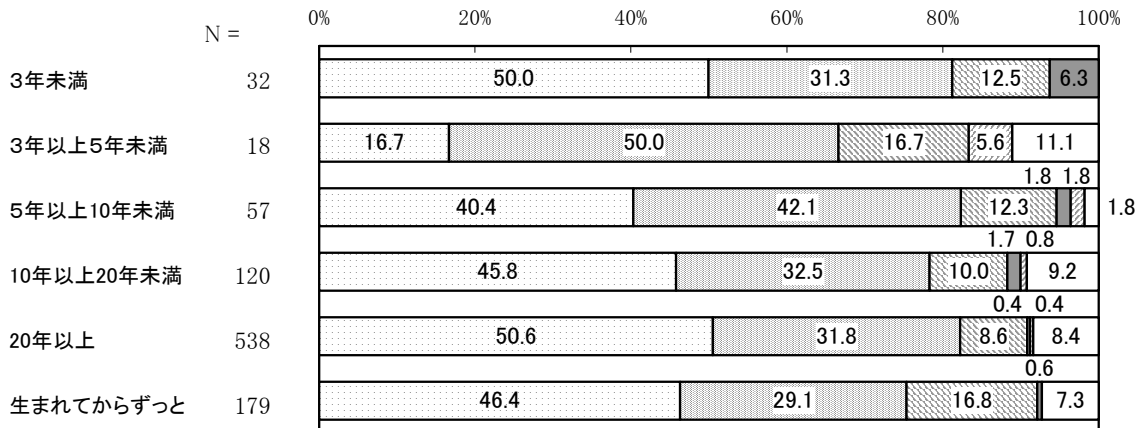
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、50歳代で“重要”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



【居住年数別】

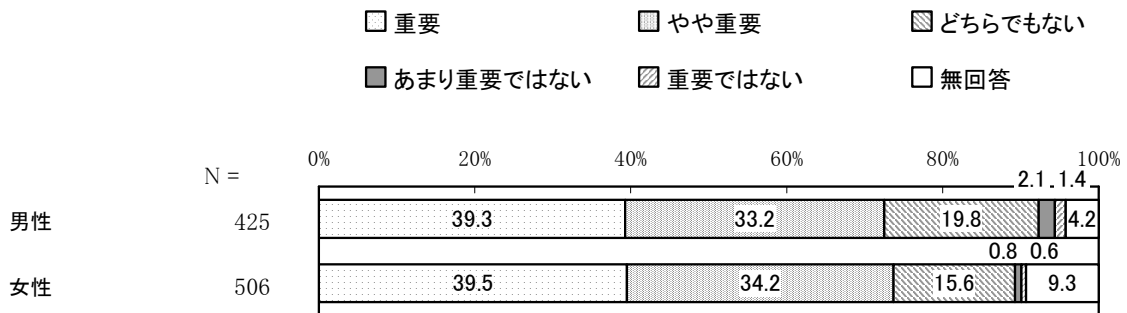
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“重要”の割合が低く、7割未満となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

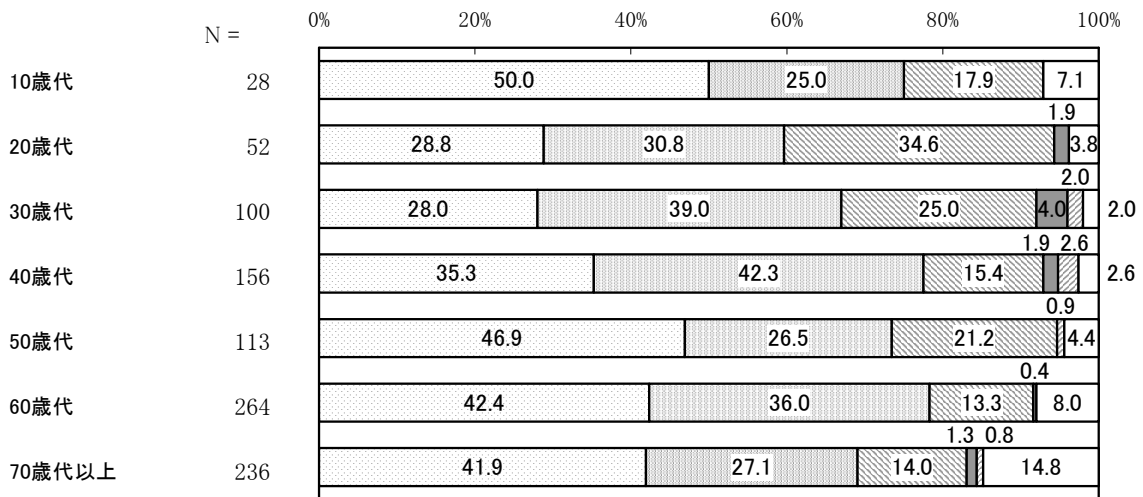
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



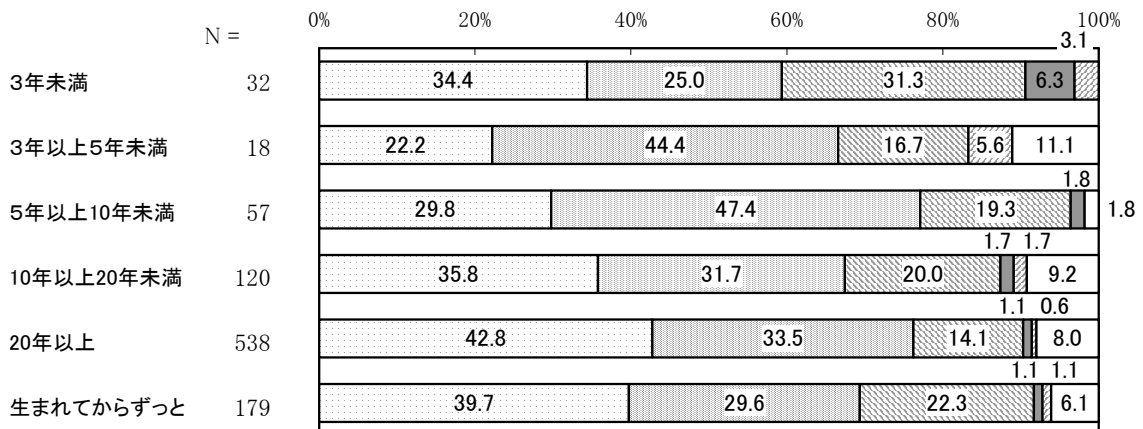
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代、60歳代で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。一方、3年未満で“重要”の割合が低く、6割未満となっています。

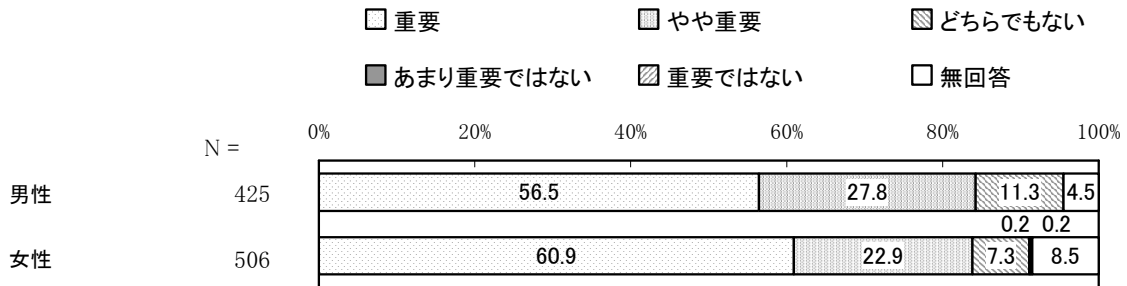


重要度

(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

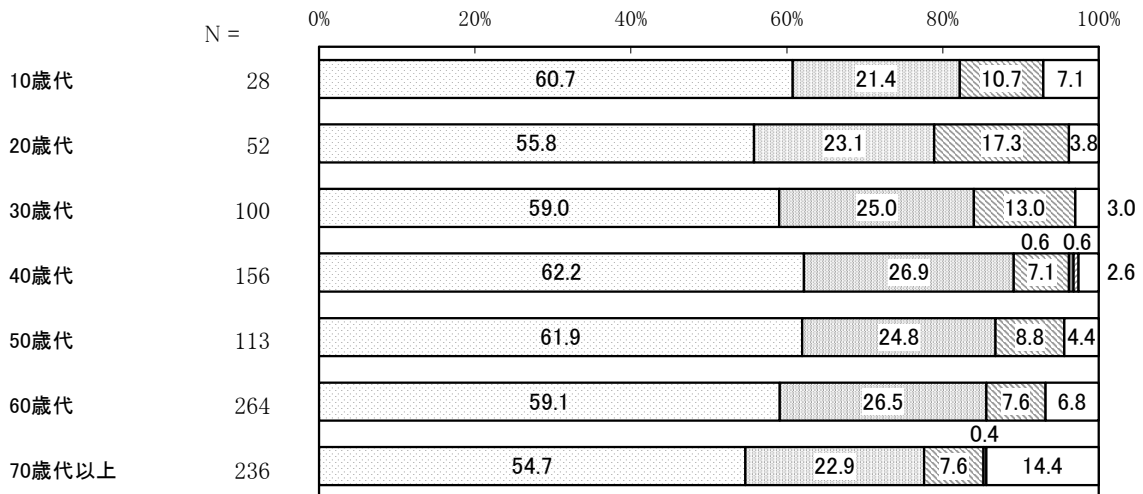
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、40歳代で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



【居住年数別】

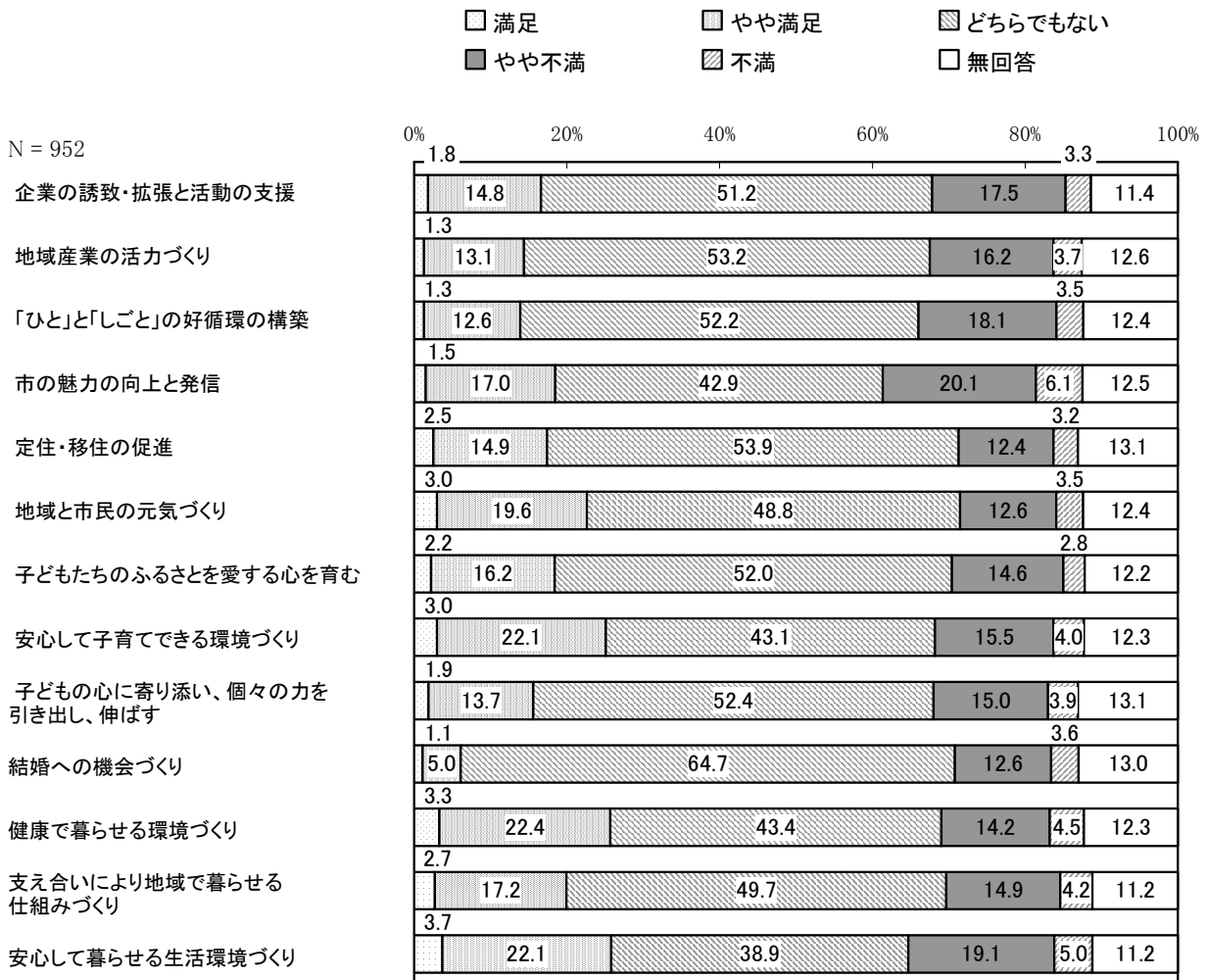
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



② 満足度

『市の魅力の向上と発信』で「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が高くなっています。

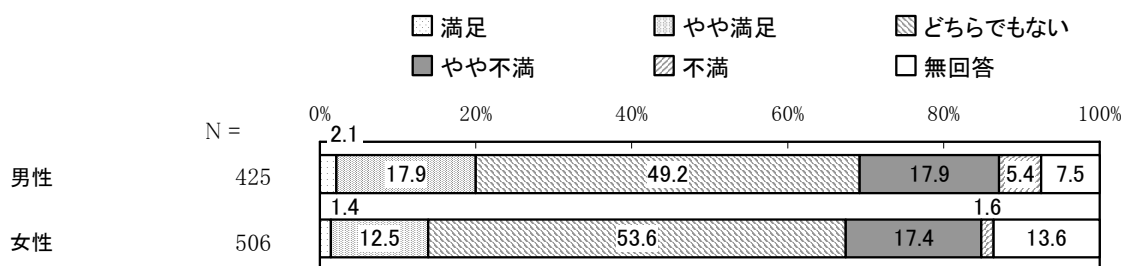
一方、『安心して暮らせる生活環境づくり』で「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

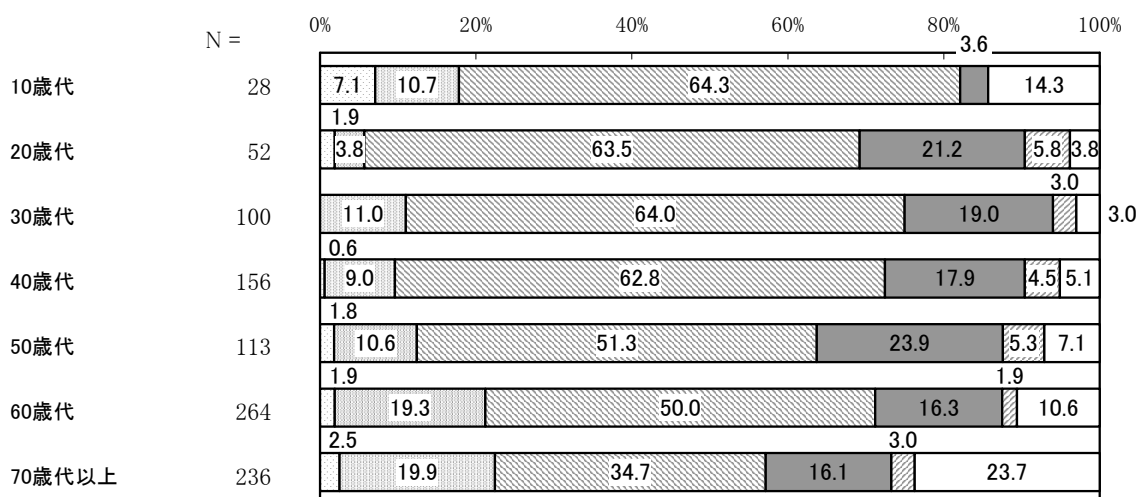
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“満足”の割合が高く、2割となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、50歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、60歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

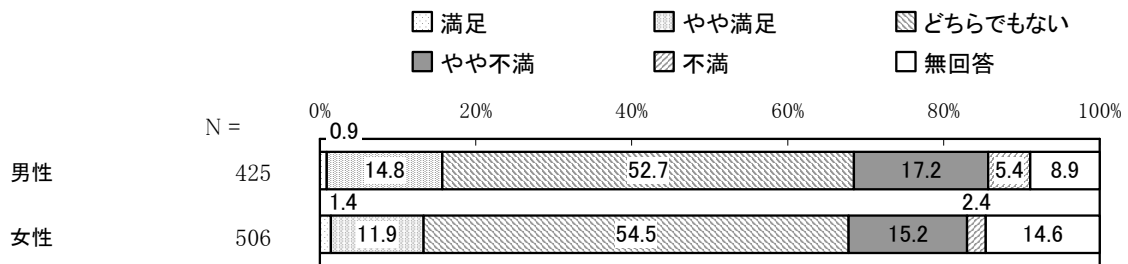
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、3年以上5年未満、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(2) 地域産業の活力づくり

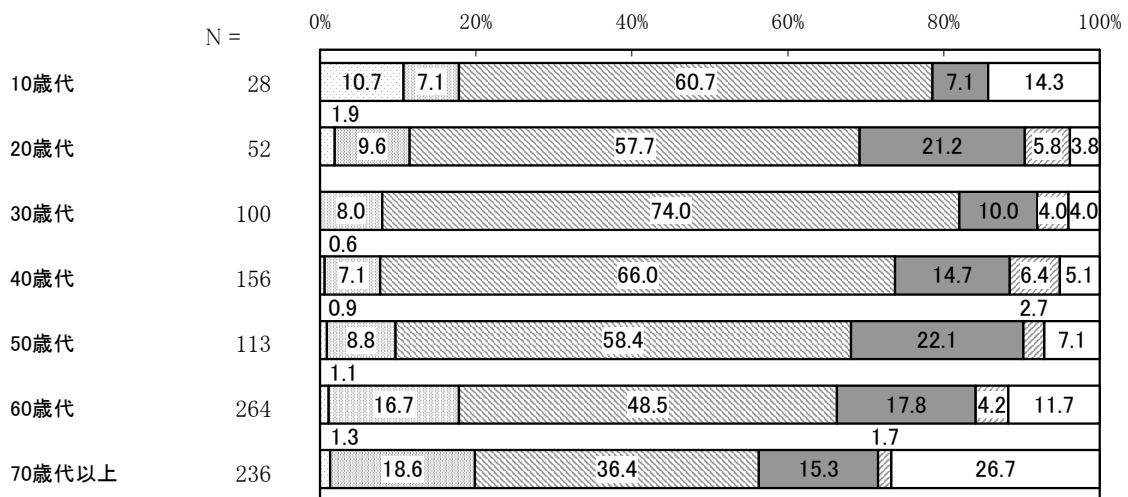
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高くなっています。



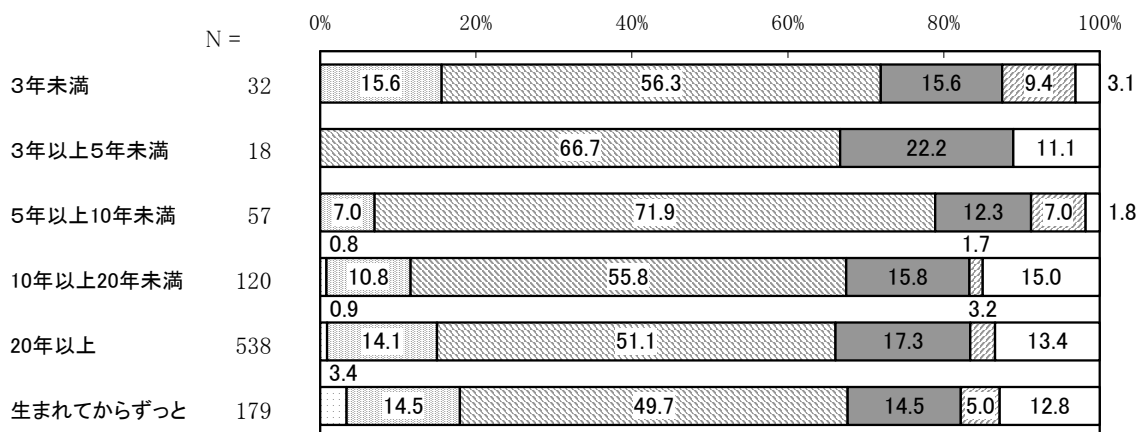
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代、60歳代、70歳代以上で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

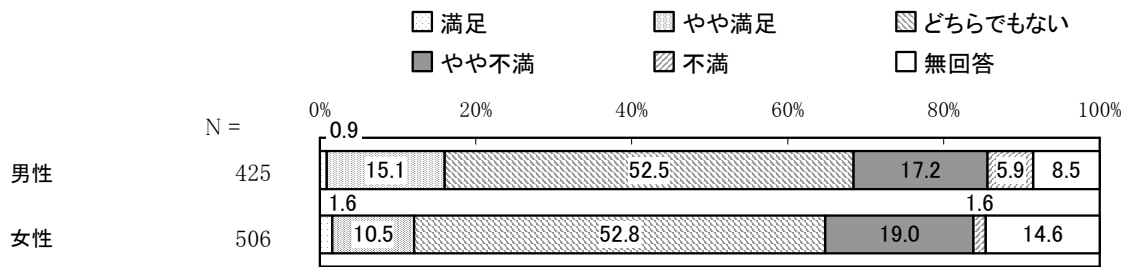
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

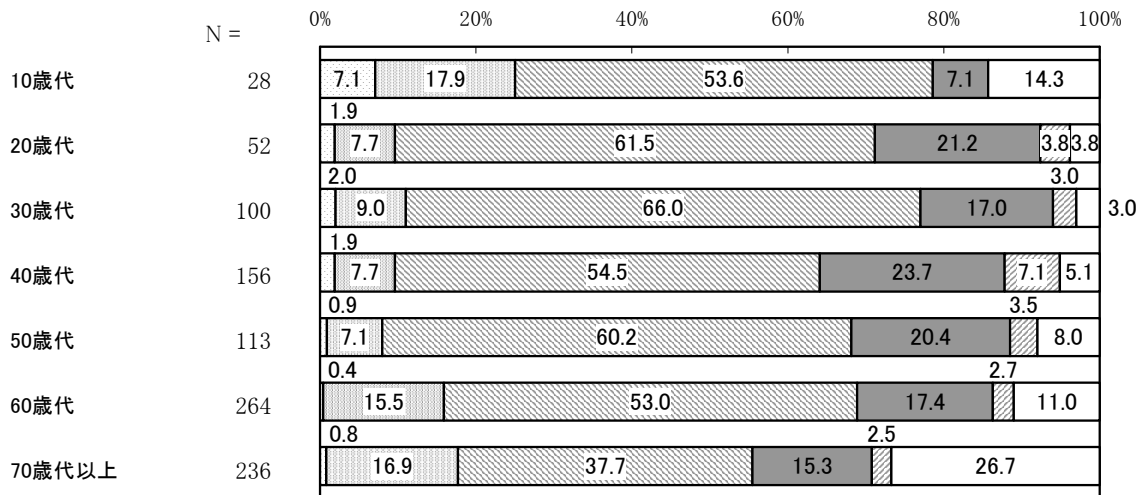
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



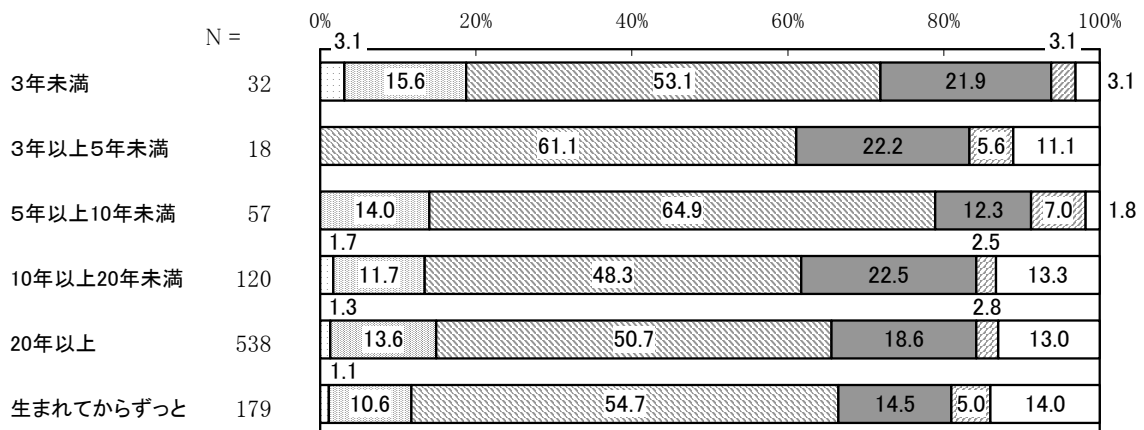
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

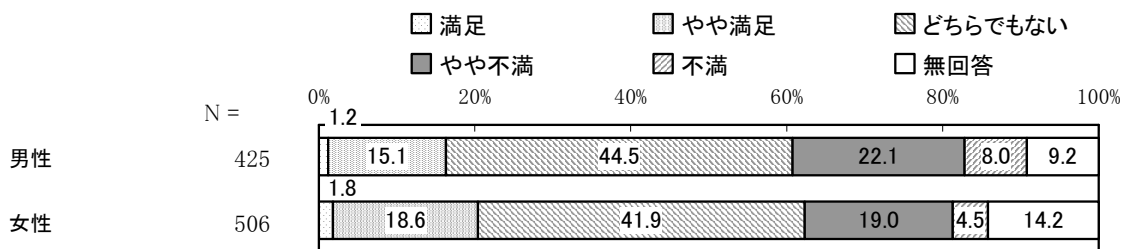
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、3年未満で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(4) 市の魅力の向上と発信

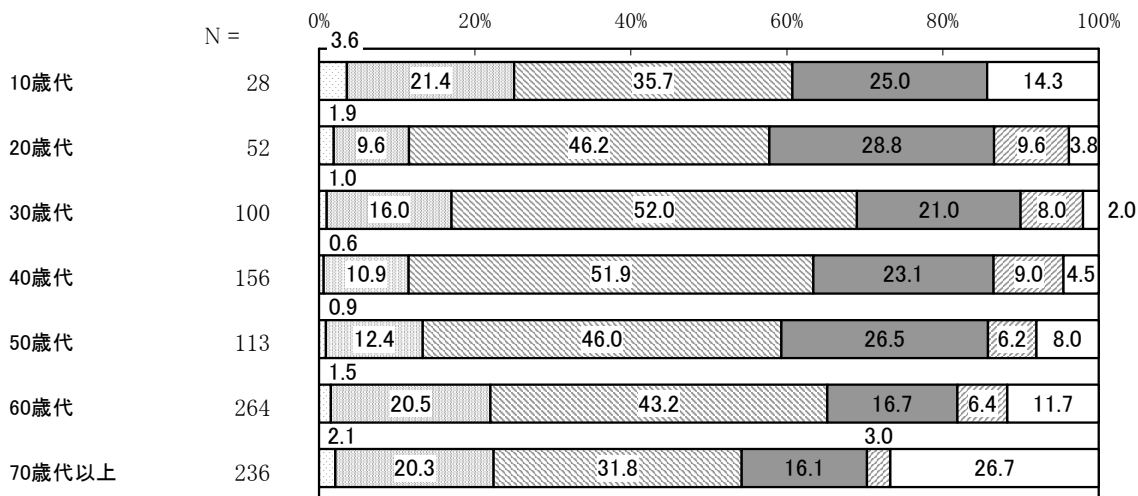
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



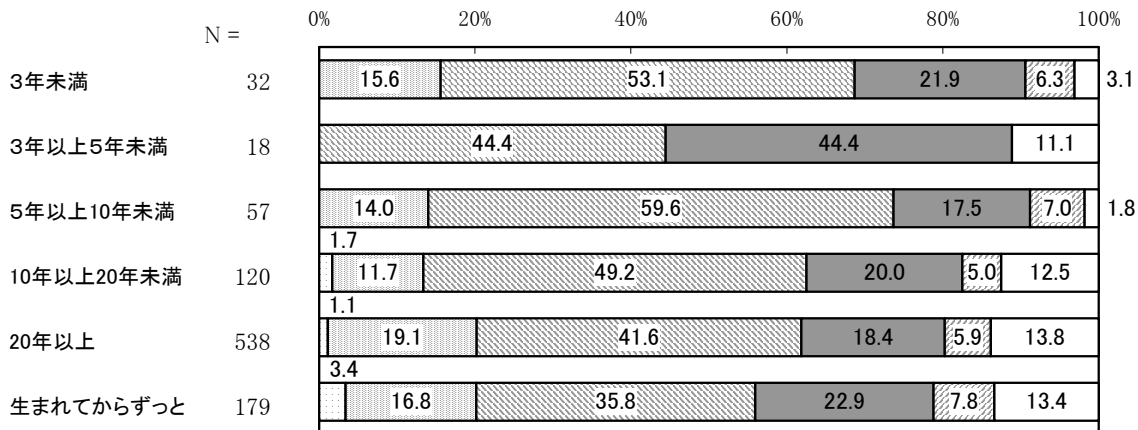
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約4割となっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

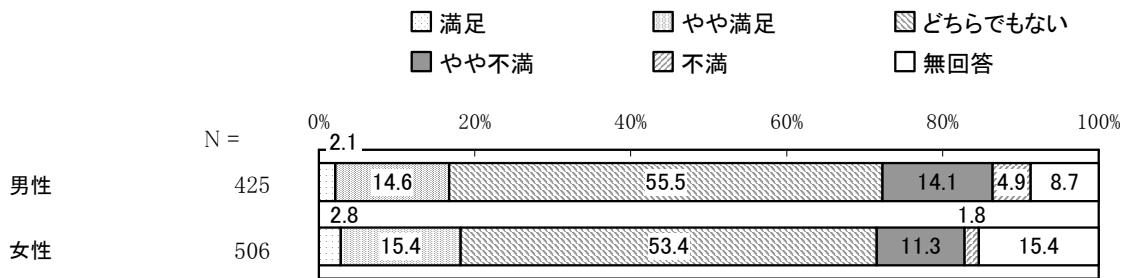
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(5) 定住・移住の促進

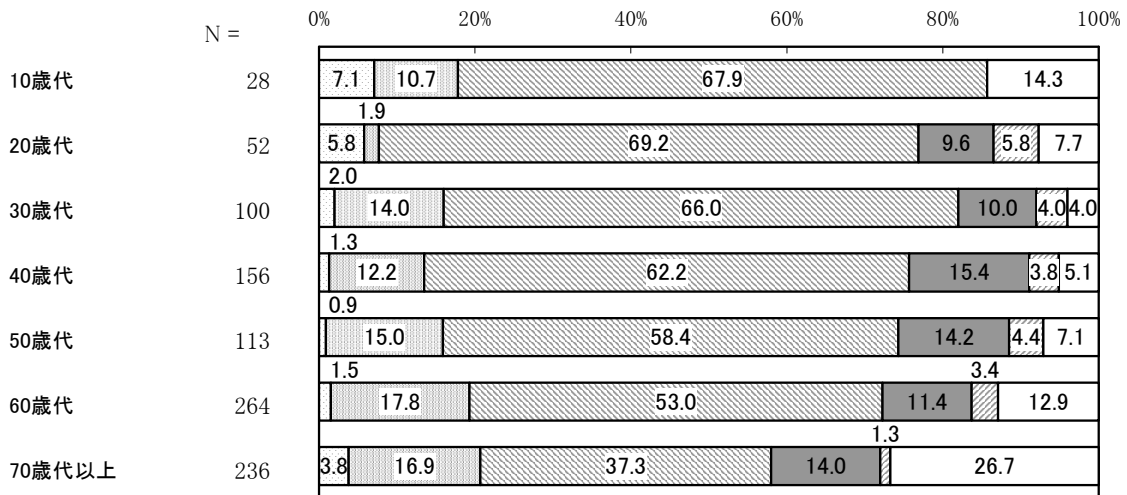
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



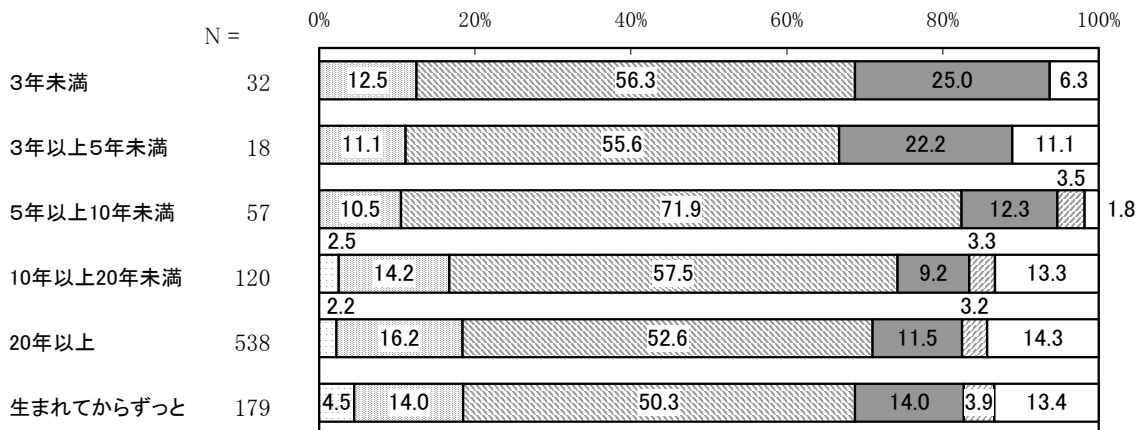
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代、50歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、20歳代で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。



【居住年数別】

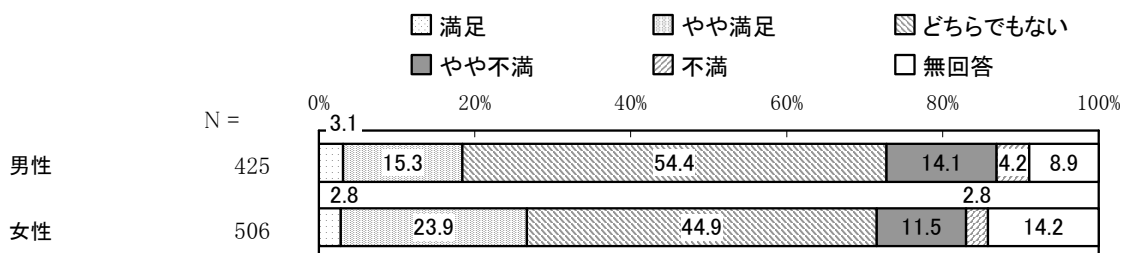
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

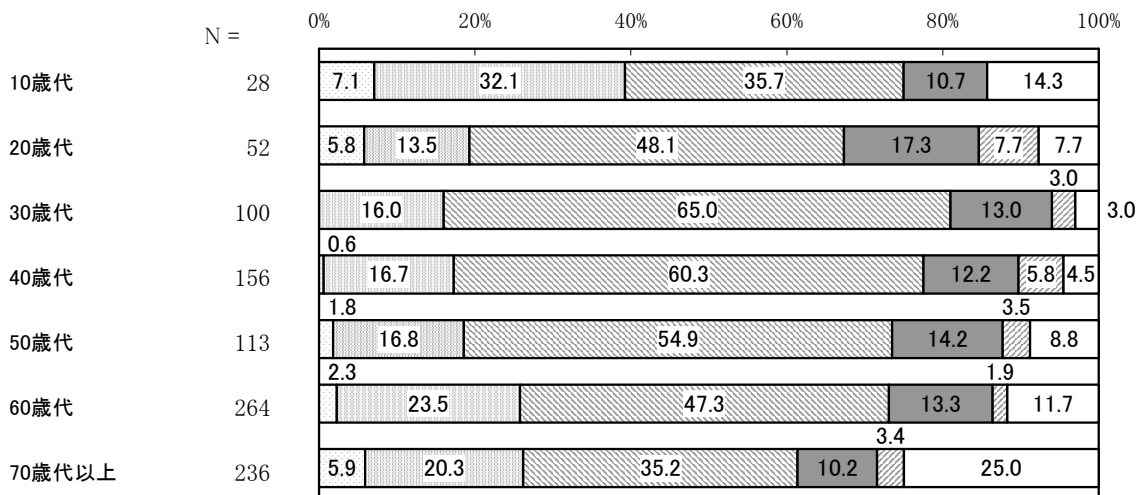
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、男性で「どちらでもない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



【居住年数別】

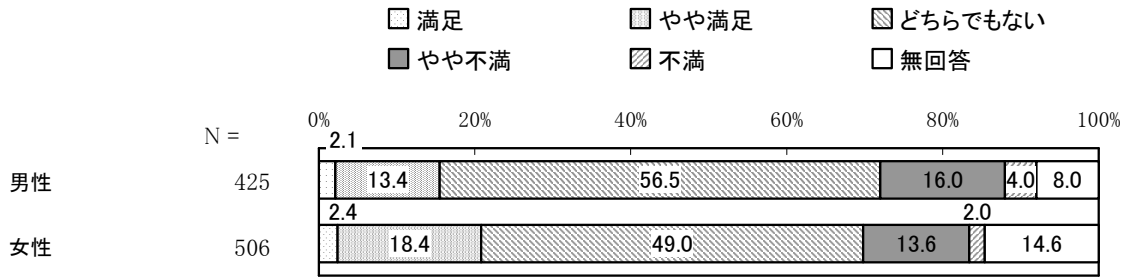
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割を超えています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

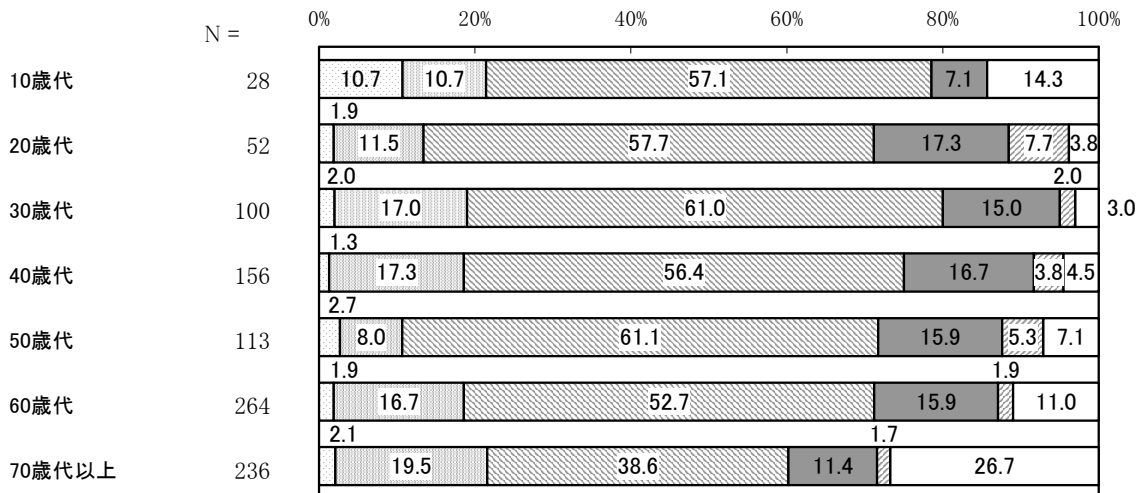
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



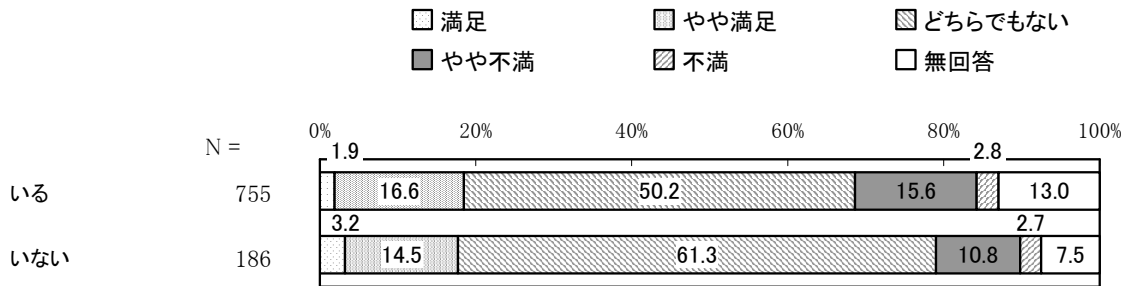
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらでもない」の割合が高く、約6割となっています。



【居住年数別】

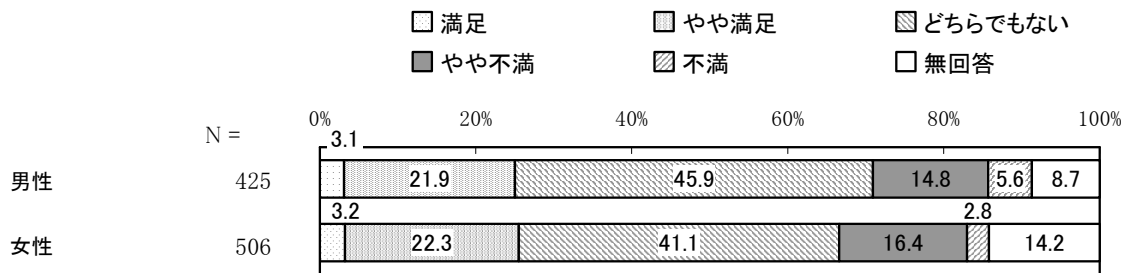
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、2割を超えています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

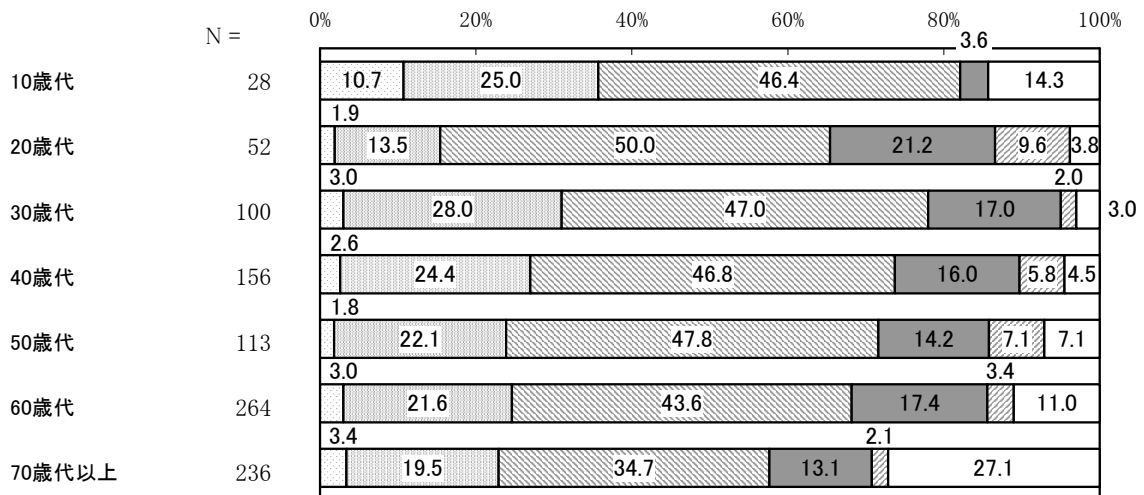
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



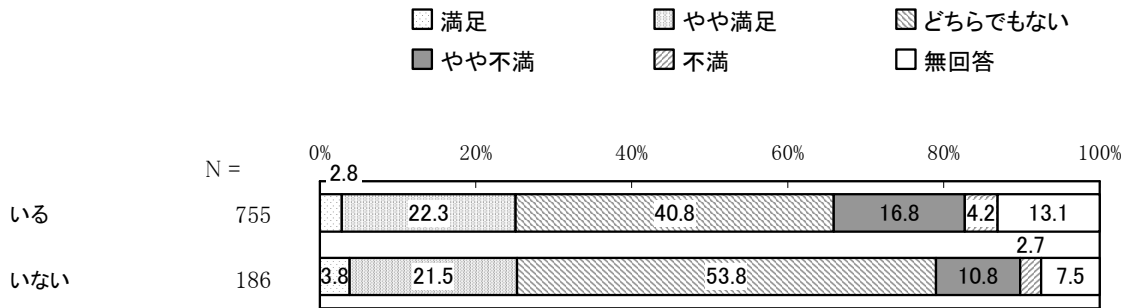
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



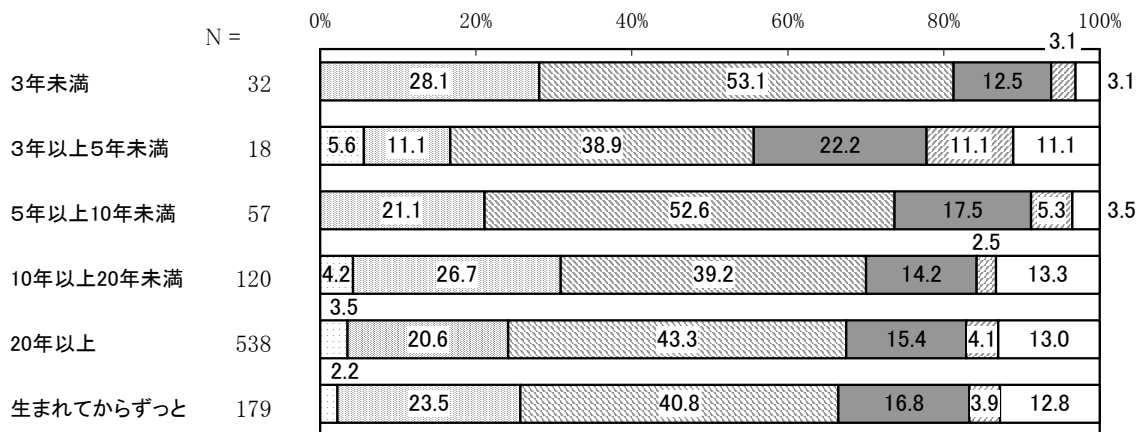
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

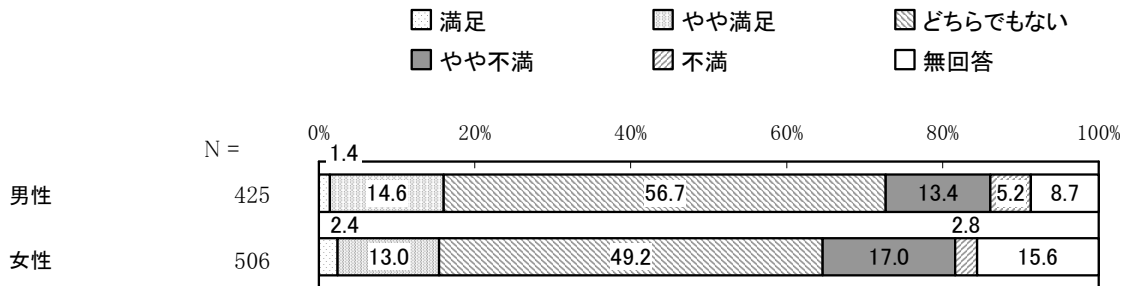
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、3年未満、10年以上20年未満で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

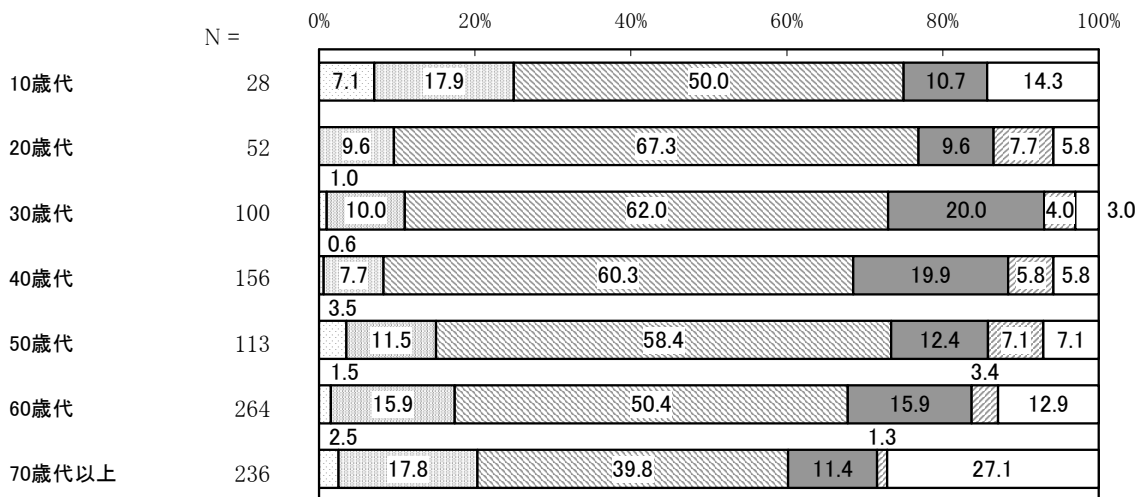
【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「どちらでもない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



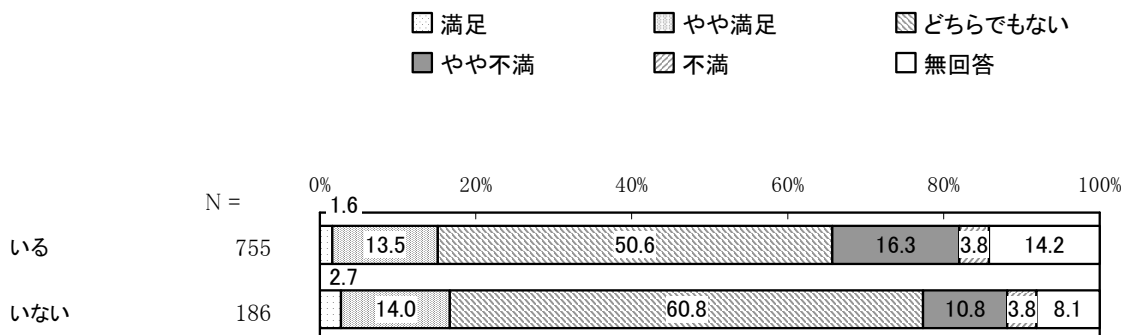
【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、30歳代、40歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



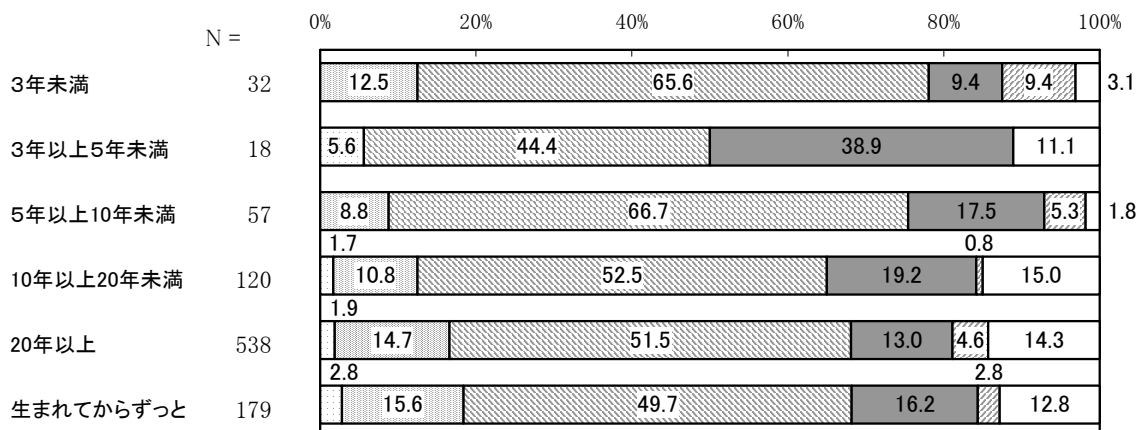
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

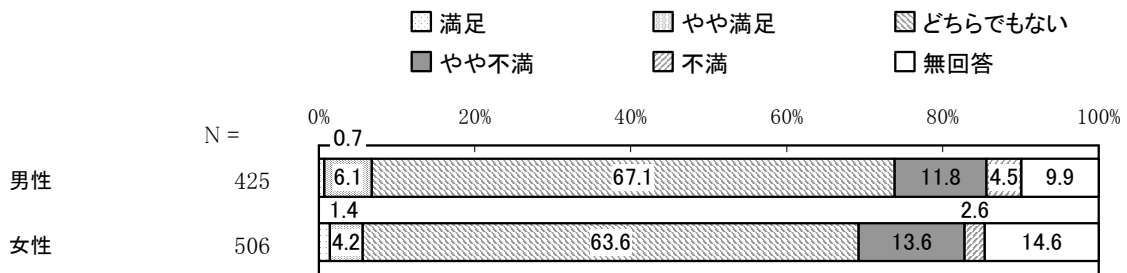
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約4割となっています。



(10) 結婚への機会づくり

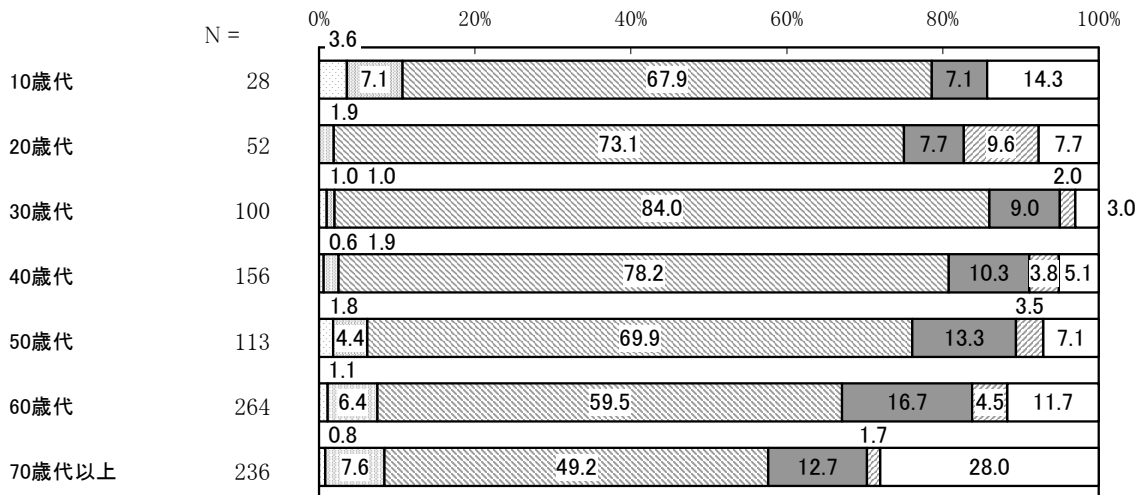
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



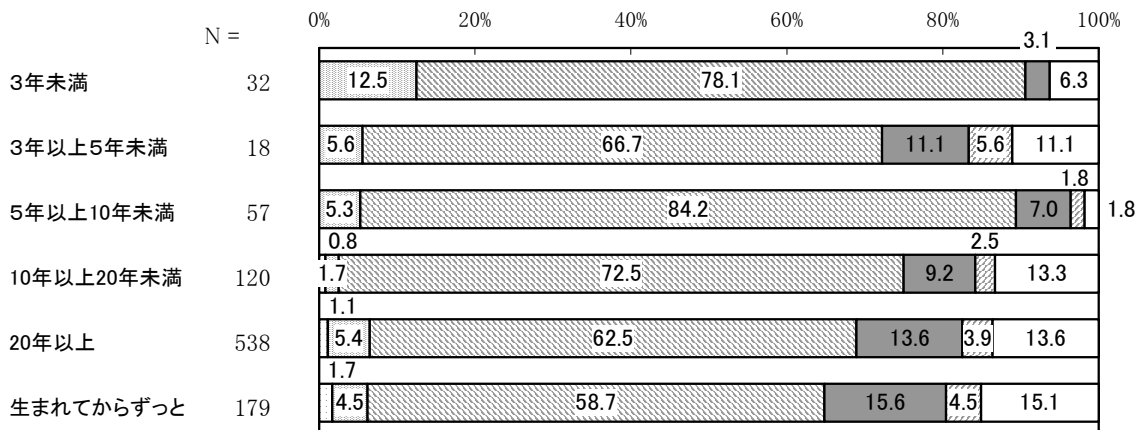
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

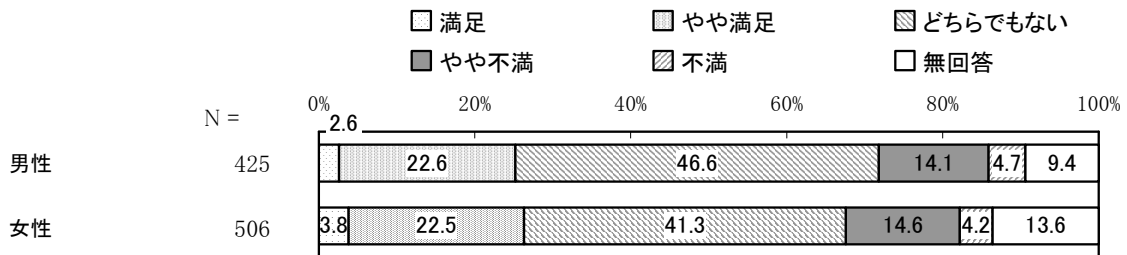
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

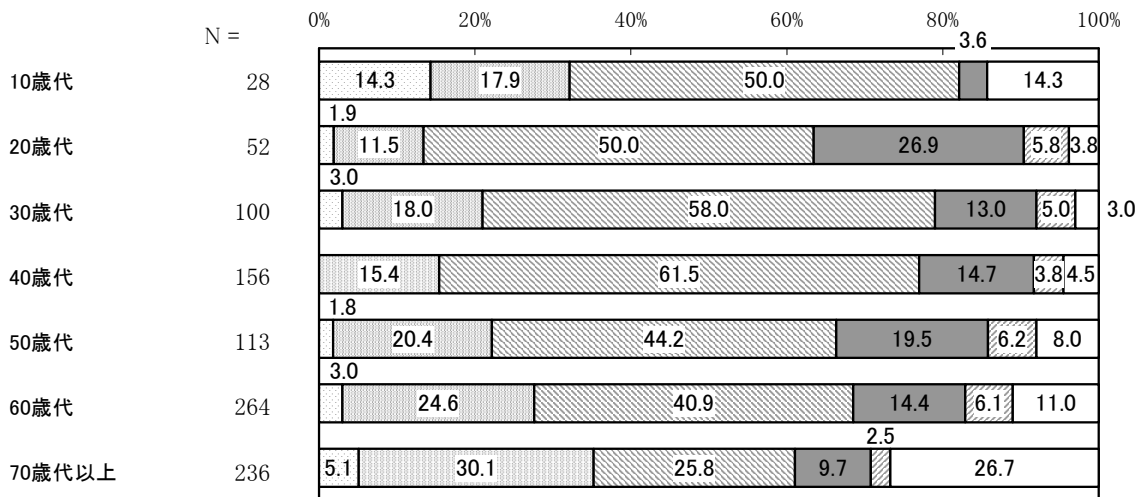
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらでもない」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



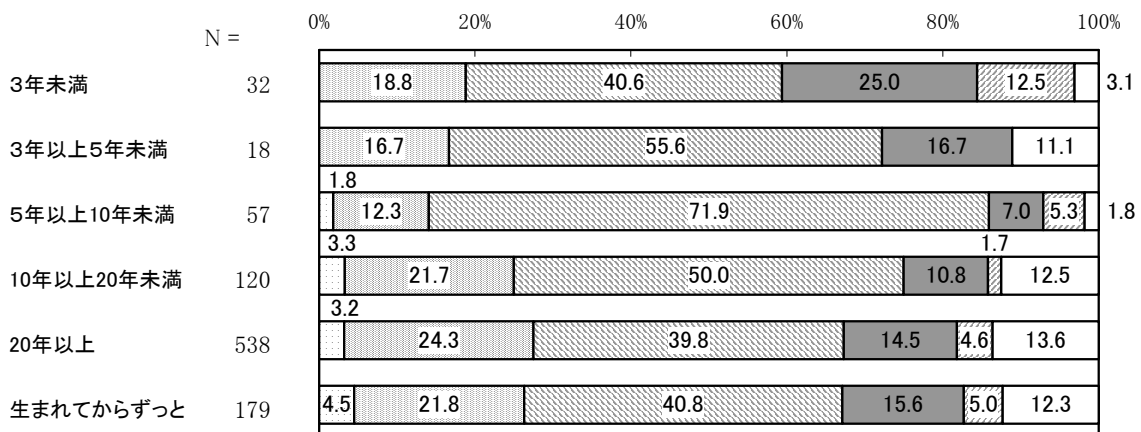
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、70歳代以上で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【居住年数別】

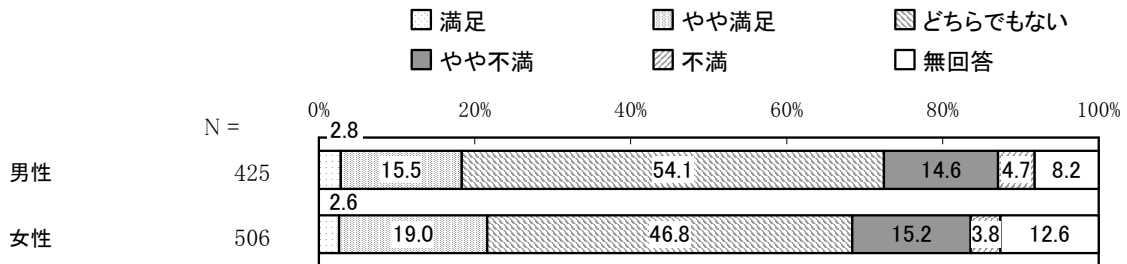
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“不満”の割合が高く、約4割となっています。また、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割を超えています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

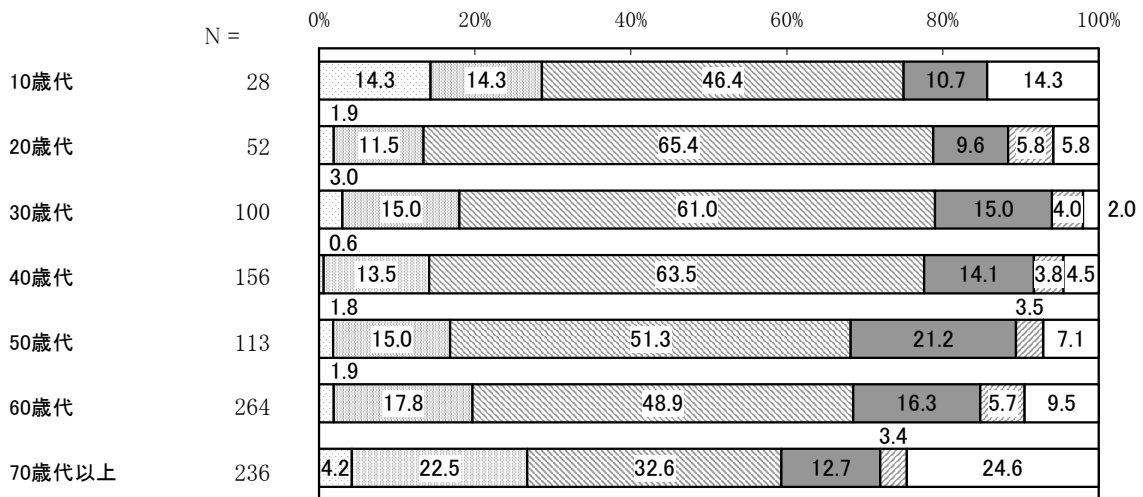
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらでもない」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



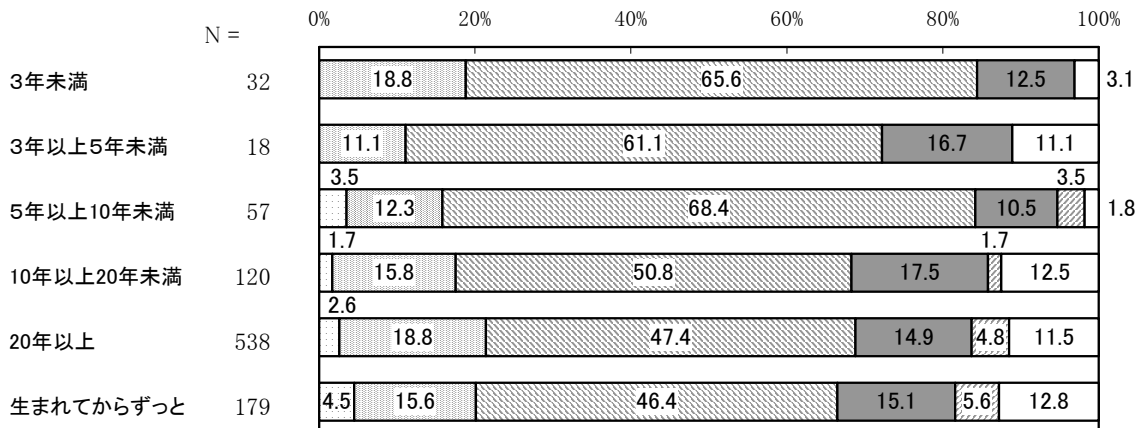
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、50歳代、60歳代で“不満”の割合が高く、2割を超えています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

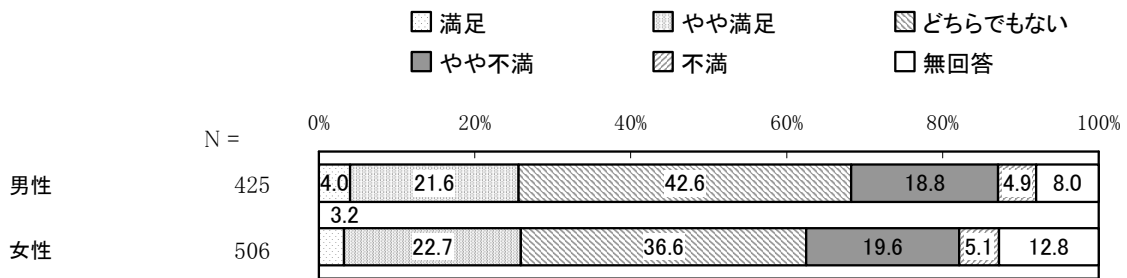
居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

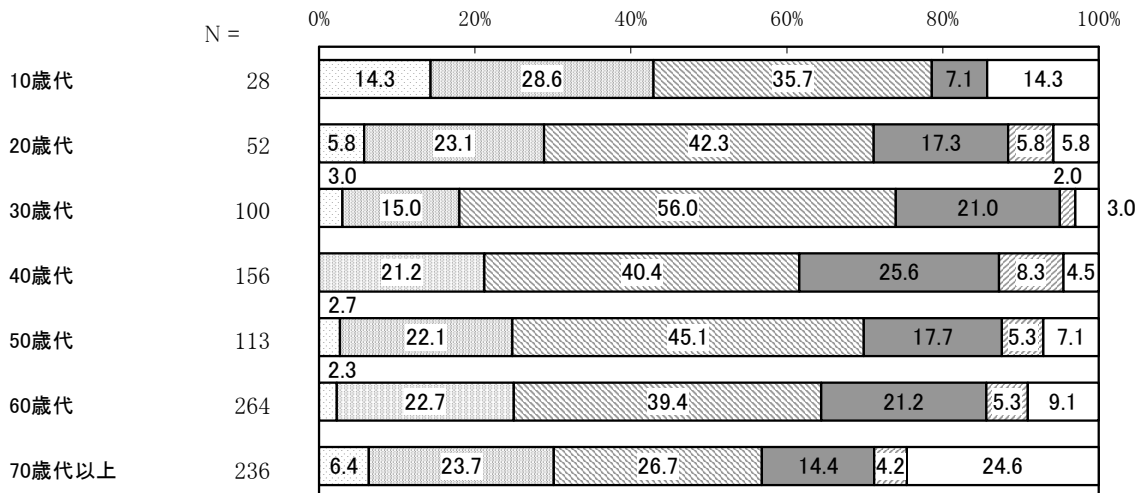
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「どちらでもない」の割合が高く、約4割となっています。



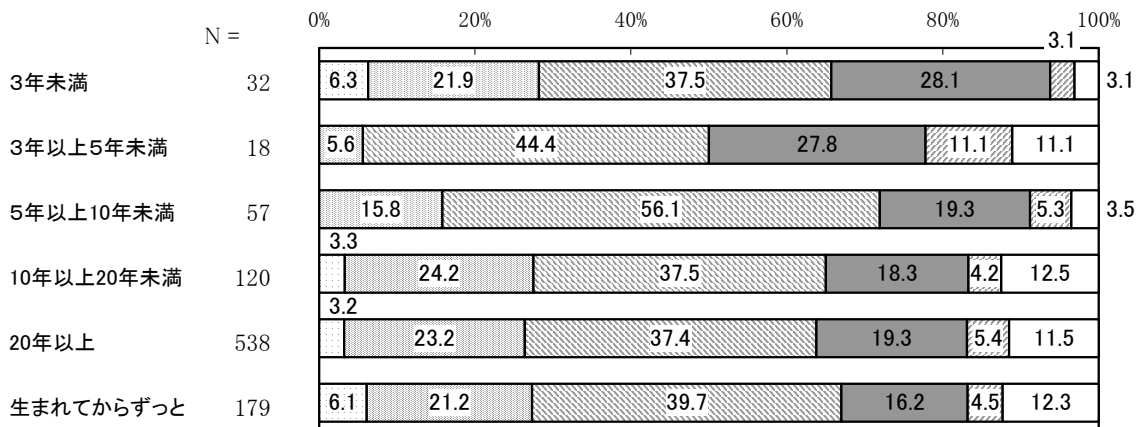
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、40歳代で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約4割となっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

13項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満		-2点		重要ではない	→	-2点
やや不満	→	-1点		あまり重要ではない	→	-1点
どちらでもない	→	0点		どちらでもない	→	0点
やや満足	→	1点		やや重要	→	1点
満足	→	2点		重要	→	2点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

$2 \times \text{「満足(重要)」の回答数}$ $+ 1 \times \text{「やや満足(やや重要)」の回答数}$ $+ 0 \times \text{「どちらでもない」の回答数}$ $- 1 \times \text{「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数}$ $- 2 \times \text{「不満(重要ではない)」の回答数} / \text{無回答を除く回答数}$

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

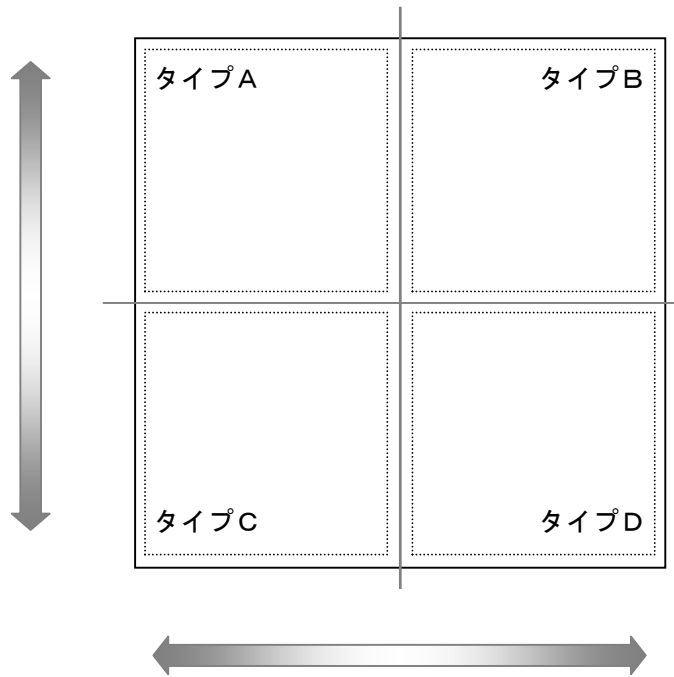
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度		順位	重要度	
施策名	得点		得点	施策名
(6) 地域と市民の元気づくり	0.07	第1位	1.53	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(11) 健康で暮らせる環境づくり	0.06	第2位	1.51	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(8) 安心して子育てできる環境づくり	0.05	第3位	1.36	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり	-0.09	第11位	0.98	(6) 地域と市民の元気づくり
(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築	-0.11	第12位	0.90	(5) 定住・移住の促進
(4) 市の魅力の向上と発信 (10) 結婚への機会づくり	-0.14	最下位	0.56	(10) 結婚への機会づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA

満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD

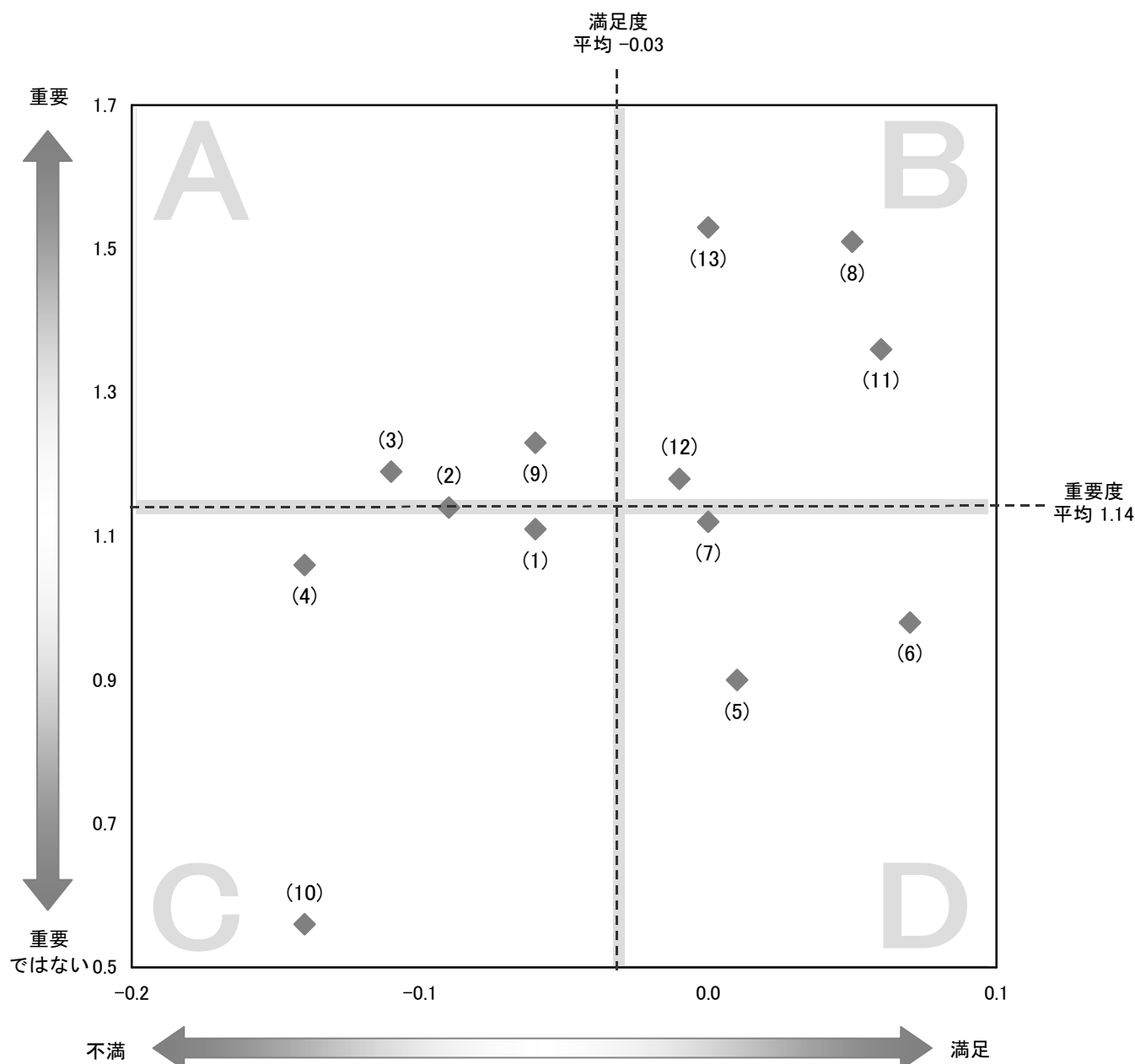
満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

● 施策のポートフォリオ分析

満足度は低い、重要度は高い施策（タイプA）は、『(2) 地域産業の活力づくり』、『(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築』、『(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』となっています。

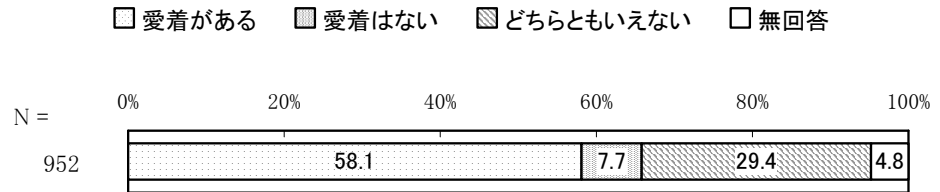
また、満足度は高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8) 安心して子育てできる環境づくり』、『(11) 健康で暮らせる環境づくり』、『(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』、『(13) 安心して暮らせる生活環境づくり』となっています。



(4) 可児市のイメージについて

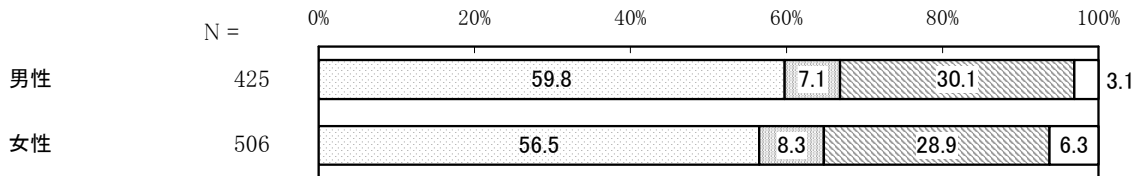
問 10 可児市に愛着はありますか。

「愛着がある」の割合が 58.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 29.4%となっています。



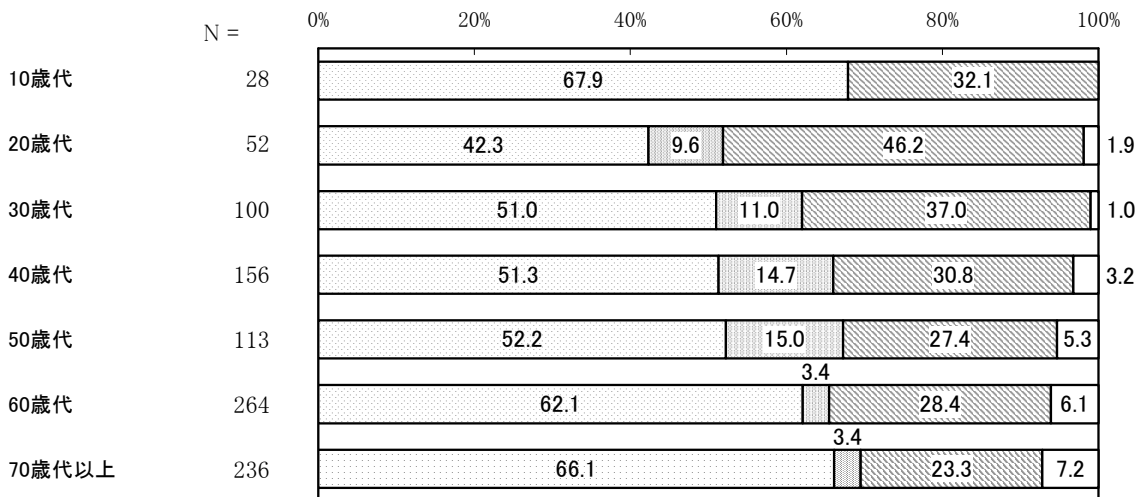
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



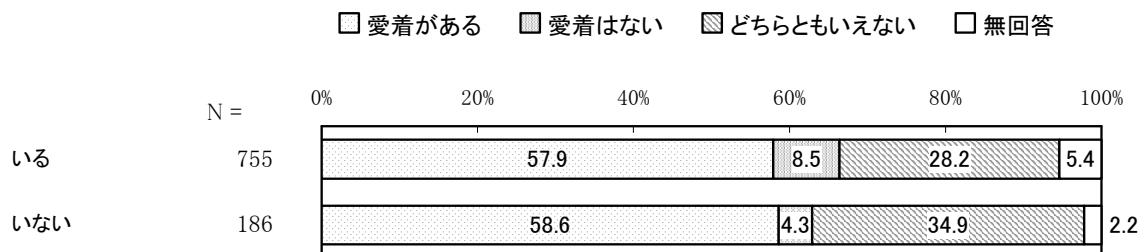
【年代別】

年代別でみると、20歳代以上で、年代が高くなるにつれ「愛着がある」の割合が高く、70歳代以上で約7割となっています。



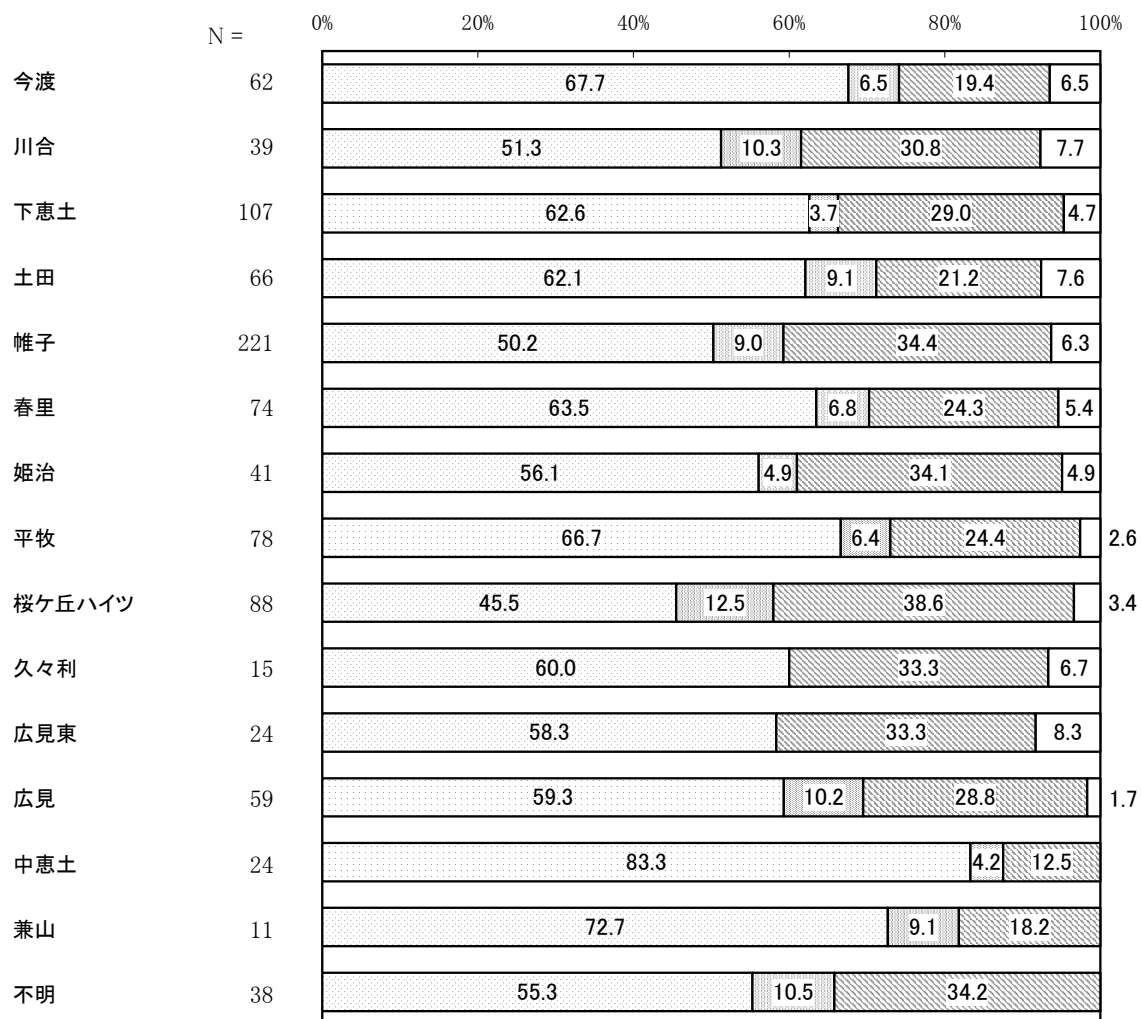
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらともいえない」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



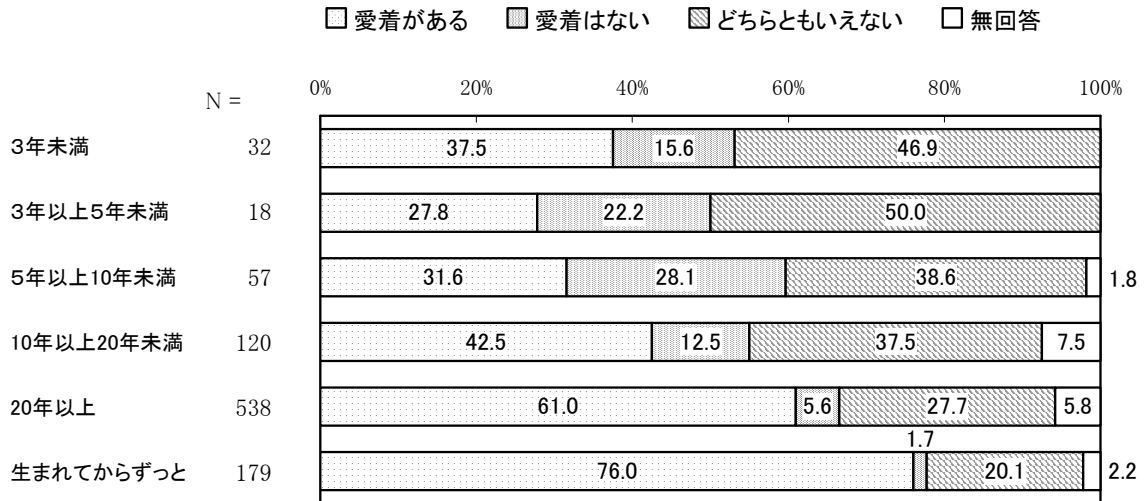
【居住地区別】

居住地区別でみると、中恵土で、「愛着がある」の割合が最も高く、8割を超えています。また、桜ヶ丘ハイツで「愛着がある」の割合が最も低く、4割半ばとなっています。



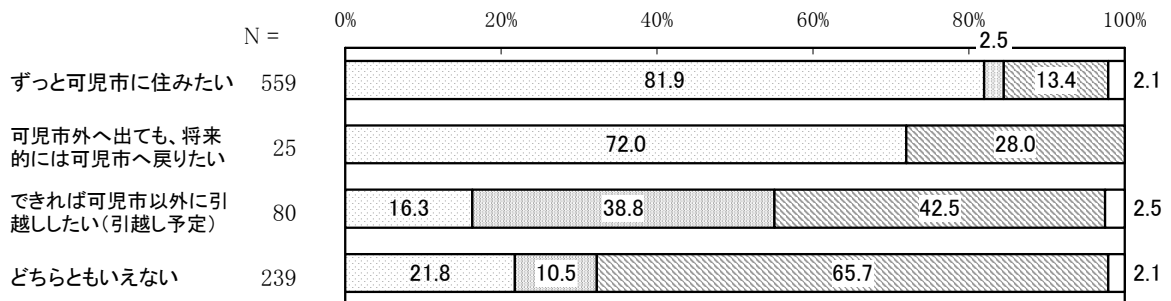
【居住年数別】

居住年数別でみると、3年未満を除き、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなっており、生まれてからずっとで7割台半ばとなっています。また、5年以上10年未満で「愛着はない」の割合が高く、約3割となっています。



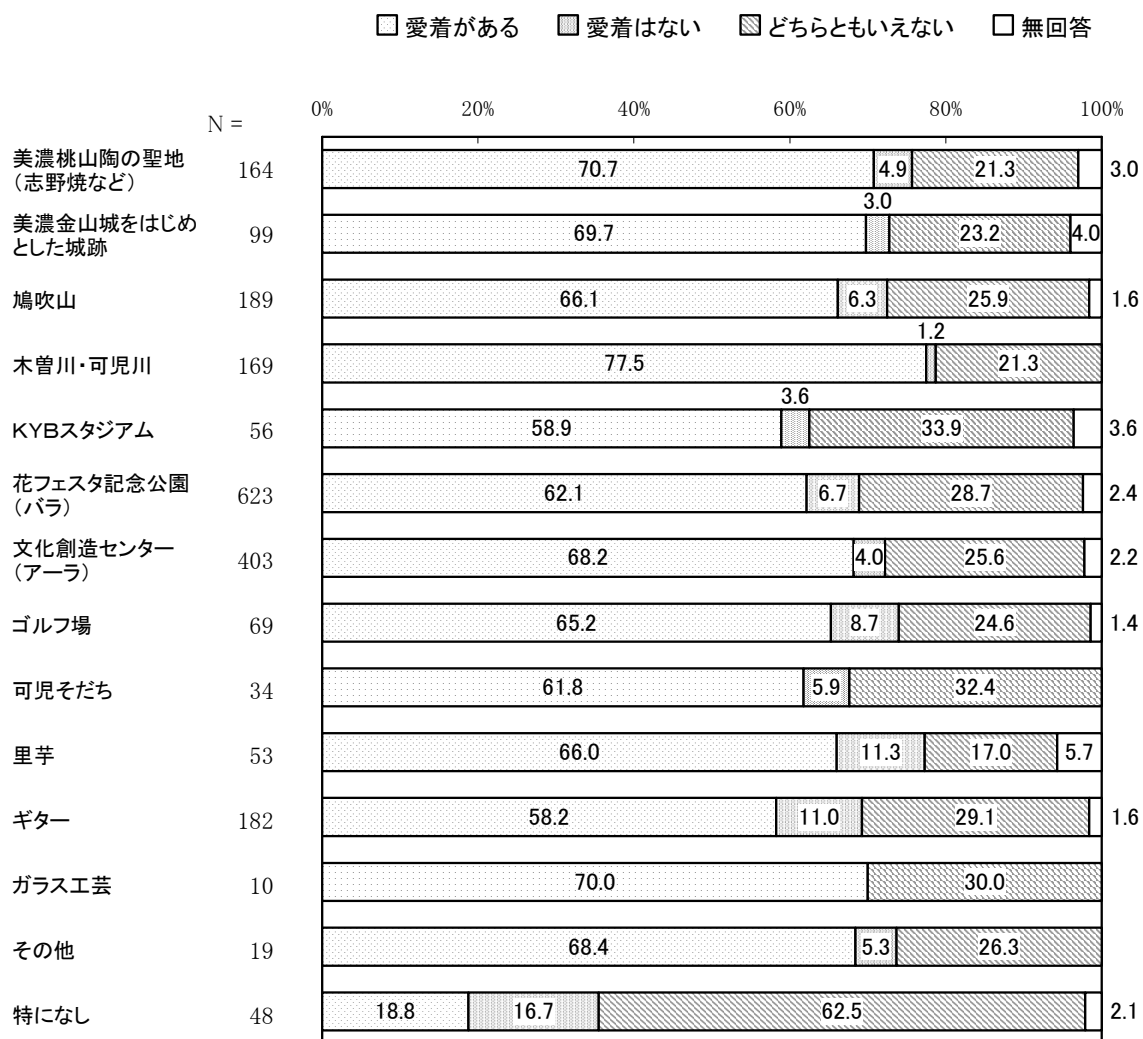
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、特にずっと可児市に住みたいで約8割となっています。



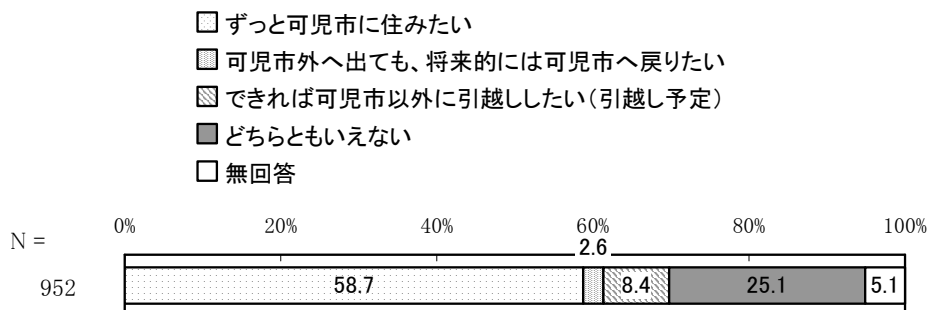
【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、木曾川・可児川で「愛着がある」の割合が高く、約8割となっています。また、特になしで「愛着はない」の割合が高くなっています。



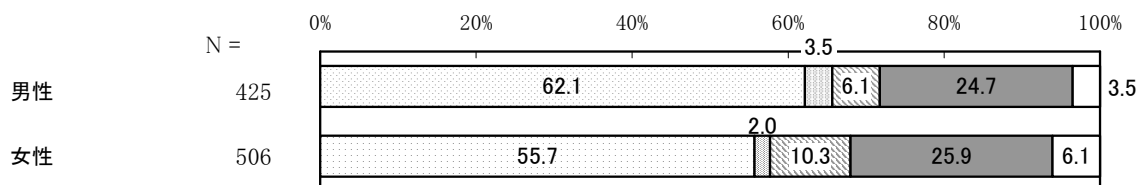
問 11 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(○は1つだけ)

「ずっと可児市に住みたい」の割合が58.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が25.1%となっています。



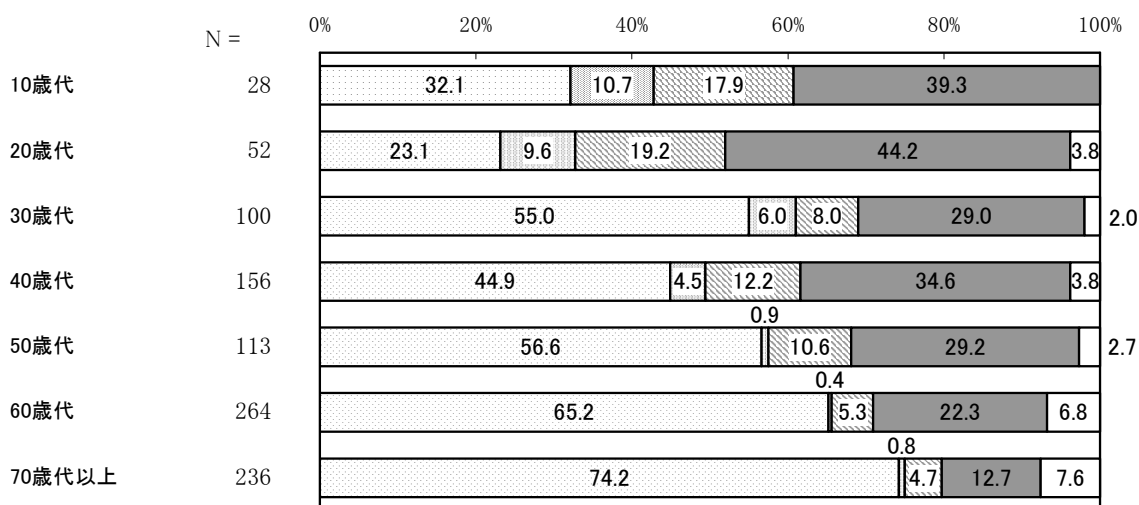
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約6割となっています。



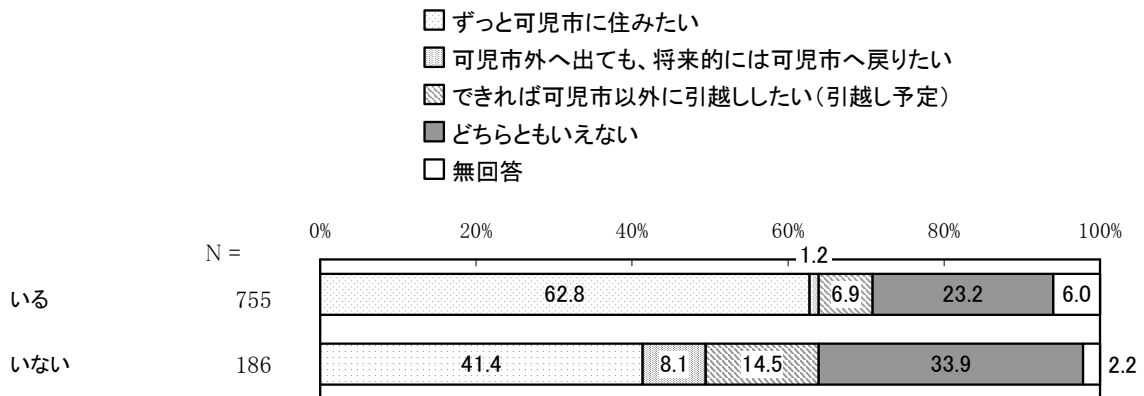
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、10歳代、20歳代で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、約2割となっています。



【子どもの有無別】

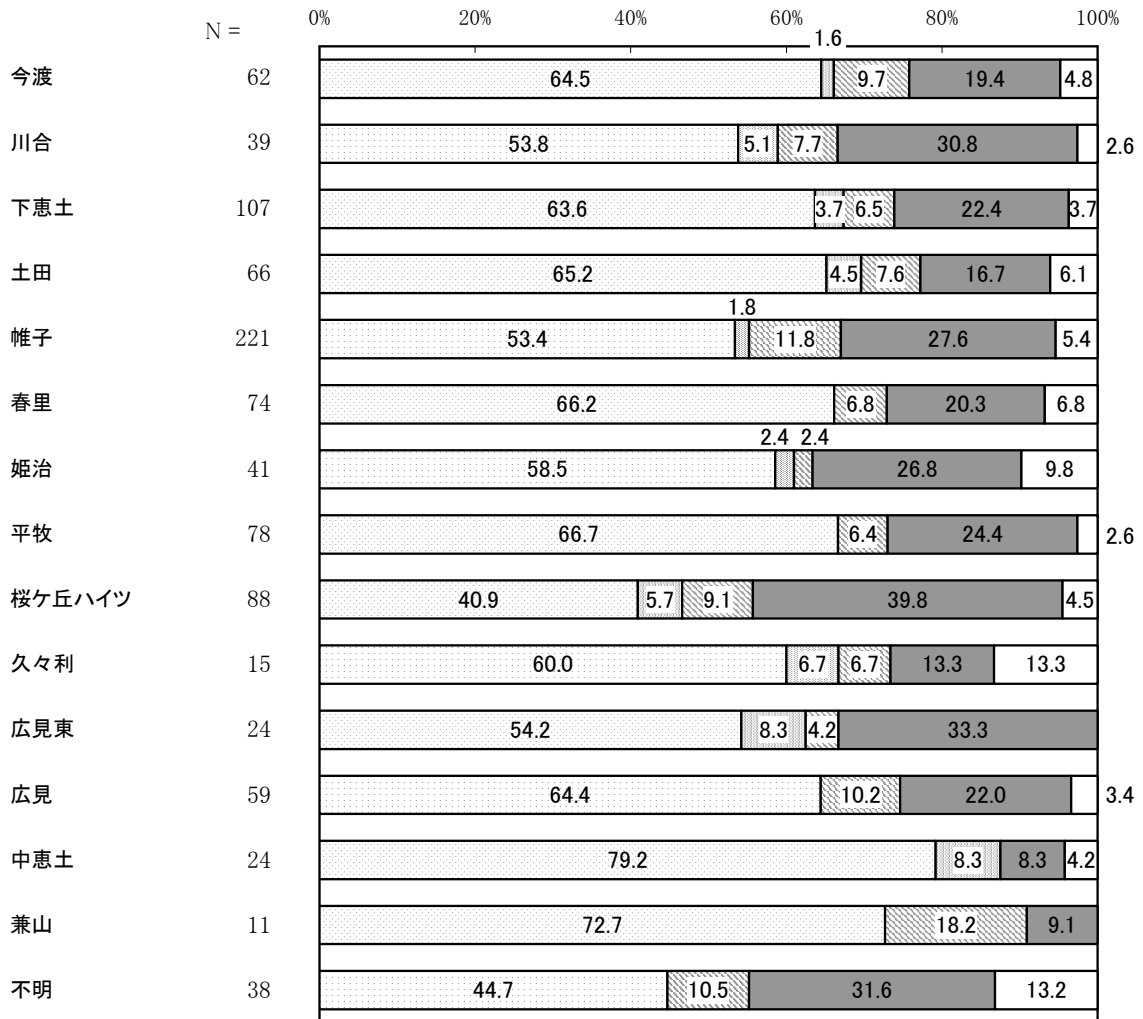
子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約6割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい」「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

居住地区別でみると、中恵土で、「ずっと可見市に住みたい」の割合が最も高く、約8割となっています。また、桜ヶ丘ハイツで「ずっと可見市に住みたい」の割合が最も低く、約4割となっています。

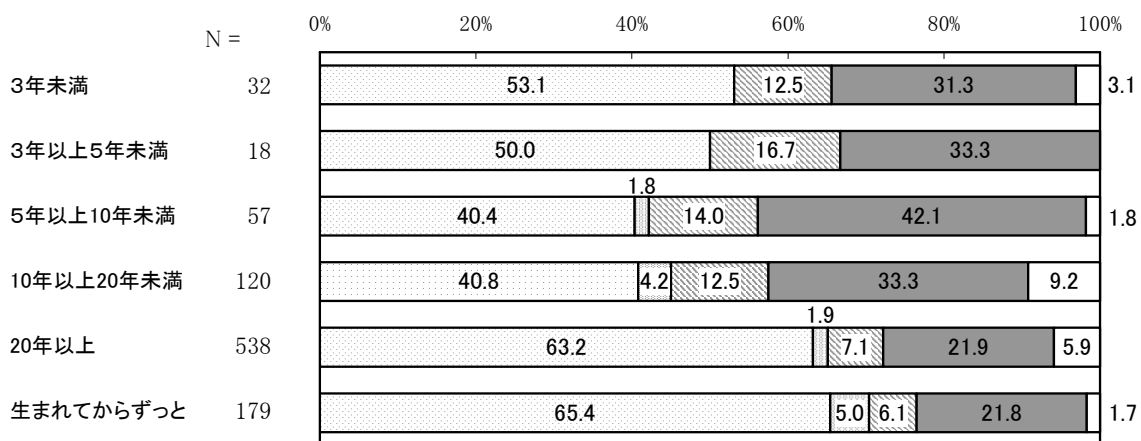
- ずっと可見市に住みたい
- ▨ 可見市外へ出ても、将来的には可見市へ戻りたい
- ▩ できれば可見市以外に引越したい(引越し予定)
- どちらともいえない
- 無回答



【居住年数別】

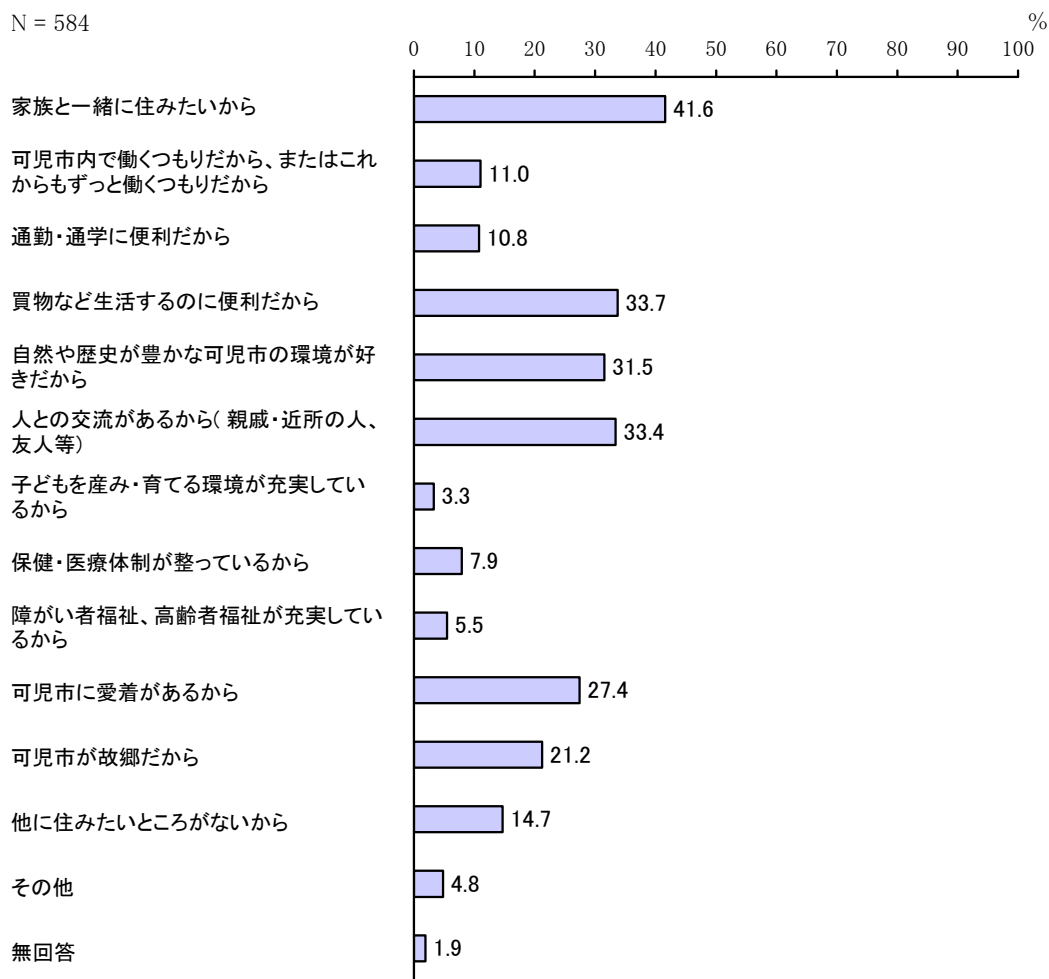
居住年数別で見ると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、6割を超えています。また、5年以上10年未満で「どちらともいえない」の割合が高く、約4割となっています。

- ずっと可児市に住みたい
- ▨ 可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたい
- ▩ できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)
- どちらともいえない
- 無回答



問12 問11で1または2(ずっと可児市に住みたい 可児市外に出ても、将来的には可児市へ戻りたい)とお答えになった方は、その理由を次の中から「3つまで」選んで番号に○をつけてください。

「家族と一緒に住みたいから」の割合が41.6%と最も高く、次いで「買物など生活するのに便利だから」の割合が33.7%、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が33.4%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市が故郷だから」「他に住みたいところがないから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族と一緒に住みたいから」「買物など生活するのに便利だから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、 またはこれからもずっと働く つもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だ から	自然や歴史が豊かな可児市の 環境が好きだから	人との交流があるから（親 戚・近所の人、友人等）	子どもを産み育てる環境が充 実しているから
男性	279	38.7	11.1	12.9	28.0	33.0	29.7	3.9
女性	292	43.8	11.3	8.9	38.7	30.8	37.0	2.4

区分	保健医療体制が整っているか ら	障がい者福祉、高齢者福祉が充 実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないか ら	その他	無回答
男性	7.2	4.7	26.2	24.7	17.9	5.0	2.9
女性	7.9	6.2	28.8	17.8	12.0	4.8	1.0

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「家族と一緒に住みたいから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、30歳代、50歳代で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」の割合が、20歳代、30歳代、40歳代で「通勤・通学に便利だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから (親戚、近所の人、友人等)	子どもを産み、育てる環境が充実しているから
10歳代	12	75.0	—	16.7	—	16.7	41.7	8.3
20歳代	17	17.6	11.8	23.5	29.4	23.5	29.4	5.9
30歳代	61	55.7	23.0	24.6	31.1	18.0	23.0	9.8
40歳代	77	50.6	14.3	23.4	27.3	31.2	28.6	3.9
50歳代	65	46.2	23.1	13.8	33.8	33.8	23.1	1.5
60歳代	173	31.8	9.8	4.0	41.0	34.1	41.0	2.9
70歳代以上	177	40.7	2.8	4.5	32.8	35.0	35.0	0.6

区分	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
10歳代	—	—	33.3	58.3	—	—	—
20歳代	—	5.9	23.5	47.1	11.8	11.8	—
30歳代	—	—	26.2	27.9	8.2	3.3	—
40歳代	7.8	1.3	18.2	19.5	18.2	3.9	—
50歳代	4.6	3.1	24.6	15.4	10.8	3.1	1.5
60歳代	9.2	6.9	32.9	15.6	19.7	5.8	2.3
70歳代以上	11.9	8.5	27.1	22.6	13.6	5.1	3.4

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」の割合が高くなっています。また、子どもいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に愛着があるから」「通勤・通学に便利だから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、 またはこれからもずっと働く つもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だ から	自然や歴史が豊かな可児市の 環境が好きだから	人との交流があるから（親 戚・近所の人、友人等）	子どもを産み育てる環境が充 実しているから
いる	483	43.3	10.6	9.7	34.0	31.1	34.6	2.7
いない	92	34.8	13.0	16.3	30.4	34.8	28.3	4.3

区分	保健医療体制が整っているか ら	障がい者福祉、高齢者福祉が充 実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないか ら	その他	無回答
いる	7.9	5.4	25.9	20.7	14.9	5.0	1.9
いない	8.7	4.3	32.6	26.1	15.2	4.3	2.2

【居住地区別】

居住地区別でみると、今渡、下恵土、中恵土で「買物など生活するのに便利だから」の割合が高くなっています。また、姫治、広見東、兼山で「家族と一緒に住みたいから」の割合がとくに高くなっています。そのほか、久々利で「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」、兼山で「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」がそれぞれとくに高くなっています。

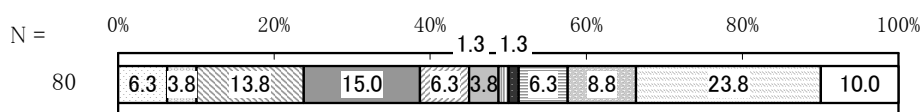
単位：％

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	41	39.0	14.6	14.6	58.5	19.5	31.7	—	7.3	4.9	31.7	24.4	9.8	4.9	4.9
川合	23	47.8	8.7	8.7	39.1	26.1	17.4	13.0	17.4	4.3	21.7	21.7	4.3	4.3	—
下恵土	72	40.3	15.3	13.9	52.8	18.1	29.2	1.4	19.4	5.6	18.1	26.4	13.9	2.8	—
土田	46	52.2	10.9	4.3	26.1	15.2	34.8	2.2	4.3	2.2	32.6	45.7	21.7	—	2.2
帷子	122	32.8	7.4	12.3	28.7	44.3	39.3	4.1	5.7	7.4	28.7	9.8	20.5	6.6	0.8
春里	49	44.9	8.2	8.2	22.4	38.8	36.7	6.1	2.0	6.1	20.4	32.7	12.2	4.1	—
姫治	25	68.0	12.0	20.0	20.0	24.0	32.0	—	4.0	—	28.0	8.0	20.0	8.0	—
平牧	52	48.1	13.5	5.8	25.0	26.9	30.8	1.9	3.8	5.8	32.7	13.5	15.4	5.8	3.8
桜ヶ丘ハイツ	41	17.1	9.8	7.3	24.4	51.2	34.1	4.9	2.4	7.3	31.7	7.3	12.2	12.2	4.9
久々利	10	50.0	10.0	10.0	—	80.0	30.0	—	—	10.0	40.0	60.0	—	—	—
広見東	15	73.3	20.0	—	33.3	33.3	13.3	13.3	6.7	—	26.7	33.3	—	6.7	6.7
広見	38	36.8	21.1	18.4	34.2	15.8	34.2	—	15.8	2.6	31.6	18.4	7.9	—	5.3
中恵土	21	42.9	—	14.3	47.6	38.1	33.3	—	9.5	4.8	33.3	33.3	—	9.5	—
兼山	8	62.5	—	—	12.5	37.5	62.5	—	—	—	25.0	25.0	12.5	—	—
不明	17	29.4	5.9	5.9	52.9	35.3	29.4	—	11.8	11.8	11.8	5.9	47.1	—	—

問 13 問 11 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）とお答えになった方は、その理由を次の中から「1つ」選んで番号に○をつけて下さい。

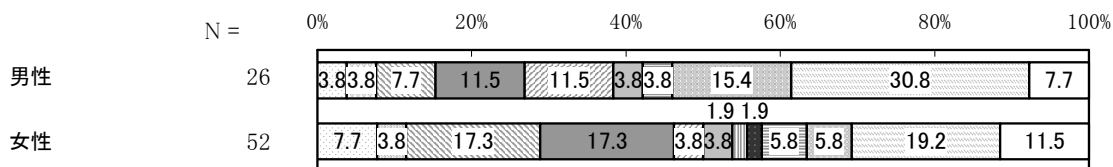
「買物など生活するのに不便だから」の割合が 15.0%と最も高く、次いで「通学・通勤に不便だから」の割合が 13.8%となっています。

- 可児市に働く場所がないから
 通学・通勤に不便だから
 娯楽や遊ぶ施設がないから
 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
 その他
- 進学や仕事の事情(転勤等)から
 買物など生活するのに不便だから
 親との同居や結婚等の事情から
 保健・医療体制が整っていないから
 故郷に戻るため
 無回答



【性別】

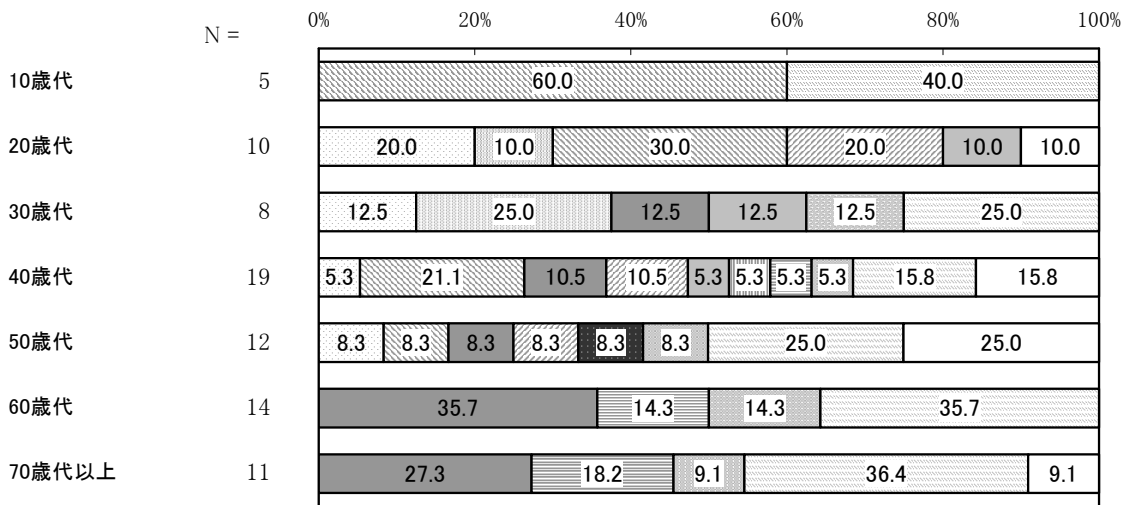
性別でみると、女性に比べ、男性で「娯楽や遊ぶ施設がないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「通学・通勤に不便だから」「買物など生活するのに不便だから」の割合が高くなっています。



【年代別】

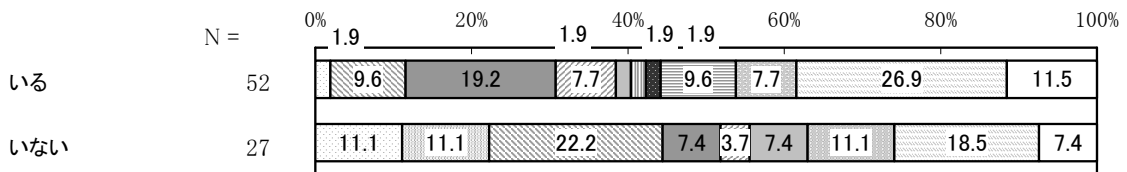
年代別でみると、60歳代で「買物など生活するのに不便だから」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 通学・通勤に不便だから
- ▩ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- ▧ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- その他
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等)から
- 買物など生活するのに不便だから
- ▧ 親との同居や結婚等の事情から
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▧ 故郷に戻るため
- 無回答



【子どもの有無別】

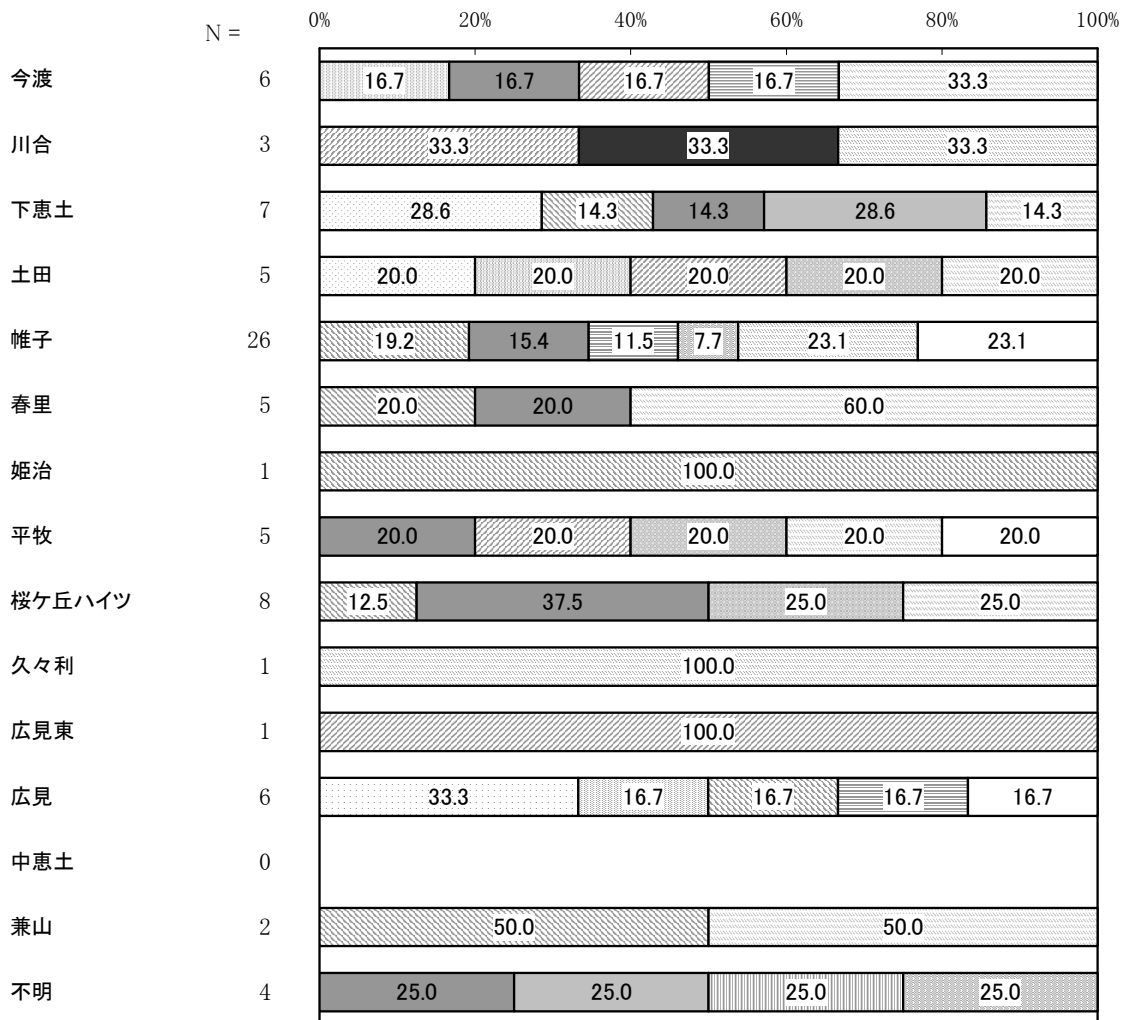
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに不便だから」「障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

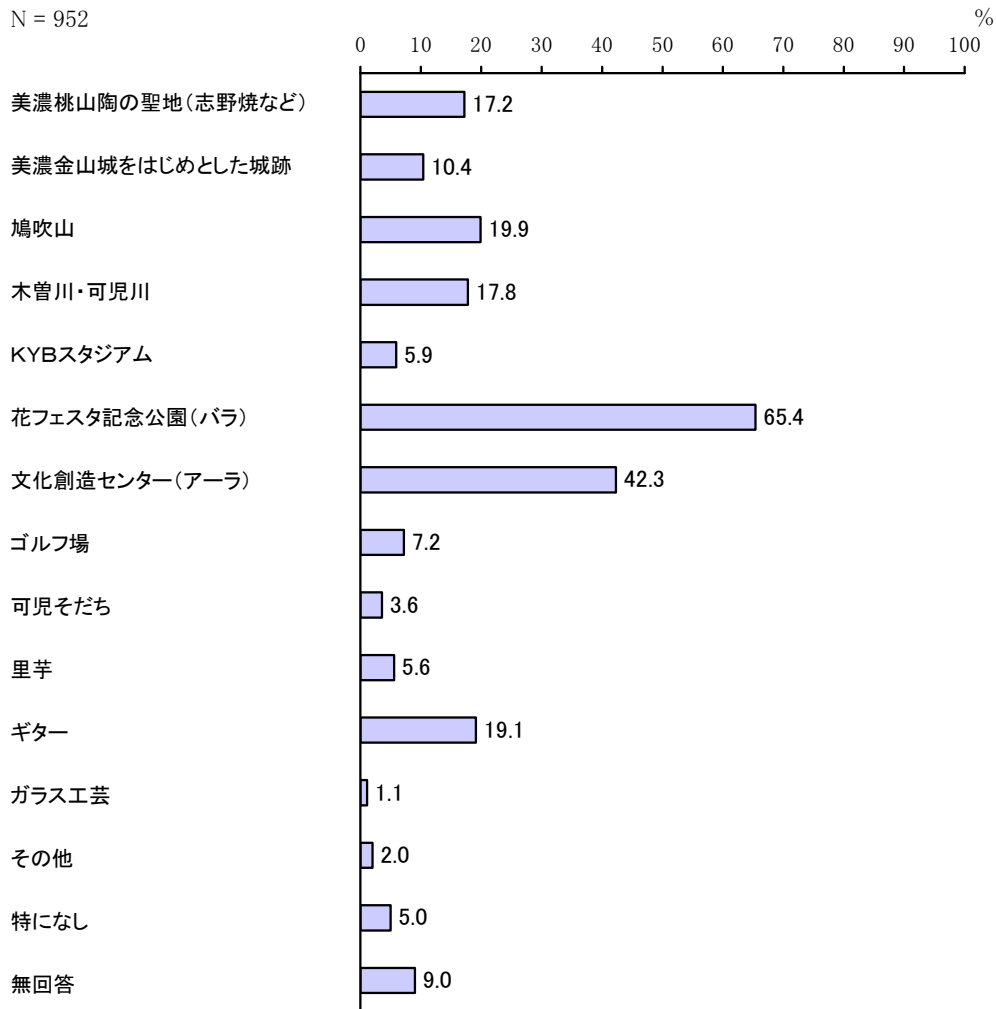
居住地区別でみると、桜ヶ丘ハイツで「買物など生活するのに不便だから」の割合が高くなっています。

- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 通学・通勤に不便だから
- ▩ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- ▧ 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- ▦ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- その他
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等)から
- 買物など生活するのに不便だから
- ▩ 親との同居や結婚等の事情から
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▩ 故郷に戻るため
- 無回答



問 14 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）を次の中から3つまで選んでください。

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が 65.4%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が 42.3%、「鳩吹山」の割合が 19.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「木曾川・可児川」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など)	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念 公園 (バラ)	文化創造センター (アーラ)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
男性	425	18.6	11.3	20.9	22.1	6.8	57.9	38.6	9.6	2.4	4.7	16.9	0.2	2.1	7.3	8.5
女性	506	14.8	9.7	19.0	13.8	5.1	72.3	45.3	4.9	4.5	6.3	20.9	1.8	2.0	3.4	9.7

【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10歳代で「KYBスタジアム」「文化創造センター（アール）」の割合が、30歳代で「ギター」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など)	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 (バラ)	文化創造センター (アール)	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
10歳代	28	7.1	3.6	10.7	10.7	25.0	67.9	60.7	—	10.7	7.1	14.3	3.6	7.1	3.6	3.6
20歳代	52	5.8	11.5	13.5	13.5	7.7	76.9	32.7	3.8	—	1.9	21.2	1.9	1.9	3.8	5.8
30歳代	100	8.0	11.0	13.0	12.0	8.0	69.0	37.0	7.0	1.0	3.0	38.0	—	3.0	5.0	8.0
40歳代	156	9.6	7.7	18.6	11.5	9.0	62.2	37.2	4.5	4.5	5.1	29.5	—	1.9	8.3	9.0
50歳代	113	17.7	10.6	19.5	15.0	3.5	63.7	41.6	4.4	6.2	6.2	24.8	0.9	2.7	5.3	7.1
60歳代	264	22.7	9.8	20.8	17.8	4.9	69.7	42.0	11.4	3.4	5.7	15.2	2.3	1.9	5.3	8.0
70歳代以上	236	22.9	13.1	25.4	27.1	2.5	59.7	48.7	7.6	3.0	7.2	5.5	0.4	0.8	3.0	13.1

【居住地区別】

居住地区別でみると、他に比べ、兼山で「美濃金山城をはじめとした城跡」、土田で「鳩吹山」「木曾川・可児川」、春里で「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など)	美濃金山城をはじめとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公園 バラ	文化創造センター エリア	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
今渡	62	24.2	8.1	22.6	14.5	6.5	66.1	45.2	3.2	4.8	6.5	24.2	1.6	1.6	6.5	8.1
川合	39	7.7	10.3	7.7	20.5	7.7	79.5	48.7	2.6	7.7	15.4	20.5	2.6	—	—	5.1
下恵土	107	15.0	9.3	16.8	23.4	6.5	60.7	54.2	8.4	1.9	4.7	15.9	0.9	3.7	6.5	6.5
土田	66	12.1	10.6	42.4	34.8	3.0	42.4	36.4	4.5	3.0	6.1	13.6	—	3.0	6.1	9.1
帷子	221	15.4	7.7	30.3	16.7	3.6	65.2	43.9	5.9	3.2	3.6	22.2	0.9	2.3	4.5	11.3
春里	74	13.5	5.4	23.0	18.9	17.6	52.7	47.3	6.8	5.4	5.4	13.5	1.4	1.4	6.8	12.2
姫治	41	7.3	14.6	22.0	14.6	9.8	85.4	24.4	9.8	4.9	4.9	19.5	2.4	—	2.4	2.4
平牧	78	24.4	15.4	10.3	14.1	3.8	64.1	37.2	9.0	2.6	9.0	19.2	2.6	2.6	3.8	10.3
桜ヶ丘ハイツ	88	25.0	6.8	5.7	9.1	2.3	75.0	40.9	12.5	5.7	5.7	17.0	1.1	2.3	5.7	8.0
久々利	15	53.3	20.0	6.7	6.7	6.7	66.7	46.7	20.0	—	20.0	6.7	—	—	—	6.7
広見東	24	20.8	16.7	4.2	16.7	4.2	62.5	41.7	—	4.2	4.2	33.3	—	—	—	8.3
広見	59	20.3	15.3	11.9	11.9	6.8	72.9	32.2	8.5	—	1.7	11.9	—	—	6.8	13.6
中恵土	24	16.7	4.2	16.7	20.8	8.3	79.2	45.8	12.5	8.3	—	20.8	—	4.2	4.2	12.5
兼山	11	—	63.6	—	—	—	63.6	54.5	9.1	—	—	27.3	—	—	—	—
不明	38	7.9	7.9	18.4	23.7	2.6	71.1	34.2	5.3	2.6	7.9	28.9	—	2.6	10.5	5.3

【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、生まれてからずっとで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位：%

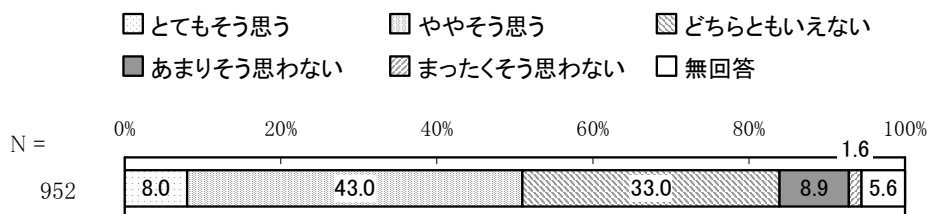
区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など)	美濃金山城をはじめと した城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フエスタ記念公園 (バラ)	文化創造センター ア－ラ)
3年未満	32	12.5	6.3	9.4	18.8	—	68.8	28.1
3年以上5年未満	18	—	5.6	16.7	11.1	16.7	55.6	38.9
5年以上10年未満	57	10.5	7.0	5.3	14.0	3.5	70.2	40.4
10年以上20年未満	120	10.0	8.3	17.5	12.5	15.0	60.0	39.2
20年以上	538	18.2	11.5	23.0	18.2	3.9	67.8	42.8
生まれてからずっと	179	23.5	11.2	19.0	21.8	6.1	62.0	46.4

区分	ゴルフ場	可児そたち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	6.3	3.1	—	21.9	3.1	3.1	9.4	9.4
3年以上5年未満	11.1	—	16.7	16.7	—	11.1	—	16.7
5年以上10年未満	7.0	3.5	8.8	26.3	1.8	3.5	5.3	8.8
10年以上20年未満	1.7	3.3	3.3	20.0	—	2.5	6.7	14.2
20年以上	8.0	3.7	5.9	19.0	1.1	1.1	4.6	8.9
生まれてからずっと	8.9	3.9	5.0	16.2	0.6	2.8	5.0	4.5

(5) 子育て環境について

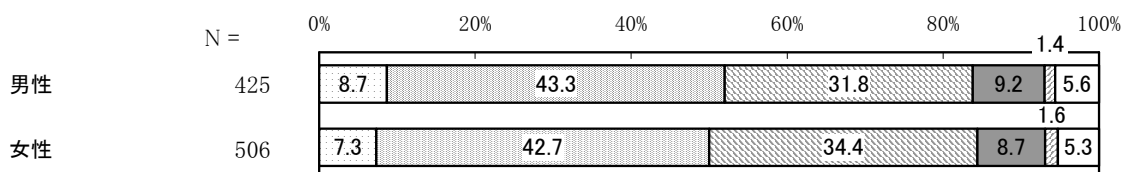
問 15 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“思う”割合が 51.0%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」あわせた“思わない”割合が 10.5%となっています。



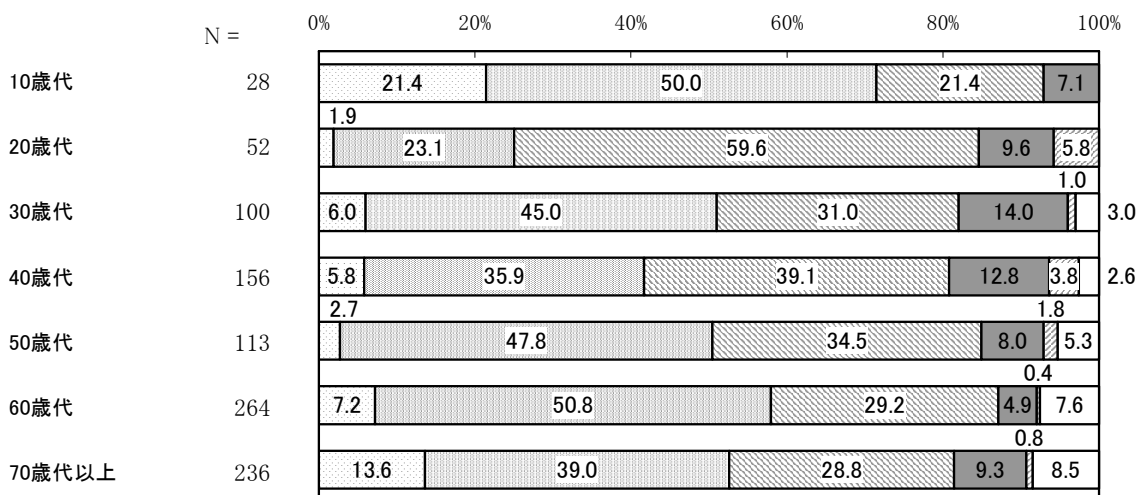
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



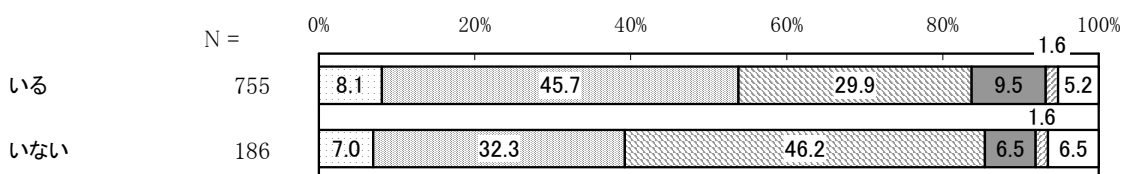
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高く、約7割となっています。また、20歳代で“そう思う”の割合が低く、2割台半ばとなっています。



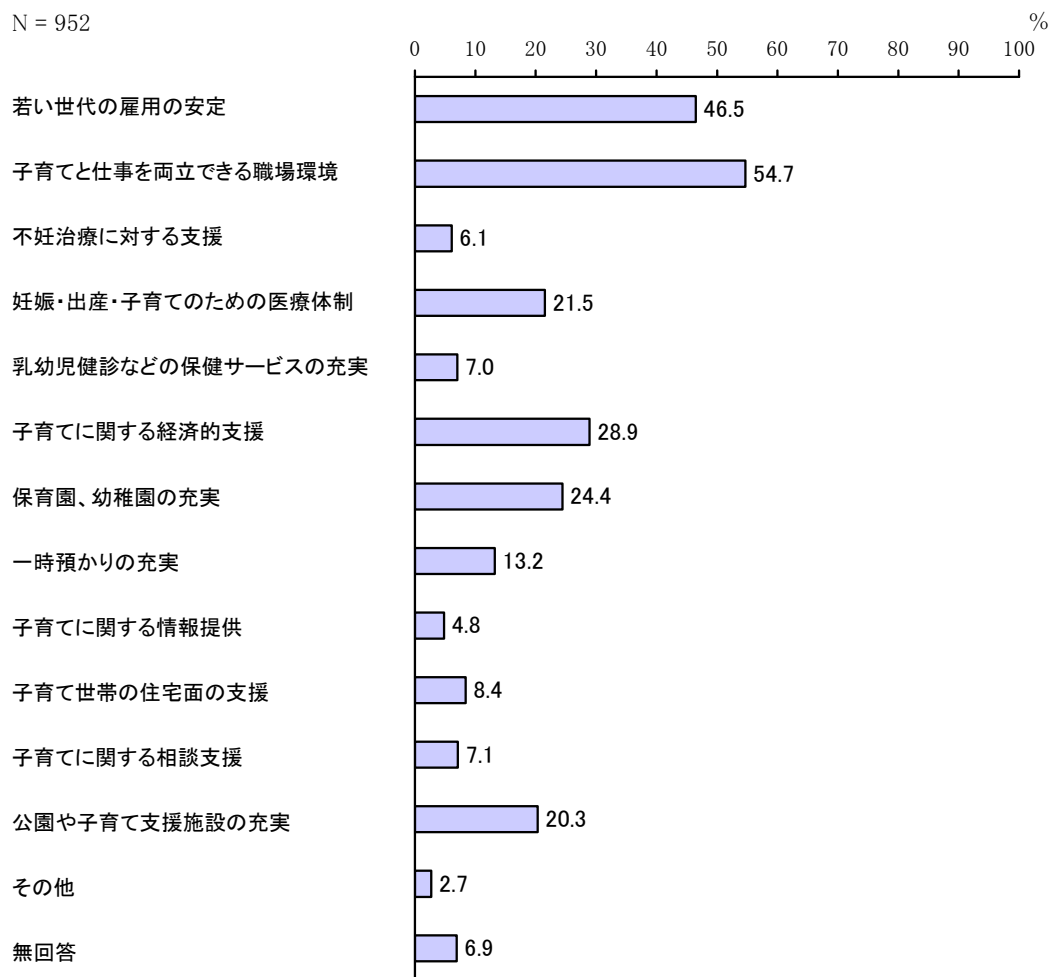
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。



問 16 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「若い世代の雇用の安定」の割合が 46.5%、「子育てに関する経済的支援」の割合が 28.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「一時預かりの充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる 職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための 医療体制	乳幼児健診などの保健サービ スの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
男性	425	52.9	51.8	4.7	24.7	7.3	32.5	26.1
女性	506	41.1	57.3	7.5	19.0	6.9	26.3	23.3

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	8.7	3.1	9.6	6.4	17.9	3.3	4.9
女性	17.6	6.5	7.5	8.1	21.9	2.4	8.1

【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「若い世代の雇用の安定」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、20歳代から40歳代で「子育てに関する経済的支援」の割合が、10歳代で「保育園、幼稚園の充実」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービス	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
10歳代	28	46.4	42.9	3.6	25.0	14.3	28.6	39.3
20歳代	52	38.5	51.9	13.5	23.1	7.7	40.4	19.2
30歳代	100	27.0	55.0	13.0	25.0	16.0	43.0	14.0
40歳代	156	31.4	50.0	12.8	22.4	5.8	39.7	22.4
50歳代	113	49.6	54.0	5.3	18.6	7.1	27.4	23.0
60歳代	264	53.8	58.0	2.3	22.0	6.1	22.3	30.3
70歳代以上	236	56.4	56.4	2.1	19.5	4.2	21.6	23.7

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10歳代	17.9	3.6	3.6	10.7	28.6	—	—
20歳代	11.5	1.9	9.6	3.8	23.1	5.8	3.8
30歳代	20.0	5.0	17.0	5.0	31.0	3.0	1.0
40歳代	18.6	5.8	10.9	7.1	17.9	3.2	5.1
50歳代	18.6	8.0	8.0	7.1	15.9	2.7	5.3
60歳代	10.6	4.9	9.8	7.6	21.6	1.5	7.2
70歳代以上	7.2	3.4	2.1	8.1	16.1	3.4	12.7

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「妊娠・出産・子育てのための医療体制」「保育園、幼稚園の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる 職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための 医療体制	乳幼児健診などの保健サービス の充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
いる	755	46.4	56.0	5.3	20.5	7.0	29.7	23.3
いない	186	47.3	48.9	8.6	25.8	7.5	25.8	29.6

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の 充実	その他	無回答
いる	14.0	4.9	8.2	6.4	22.4	2.8	6.5
いない	10.8	4.3	8.6	10.2	11.8	2.7	8.1

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、嘱託・契約社員で「若い世代の雇用の安定」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、アルバイト・パート、嘱託・契約社員、家事専業、無職で「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が高く、約6割となっています。

単位：％

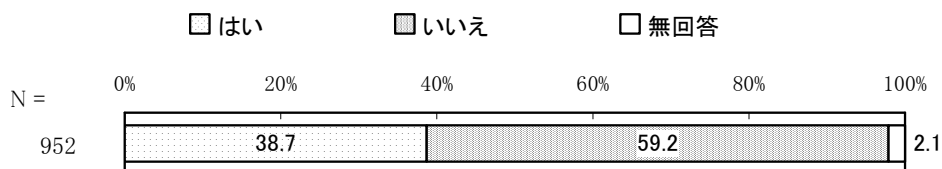
区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービス の充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
正社員・正職員	210	39.0	51.9	7.6	21.4	8.1	40.0	23.8
アルバイト・パート	162	38.9	59.3	6.2	26.5	6.8	34.6	23.5
派遣社員	9	44.4	44.4	33.3	33.3	—	11.1	22.2
嘱託・契約社員	26	76.9	57.7	3.8	30.8	7.7	23.1	7.7
自営業主・家族従業員	64	46.9	45.3	4.7	20.3	7.8	35.9	28.1
内職	3	—	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	—
家事専業	145	47.6	57.9	7.6	15.2	7.6	20.0	22.8
学生	32	62.5	46.9	3.1	18.8	15.6	28.1	31.3
無職	272	51.8	56.3	3.7	21.7	4.4	21.7	26.1
その他	20	40.0	50.0	10.0	10.0	5.0	25.0	30.0

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	14.3	5.7	12.9	5.2	18.1	2.9	4.3
アルバイト・パート	19.8	4.9	8.6	8.0	22.2	3.1	3.7
派遣社員	11.1	—	—	11.1	11.1	11.1	22.2
嘱託・契約社員	7.7	3.8	15.4	7.7	26.9	—	—
自営業主・家族従業員	9.4	—	9.4	7.8	20.3	1.6	6.3
内職	—	—	66.7	—	33.3	—	—
家事専業	17.2	8.3	5.5	6.2	26.2	1.4	9.0
学生	18.8	3.1	6.3	3.1	21.9	—	—
無職	8.1	4.4	5.1	8.5	18.0	3.7	9.9
その他	10.0	—	5.0	15.0	5.0	5.0	20.0

(6) 運動の推進について

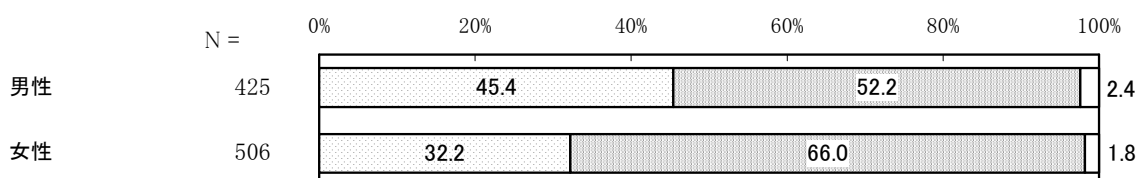
問 17 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する歩こう可児302運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

「はい」の割合が38.7%、「いいえ」の割合が59.2%となっています。



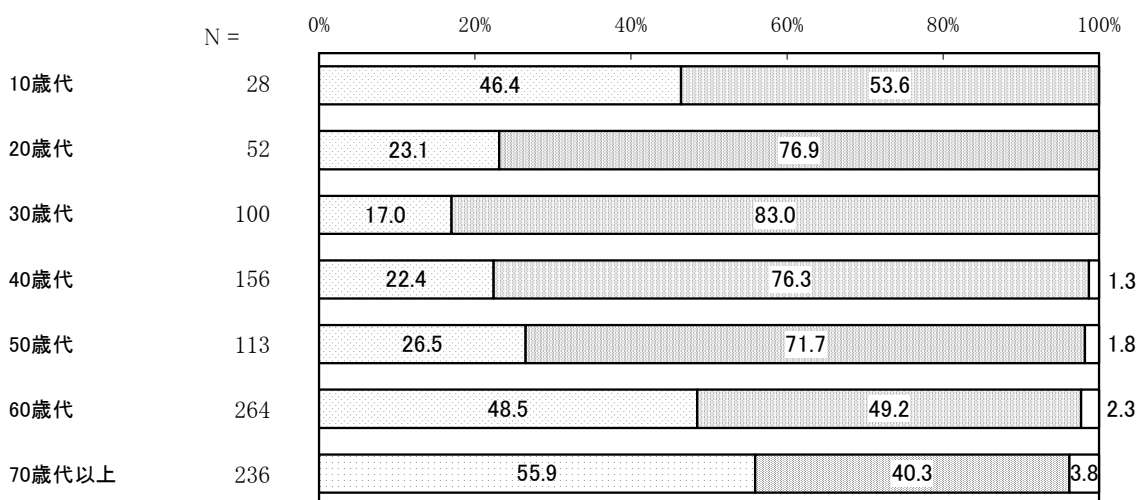
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、70歳代以上で「はい」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、30歳代で「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。

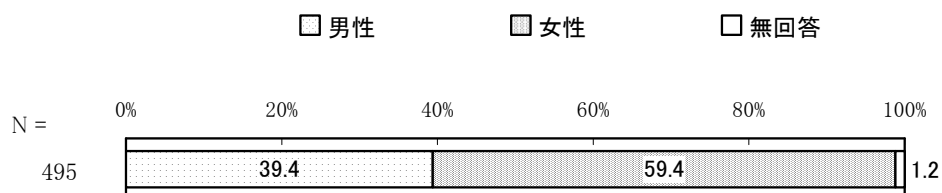


2 若年層

(1) 回答者属性

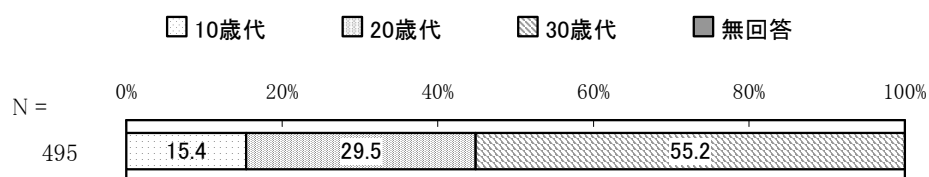
問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

「男性」の割合が39.4%、「女性」の割合が59.4%となっています。



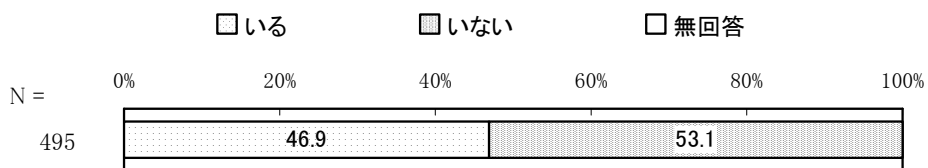
問2 あなたの年齢は、次のうちどれですか。(○は1つだけ)

「30歳代」の割合が55.2%と最も高く、次いで「20歳代」の割合が29.5%、「10歳代」の割合が15.4%となっています。



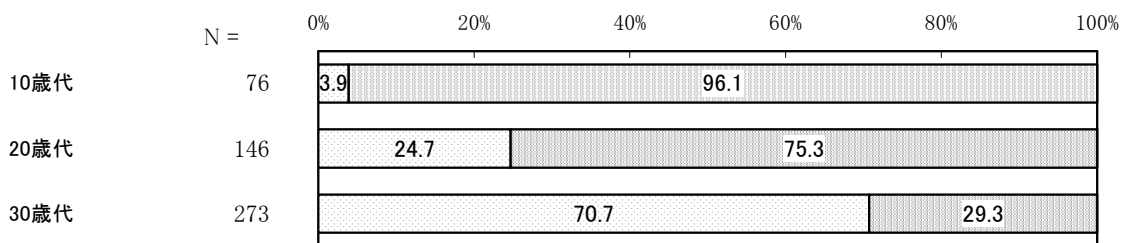
問3 あなたには、子どもはいますか。(いる場合は子どもの世代も選択して下さい。)

「いる」の割合が46.9%、「いない」の割合が53.1%となっています。



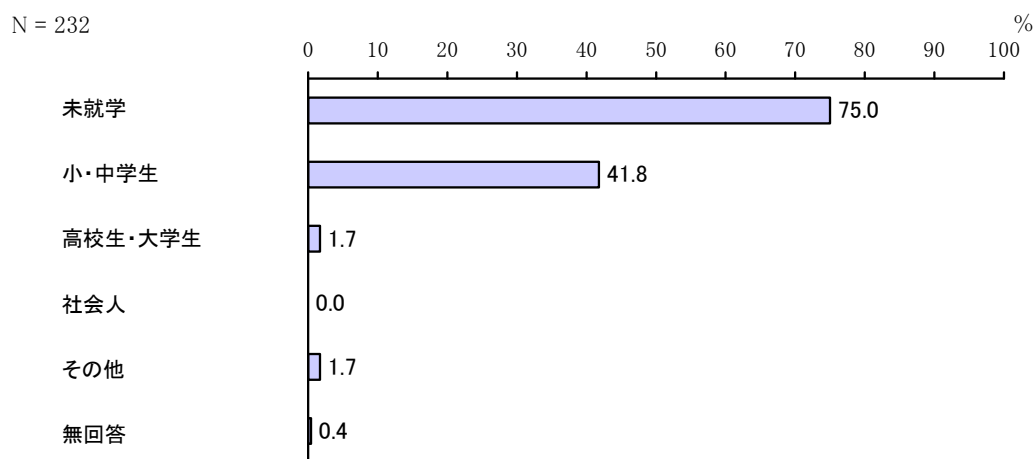
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「いる」の割合が高くなっており、30歳代で約7割となっています。



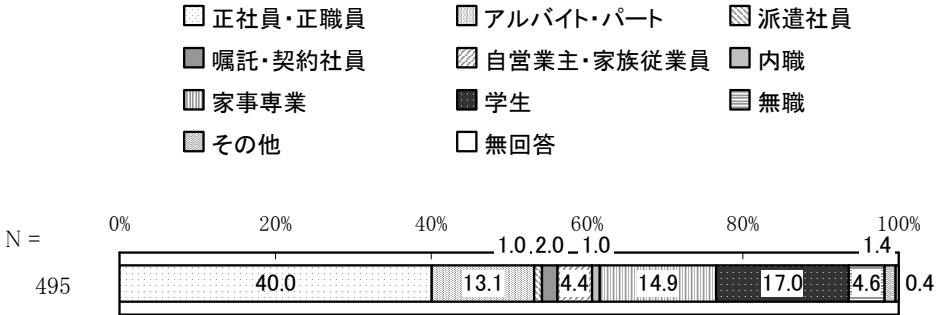
子どもの世代

「未就学」の割合が75.0%と最も高く、次いで「小・中学生」の割合が41.8%となっています。



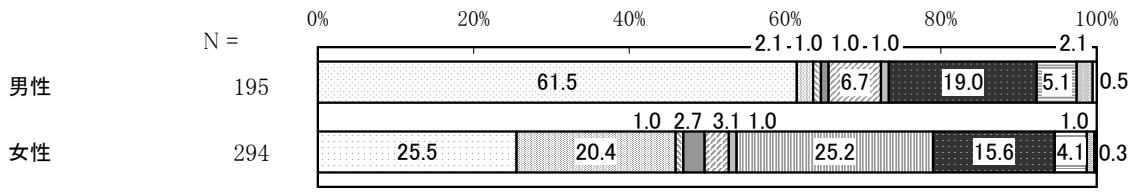
問4 あなたの職業は、次のうちどれですか。(〇は1つだけ)

「正社員・正職員」の割合が40.0%と最も高く、次いで「学生」の割合が17.0%、「家事専業」の割合が14.9%となっています。



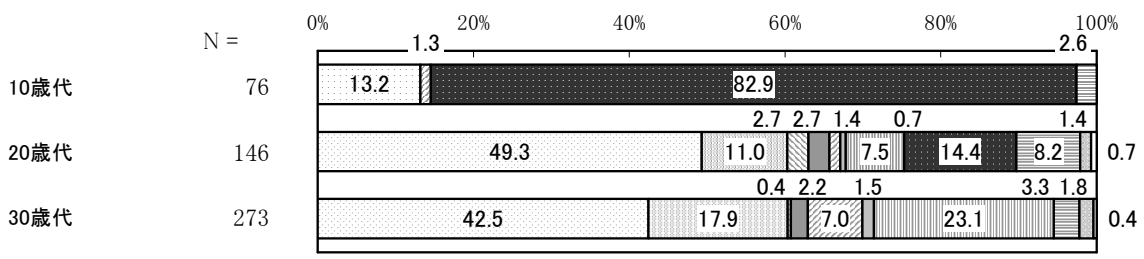
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「正社員・正職員」の割合が高く、約6割となっています。また、男性に比べ、女性で「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高く、約2割となっています。



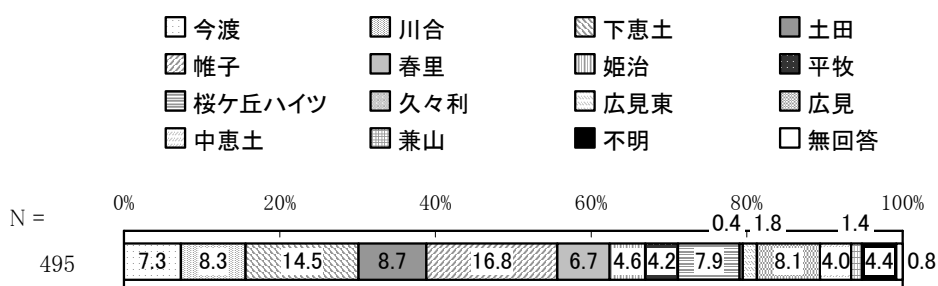
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「アルバイト・パート」「家事専業」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「学生」の割合が高く、約8割となっています。また、20歳代で「正社員・正職員」の割合が高く、約5割となっています。



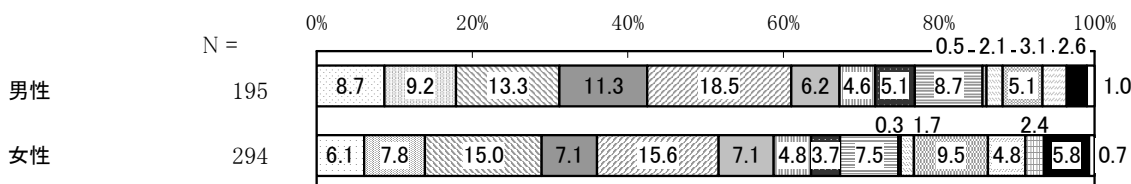
問5 あなたはどちらにお住まいですか。(自治連合会単位)

「帷子」の割合が16.8%と最も高く、次いで「下恵土」の割合が14.5%となっています。



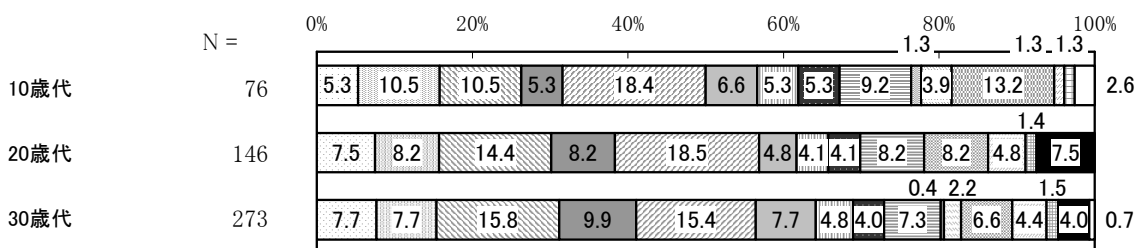
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



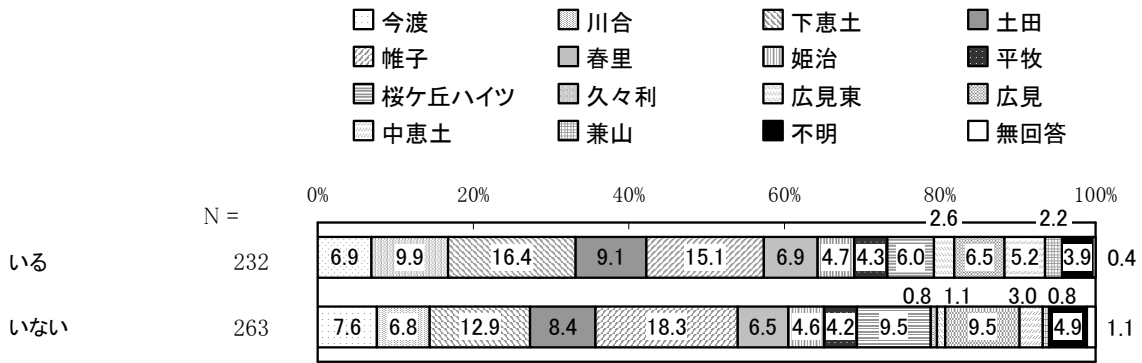
【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で「広見」の割合が高くなっています。



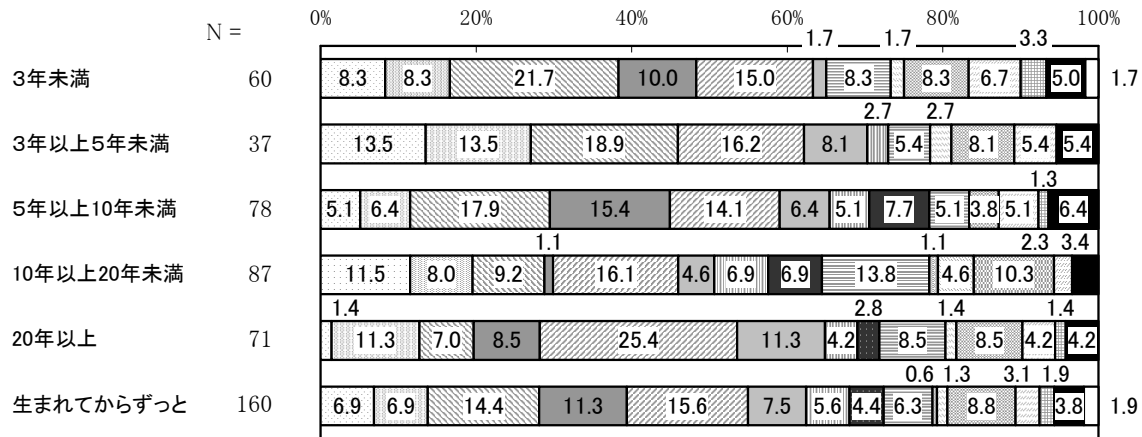
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



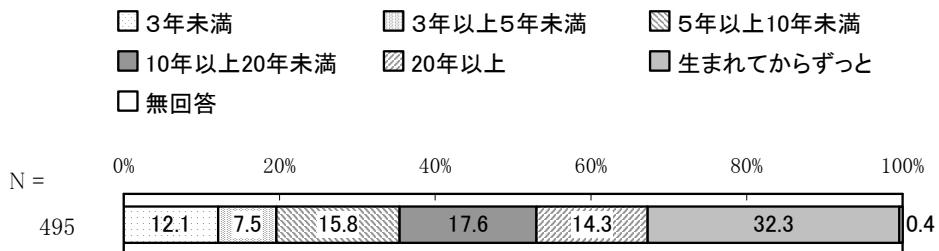
【居住年数別】

居住年数別でみると、生まれてからずっとを除き、居住年数が短くなるにつれ「下恵土」の割合が高くなっています。また、他に比べ、20年以上で「帷子」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



問6 あなたは、可児市(合併前の兼山町を含む)にお住まいになって何年ですか。

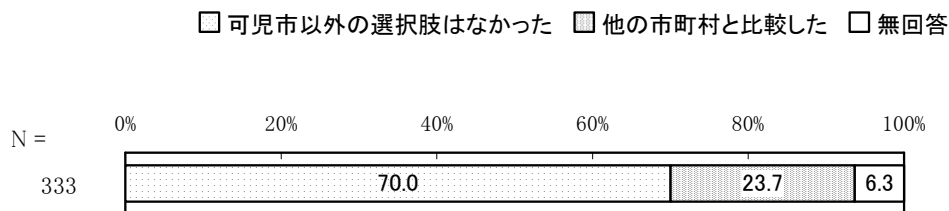
「生まれてからずっと」の割合が32.3%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が17.6%、「5年以上10年未満」の割合が15.8%となっています。



(2) 可児市への居住理由について

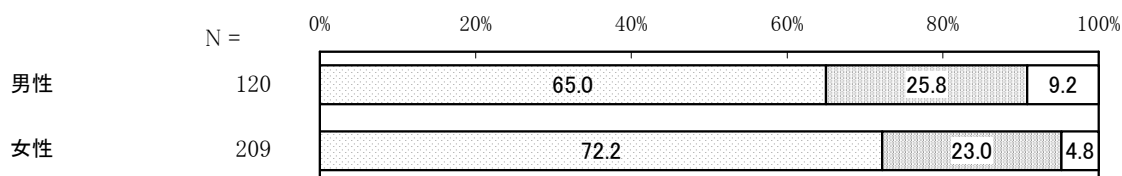
問7 どのように可児市を転居先選ばれましたか。(〇は1つだけ)

「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が70.0%、「他の市町村と比較した」の割合が23.7%となっています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高く、約7割となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「可児市以外の選択肢はなかった」の割合が高くなっており、10歳代で約8割となっています。

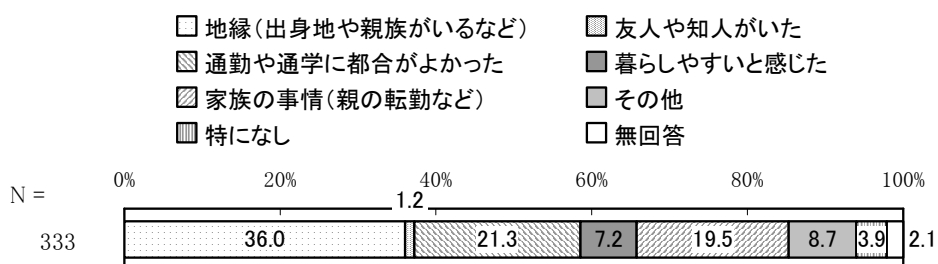


<比較した市町村>

美濃加茂市 (28件)	多治見市 (26件)	犬山市 (18件)
春日井市 (9件)	各務原市 (6件)	土岐市 (5件)
名古屋市 (4件)	御嵩町 (4件)	小牧市 (3件)
関市 (2件)	大口町 (2件)	川辺町 (2件)
扶桑町 (2件)	江南市 (2件)	豊田市 (1件)
可児市 (1件)	一宮市 (1件)	安城市 (1件)
岐阜市 (1件)	坂祝町 (1件)	岩倉市 (1件)

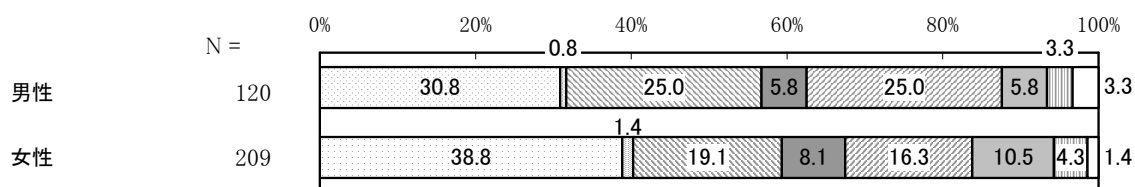
問 8 可児市を選んだ理由は何ですか。(〇は1つだけ)

「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「通勤や通学に都合がよかった」の割合が 21.3%、「家族の事情（親の転勤など）」の割合が 19.5%となっています。



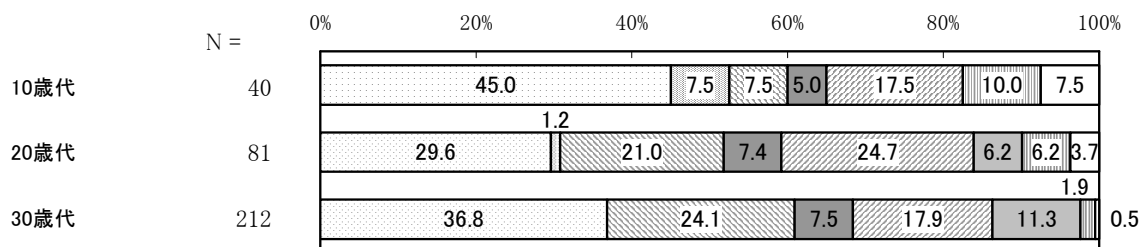
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「通勤や通学に都合がよかった」「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。



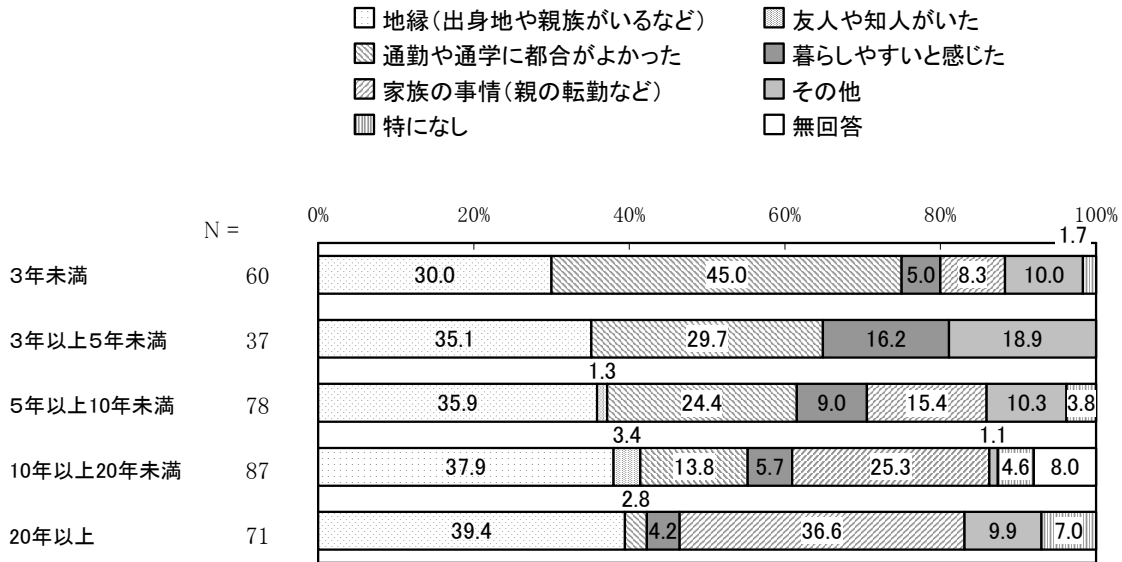
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が、20歳代で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高くなっています。



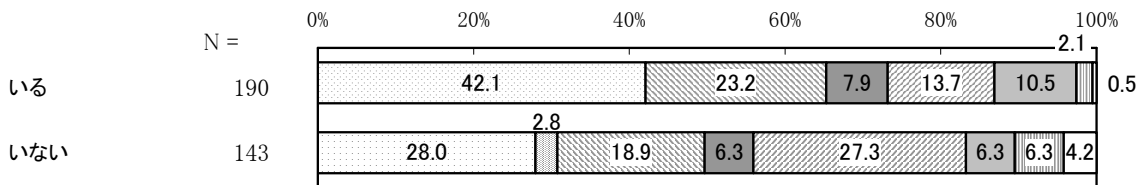
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高くなっています。また、居住年数が短くなるにつれ「通勤や通学に都合がよかった」の割合が高くなっています。また、他に比べ、20年以上で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



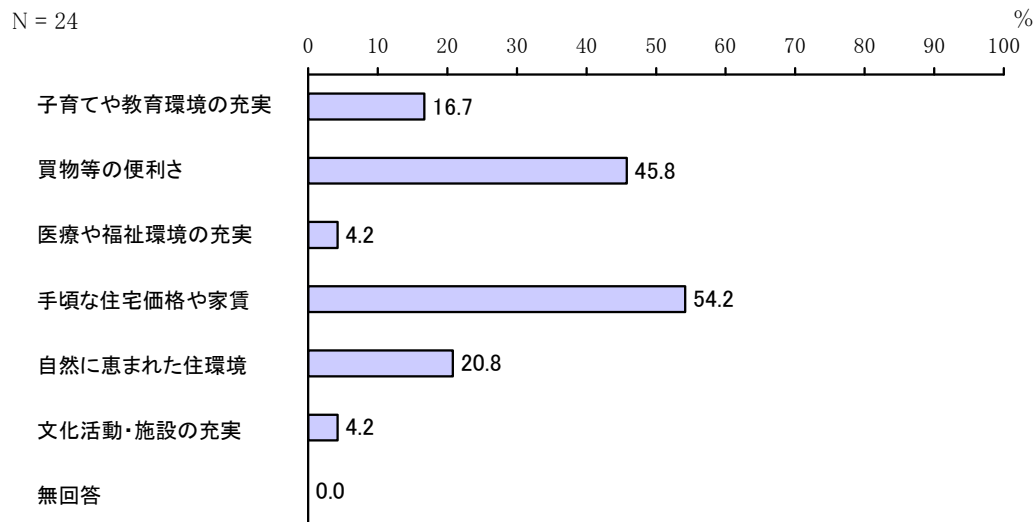
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「地縁（出身地や親族がいるなど）」の割合が高く、約4割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「家族の事情（親の転勤など）」の割合が高く、約3割となっています。



暮らしやすいと感じた理由

「手頃な住宅価格や家賃」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「買物等の便利さ」の割合が 45.8%、「自然に恵まれた住環境」の割合が 20.8%となっています。



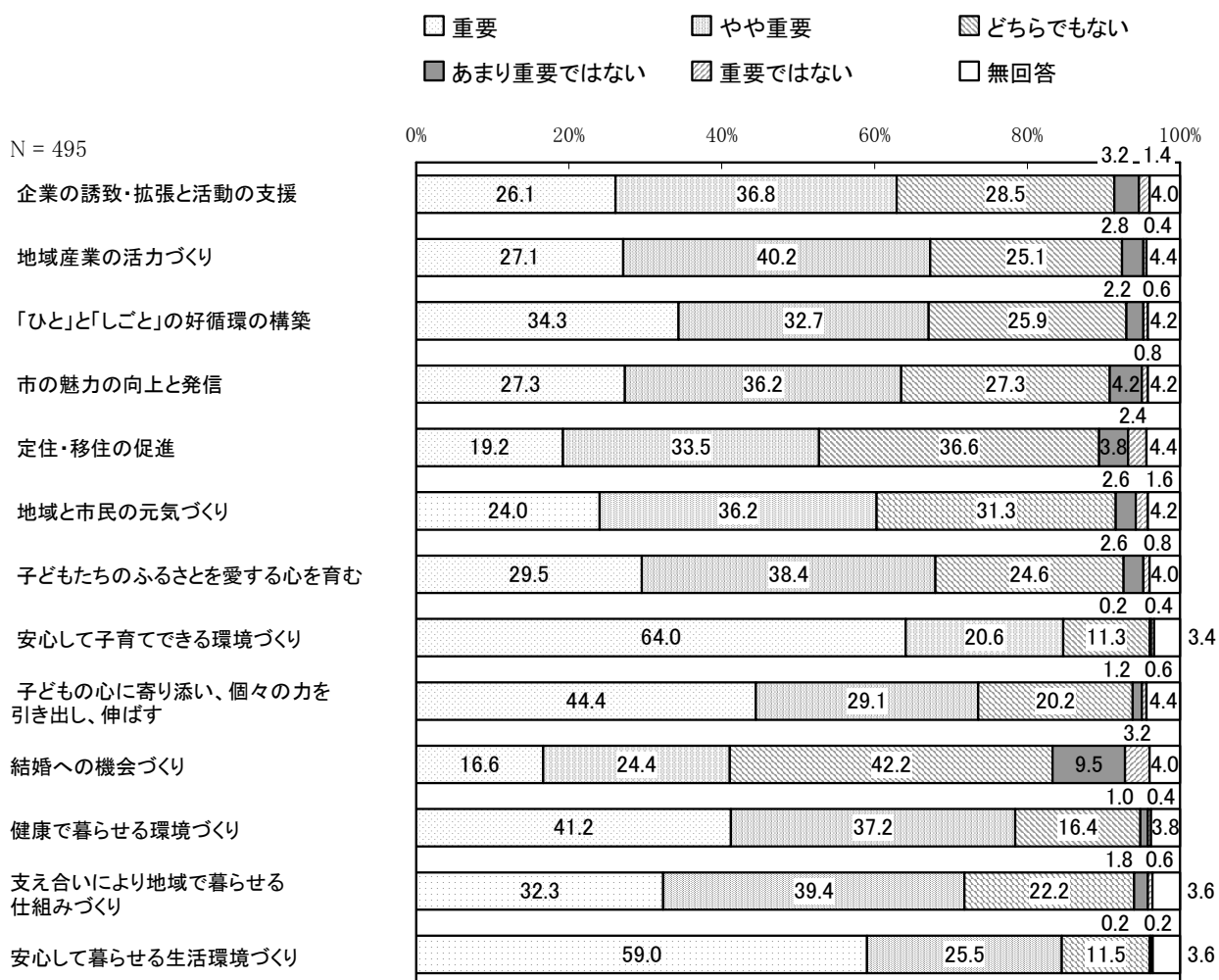
(3) 施策の重要度と満足度について

問9 可児市総合戦略の各施策について、「重要度」と「満足度」をおたずねします。
5点満点で評価し、該当する数字を1つずつ○で囲んでください。

①重要度

『安心して子育てできる環境づくり』、『安心して暮らせる生活環境づくり』で「重要」と「やや重要」をあわせた“重要”の割合が高くなっています。

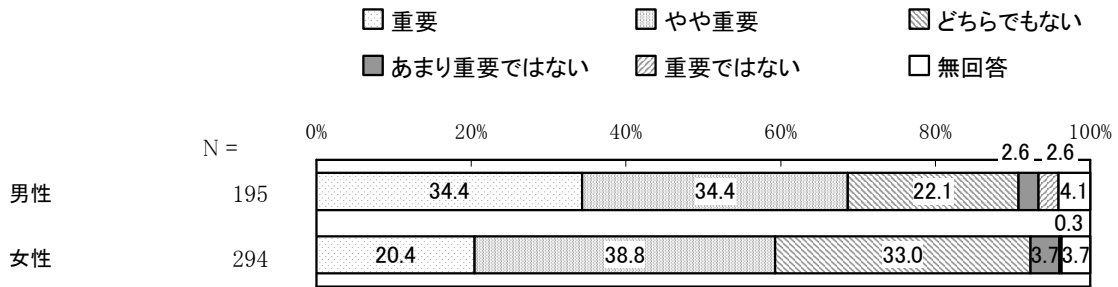
一方、『結婚への機会づくり』で「重要ではない」と「あまり重要ではない」をあわせた“重要ではない”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

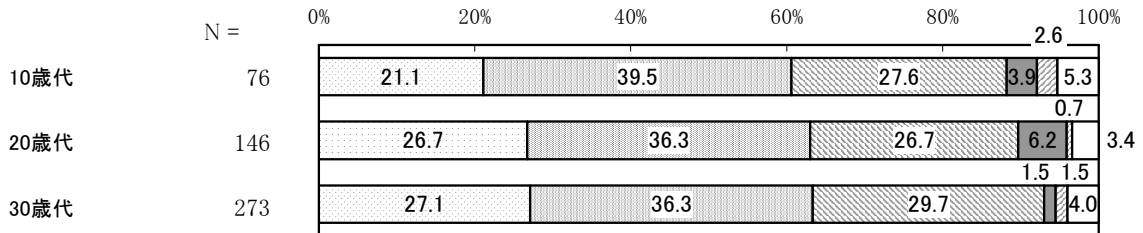
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



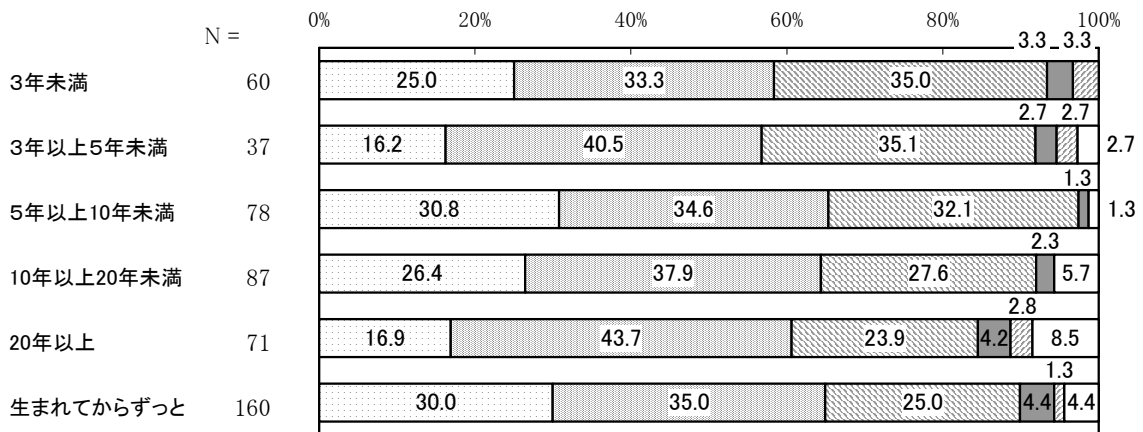
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

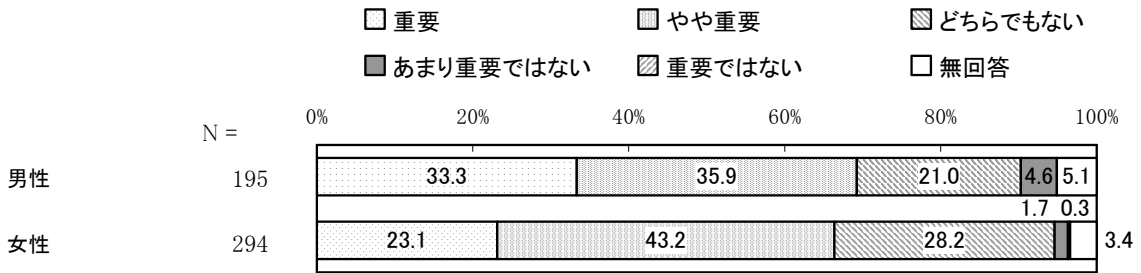
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



(2) 地域産業の活力づくり

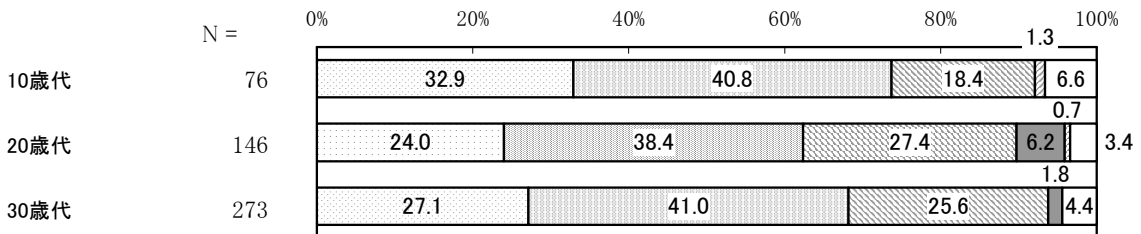
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高く、約3割となっています。



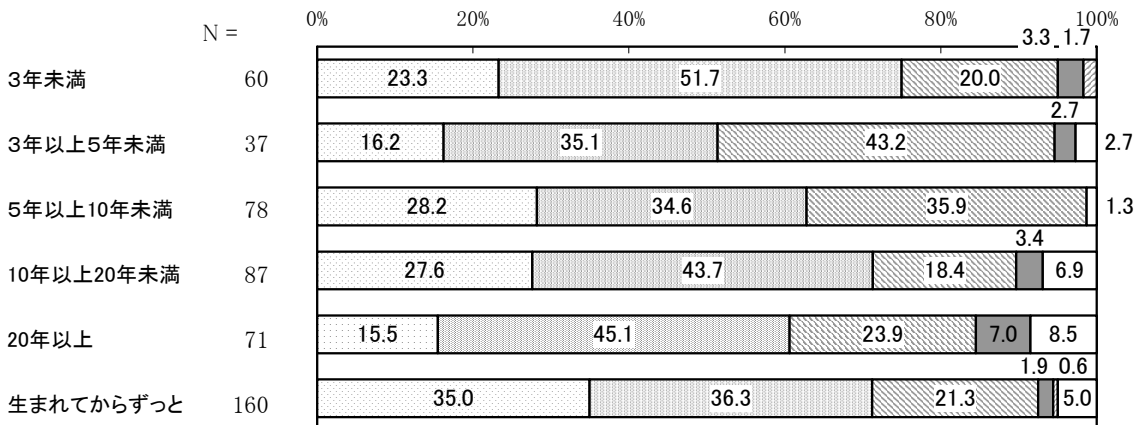
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が低く、約6割となっています。



【居住年数別】

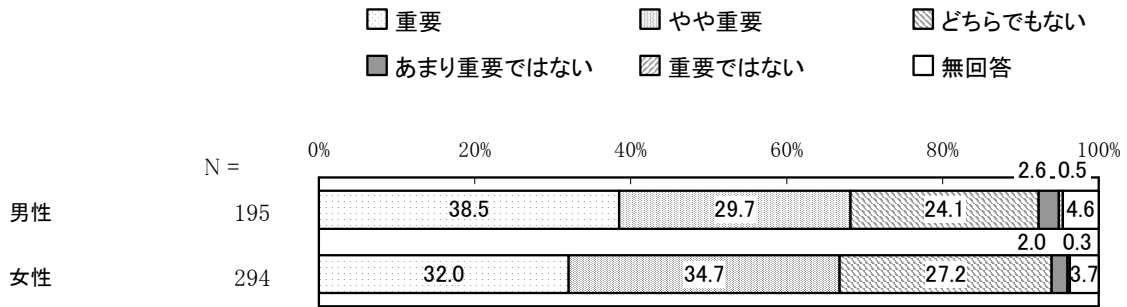
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、3年以上5年未満で“重要”の割合が低く、約5割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

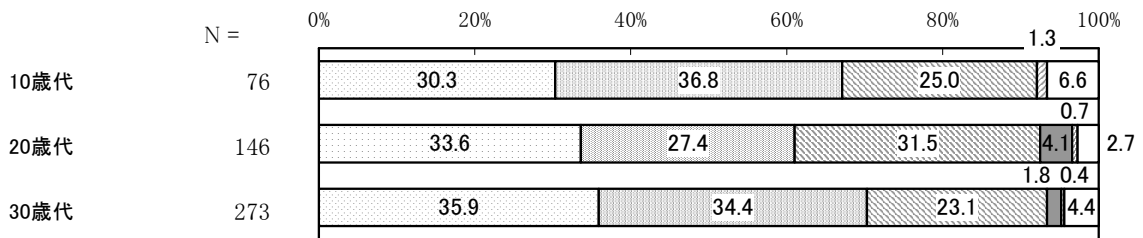
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



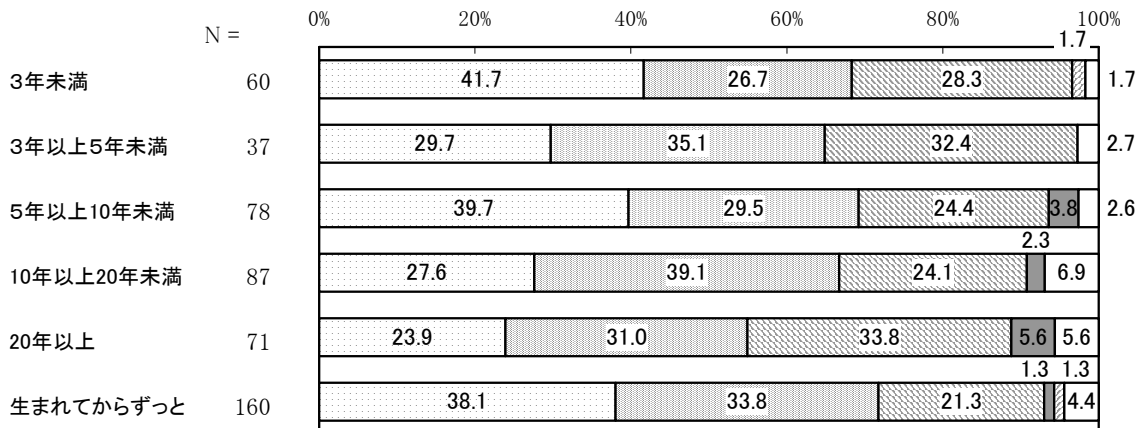
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が低く、約6割となっています。



【居住年数別】

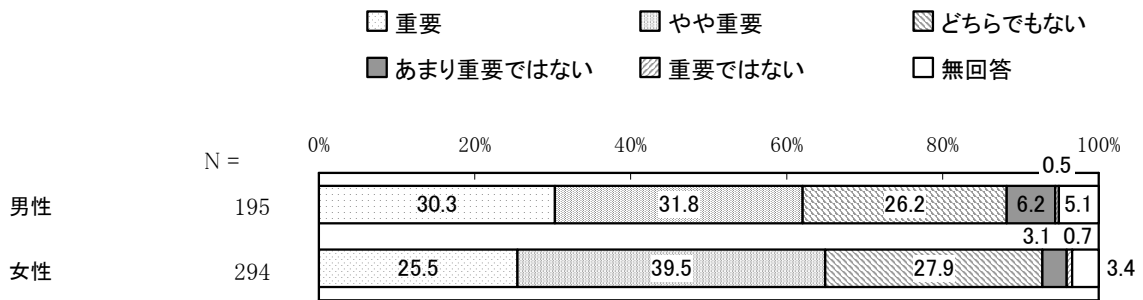
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“重要”の割合が低く、5割台半ばとなっています。



(4) 市の魅力の向上と発信

【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



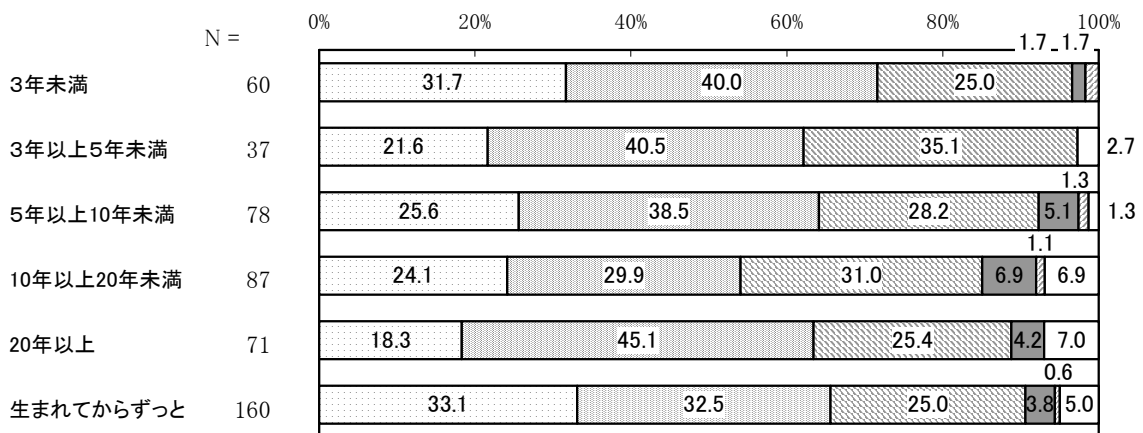
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が低く、5割台半ばとなっています。



【居住年数別】

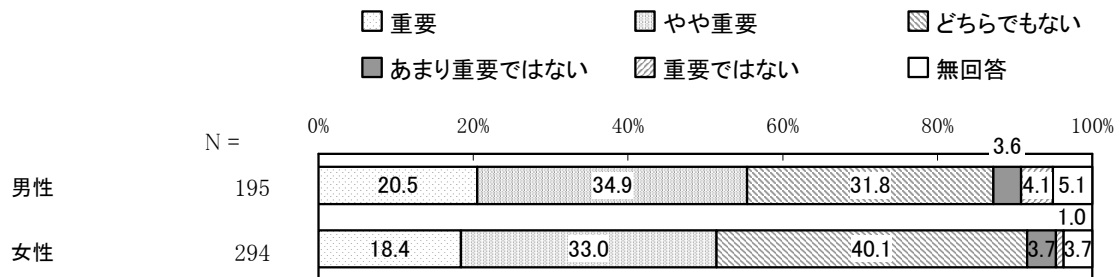
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、約7割となっています。また、10年以上20年未満で“重要”の割合が低く、5割台半ばとなっています。



(5) 定住・移住の促進

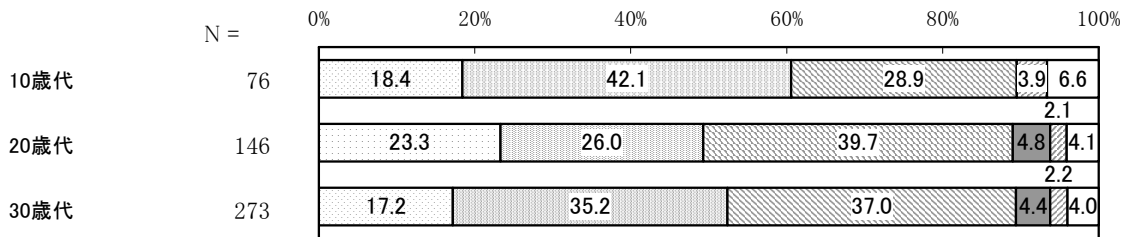
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高く、約4割となっています。



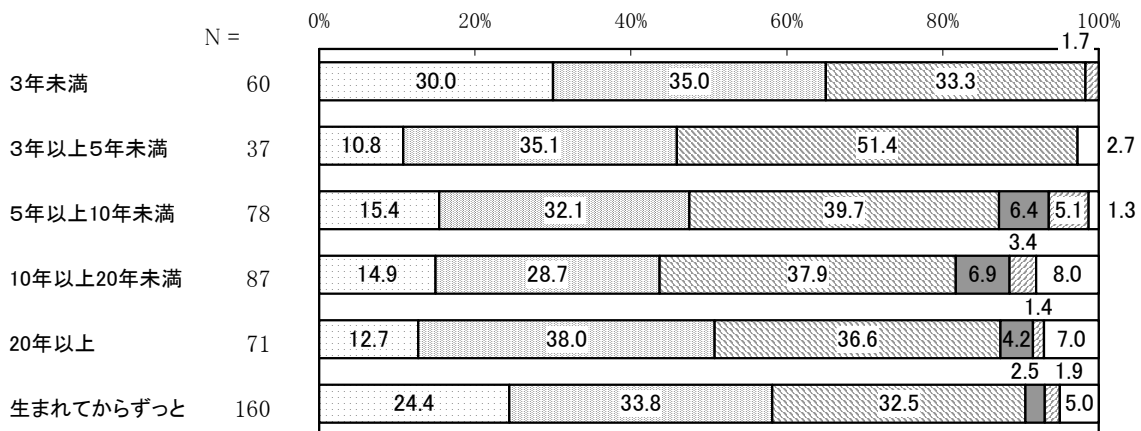
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、約6割となっています。



【居住年数別】

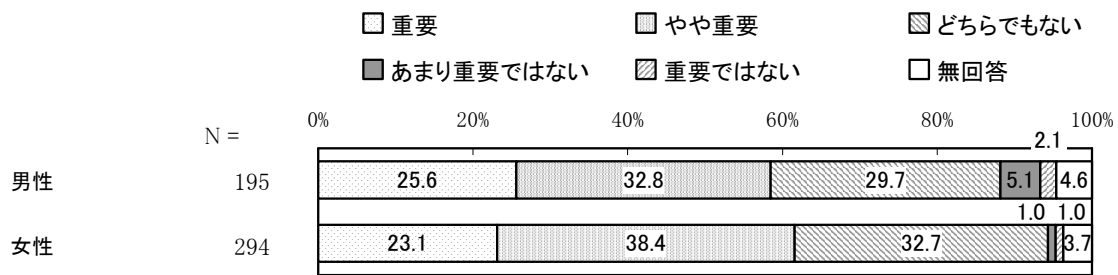
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、5年以上10年未満、10年以上20年未満で“重要ではない”の割合が高くなっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

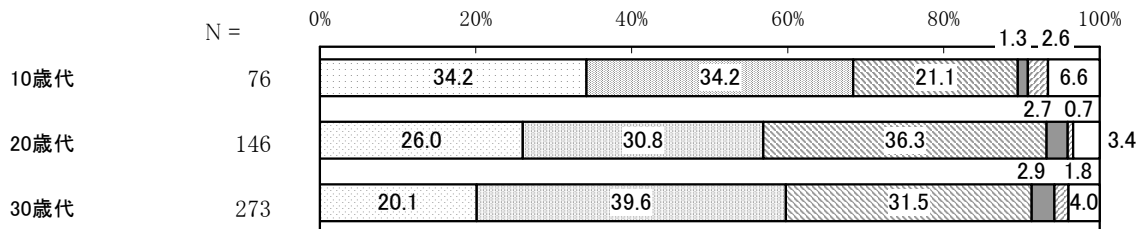
【性別】

性別で見ると、大きな差異はみられません。



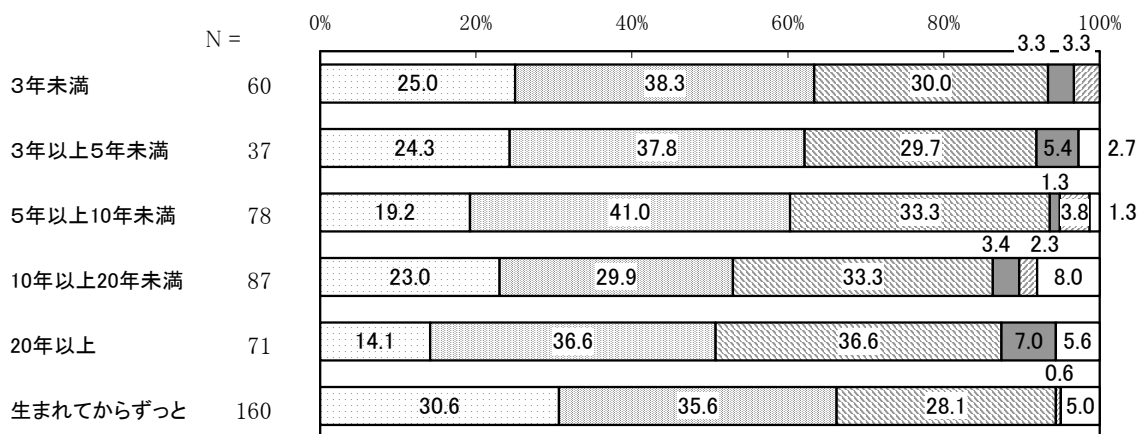
【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

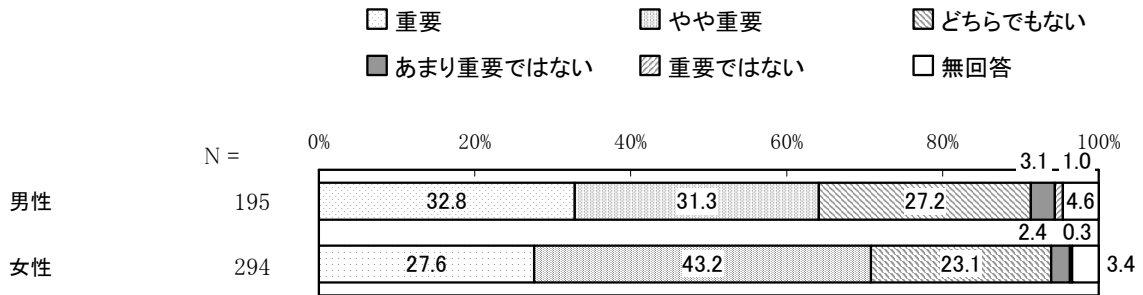
居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上で“重要”の割合が低く、約5割となっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

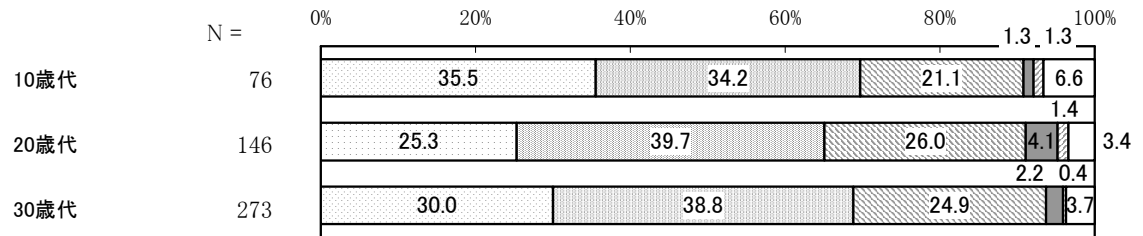
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



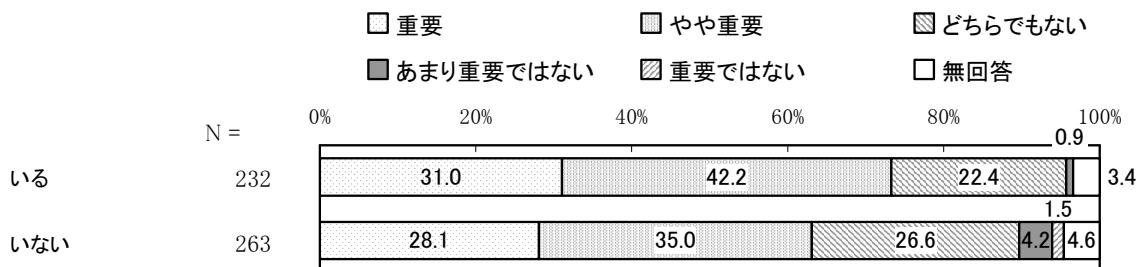
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



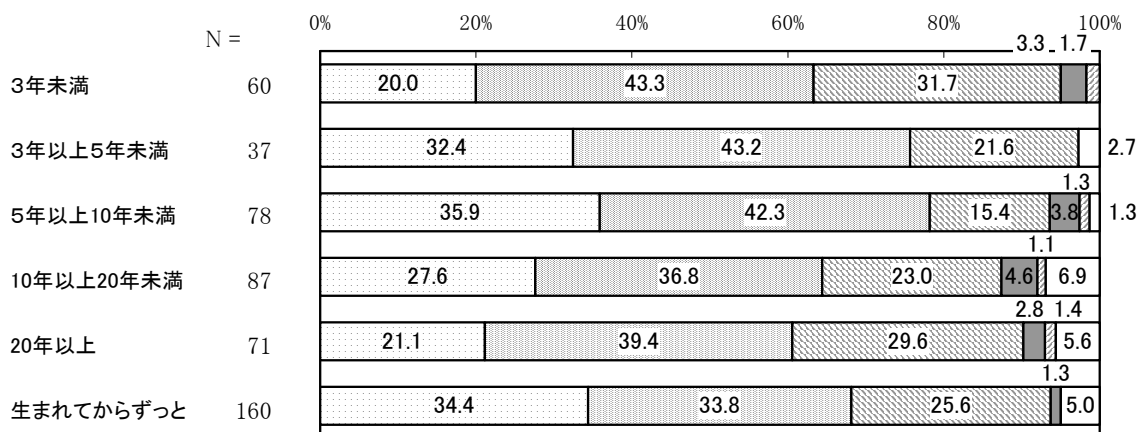
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約7割となっています。



【居住年数別】

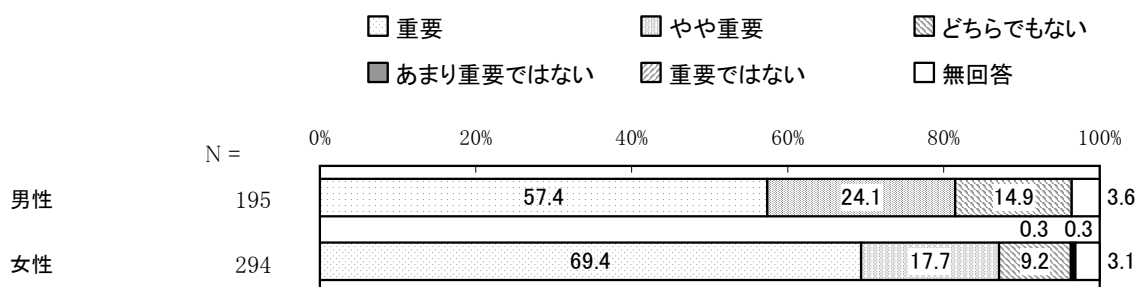
居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、7割を超えています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

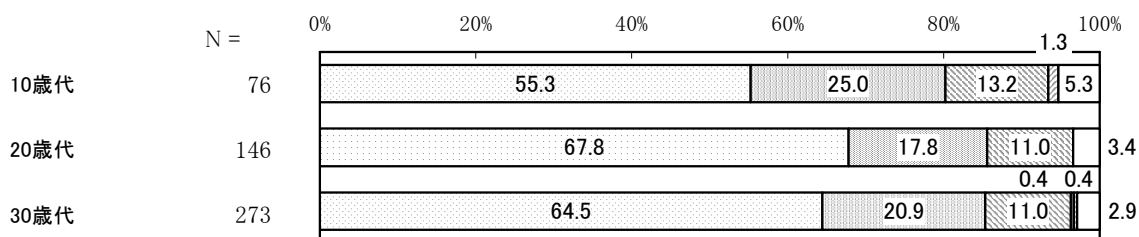
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



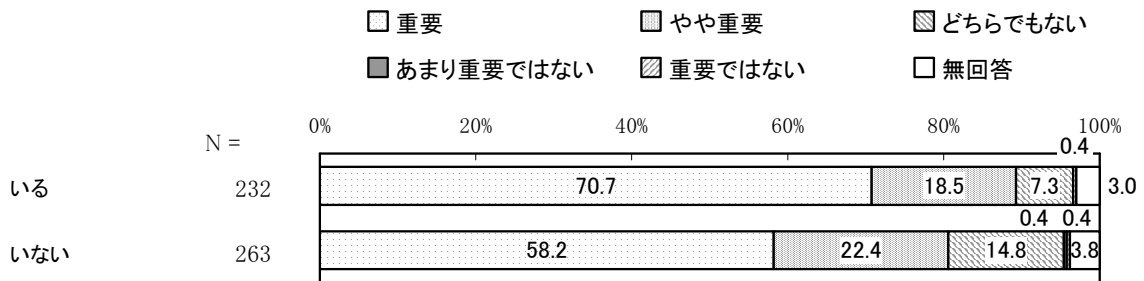
【年代別】

年代別で見ると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が低く、約8割となっています。



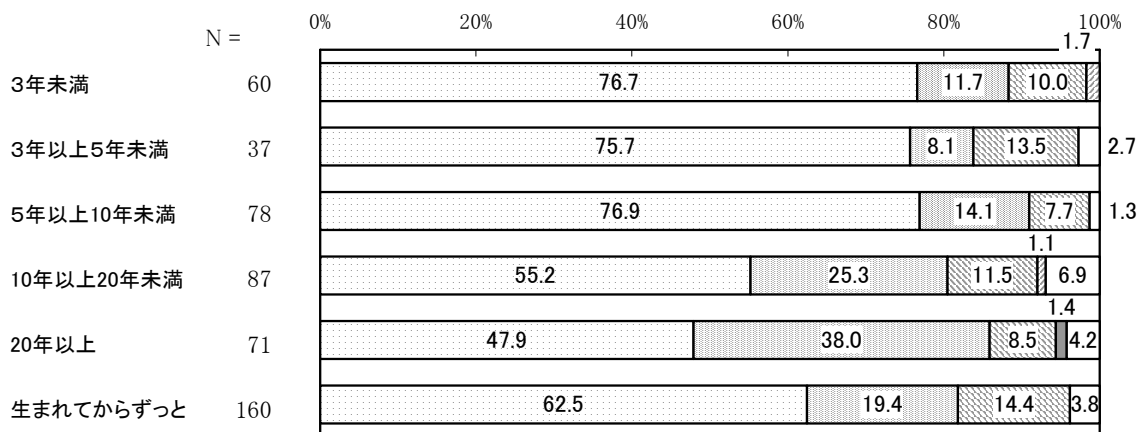
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



【居住年数別】

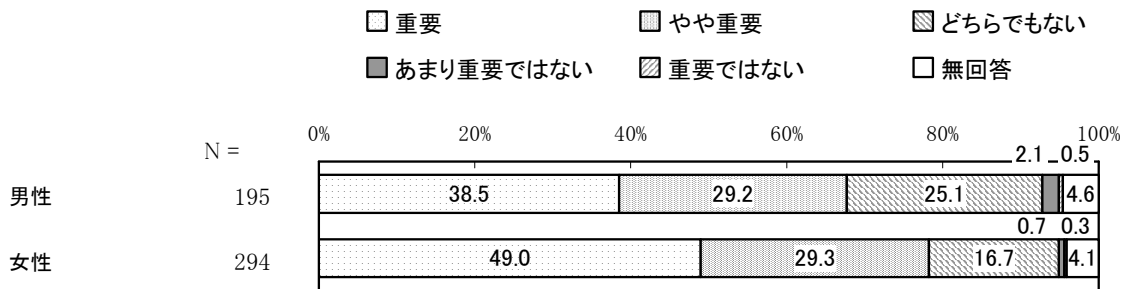
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

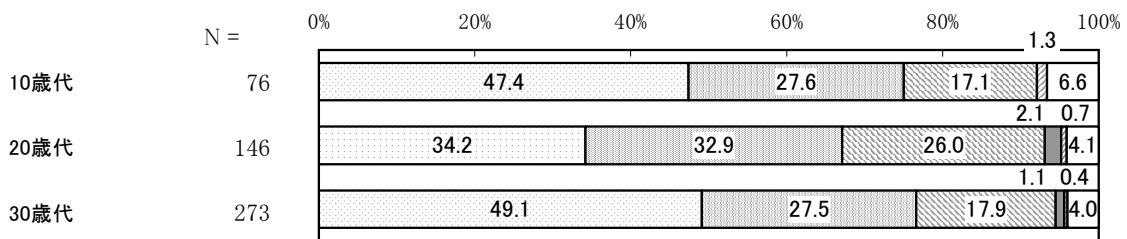
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



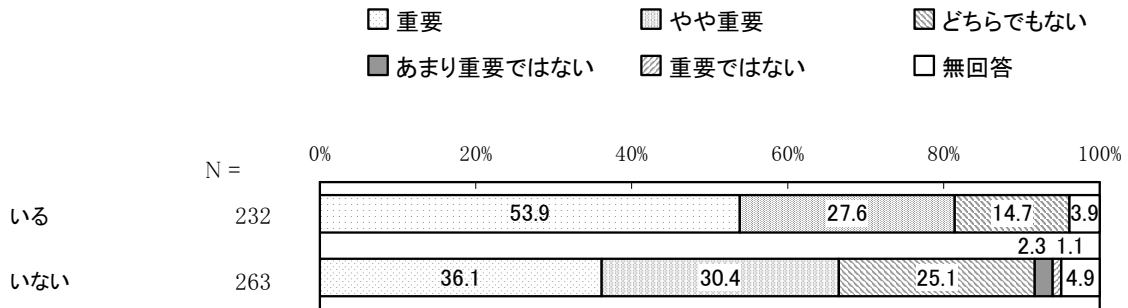
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“重要”の割合が低く、7割未満となっています。



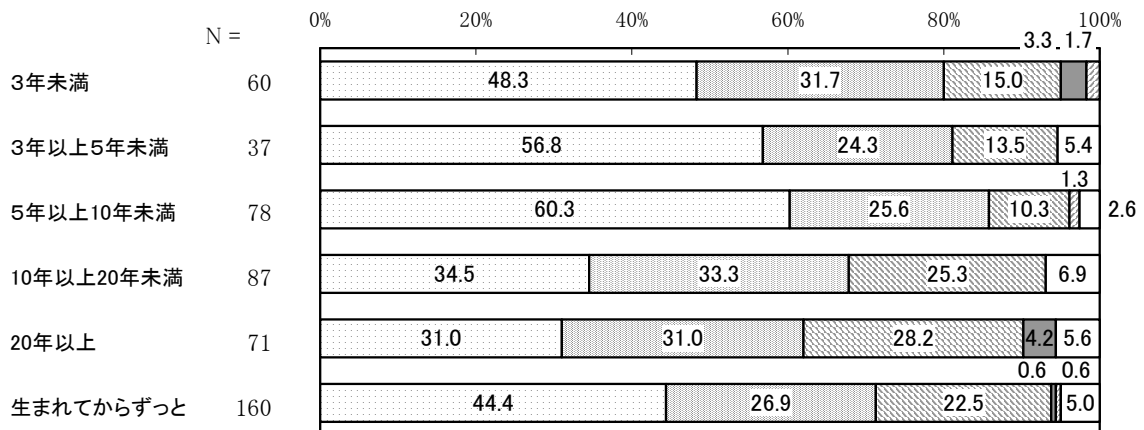
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



【居住年数別】

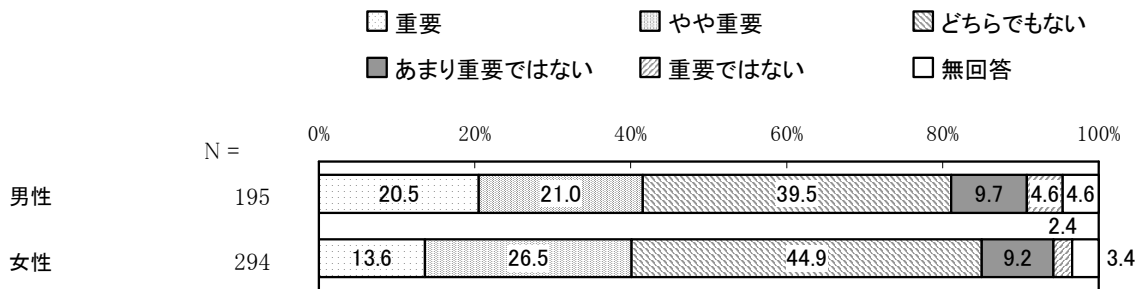
居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満、20年以上で“重要”の割合が低く、7割未満となっています。



(10) 結婚への機会づくり

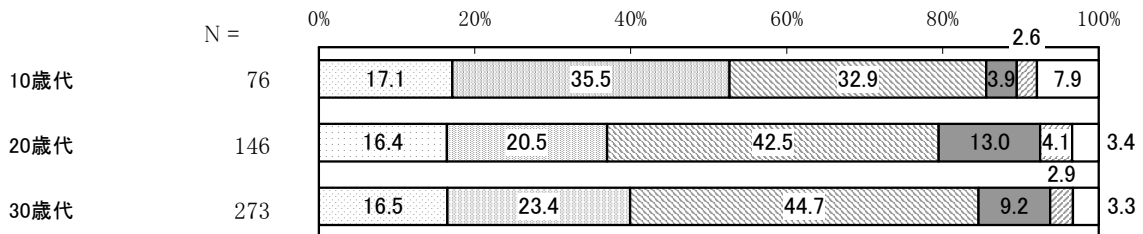
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



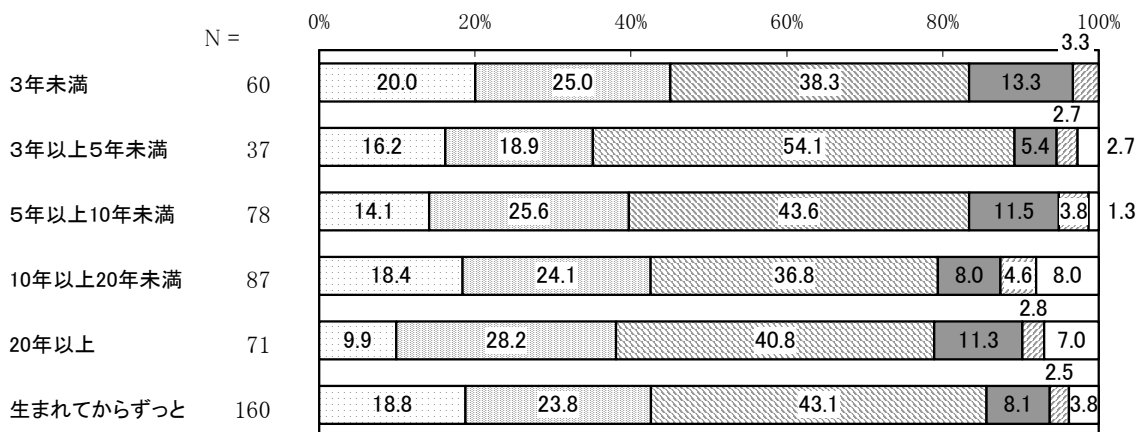
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“重要”の割合が高く、約5割となっています。



【居住年数別】

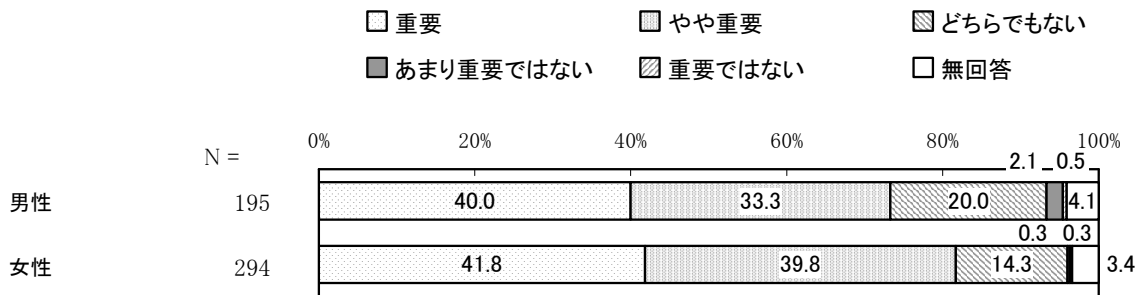
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満で“重要”の割合が高く、4割台半ばとなっています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

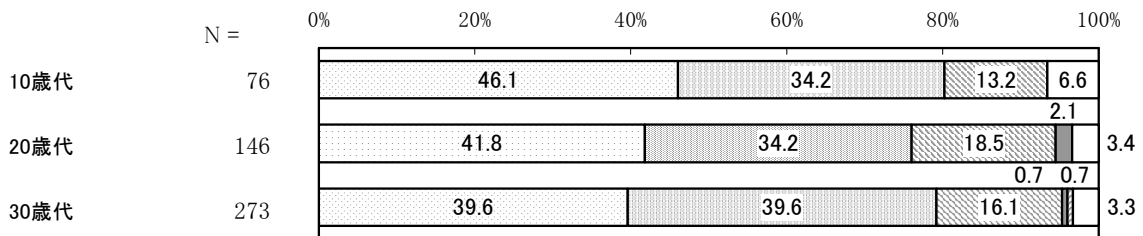
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“重要”の割合が高く、約8割となっています。



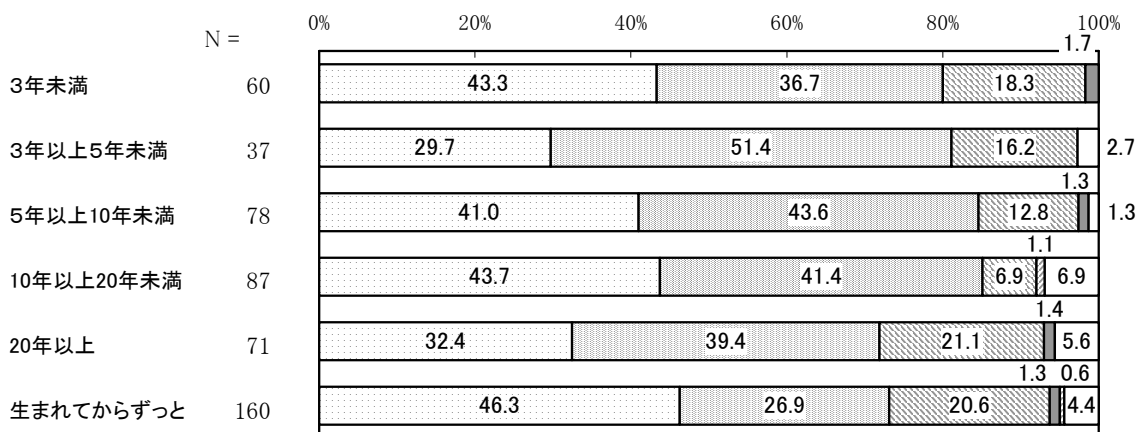
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

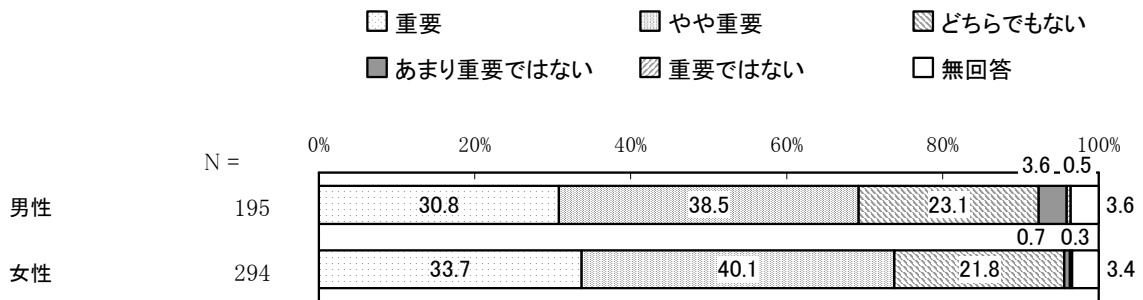
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“重要”の割合が低く、約7割となっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

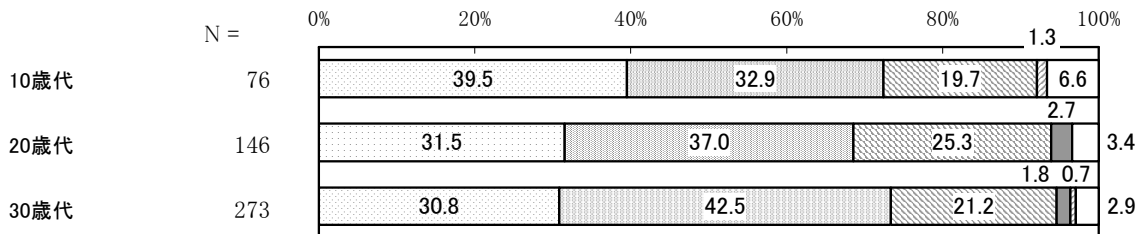
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



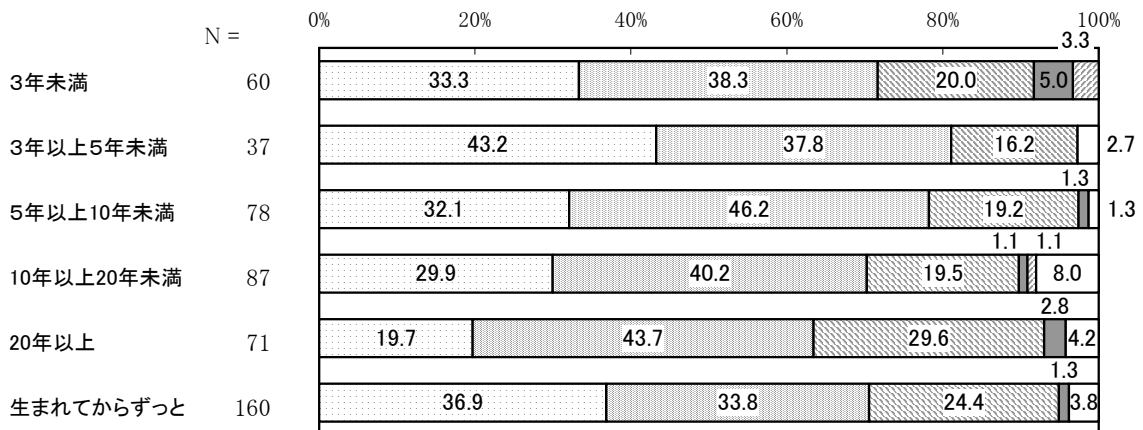
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「重要」の割合が高く、約4割となっています。



【居住年数別】

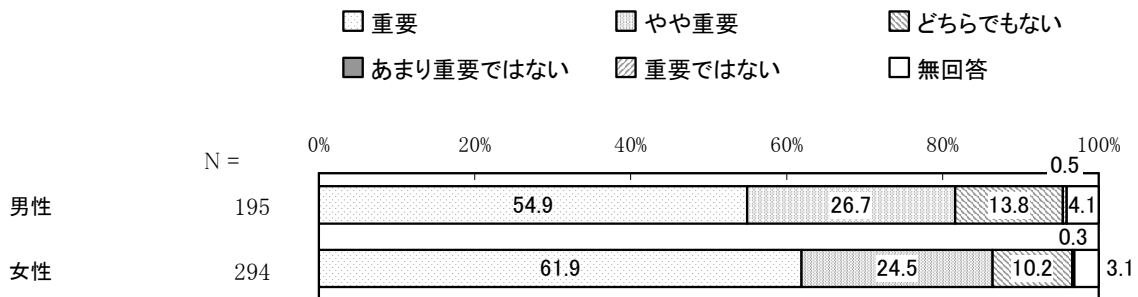
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約8割となっています。また、20年以上で“重要”の割合が低く、約6割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



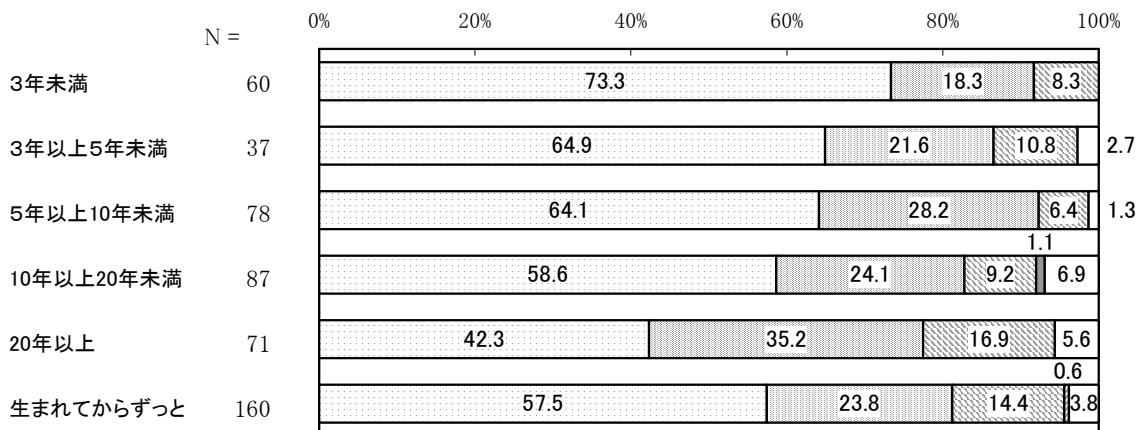
【年代別】

年代別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

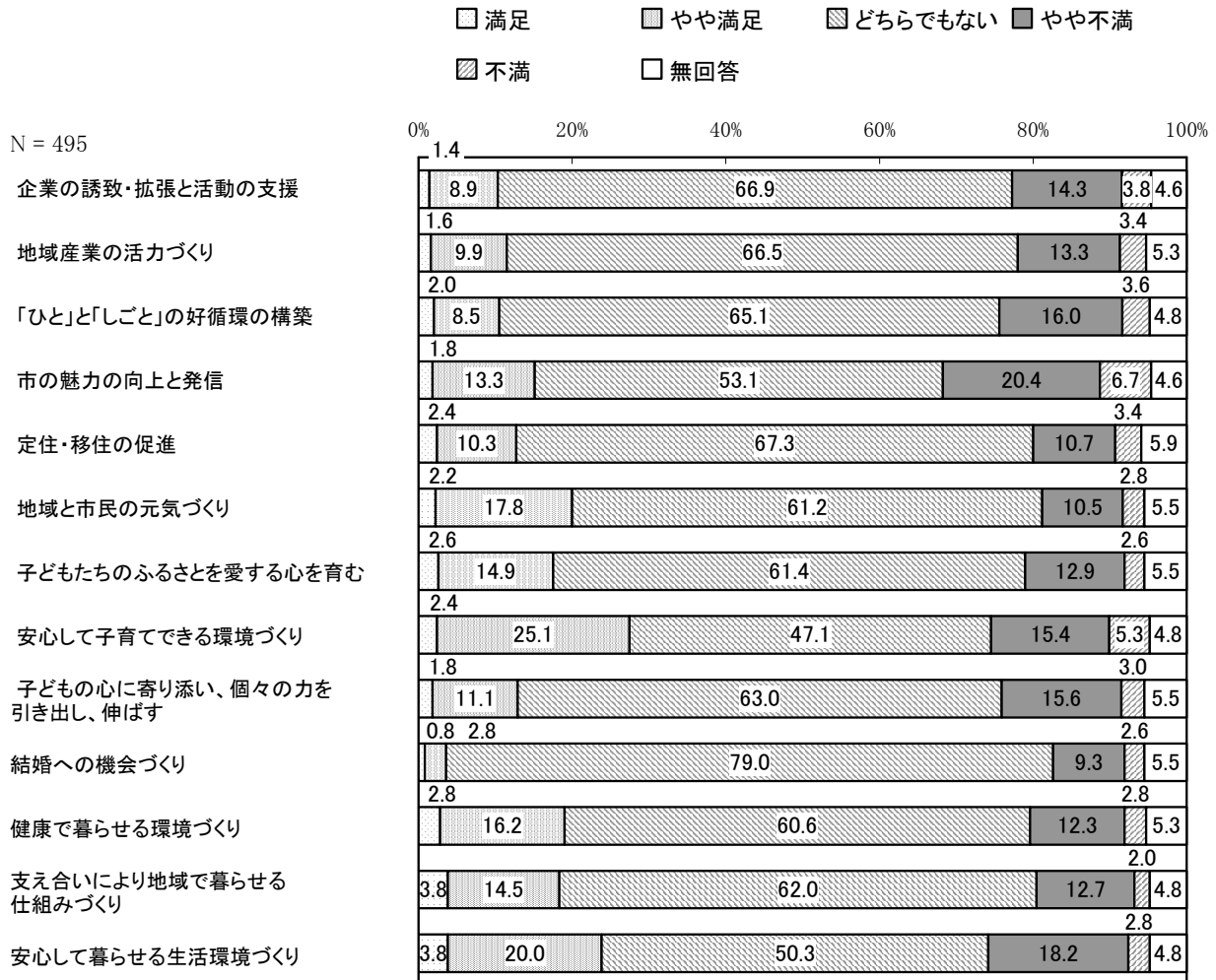
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、5年以上10年未満で“重要”の割合が高く、約9割となっています。



②満足度

『安心して子育てできる環境づくり』、『安心して暮らせる生活環境づくり』で「満足」と「やや満足」をあわせた“満足”の割合が高くなっています。

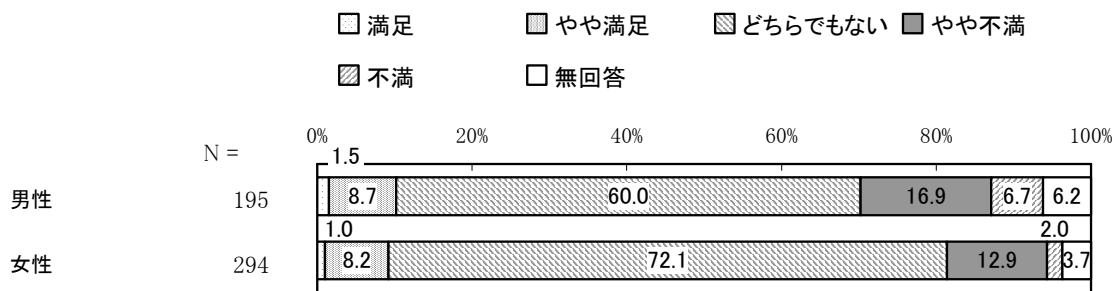
一方、『市の魅力の向上と発信』で「不満」と「やや不満」をあわせた“不満”の割合が高くなっています。



(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援

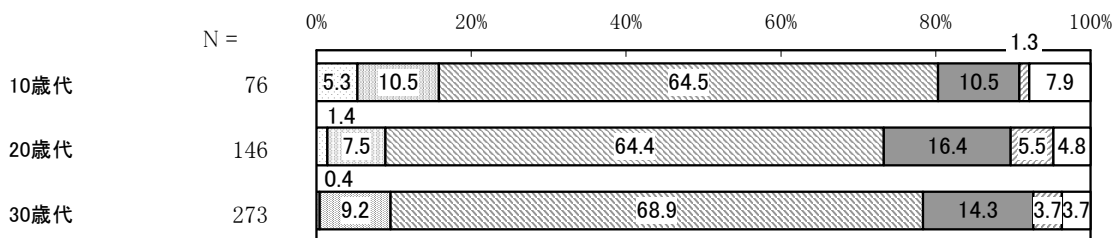
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



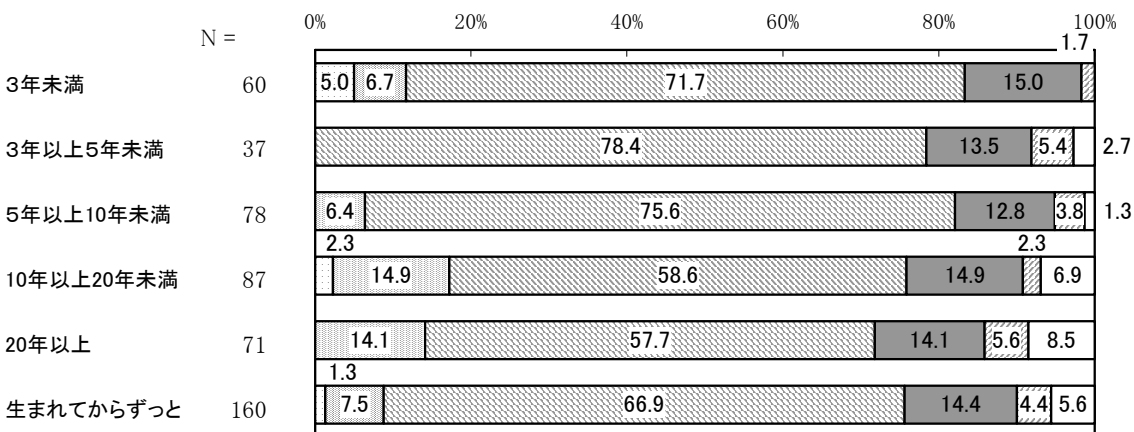
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、他に比べ、10年以上20年未満で“満足”の割合が高く、約2割となっています。

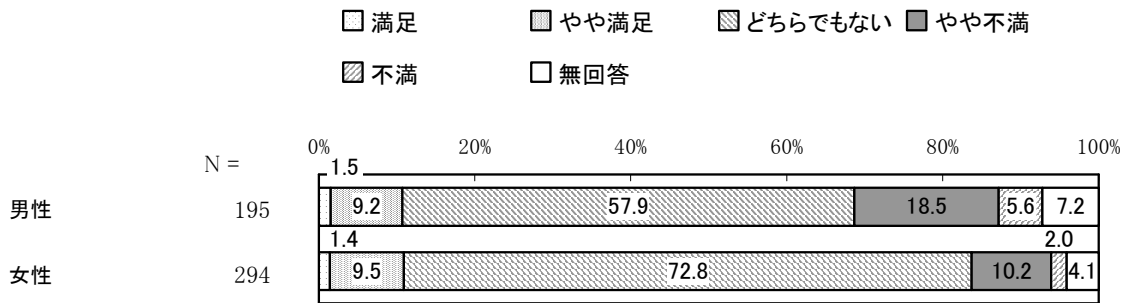


満足度

(2) 地域産業の活力づくり

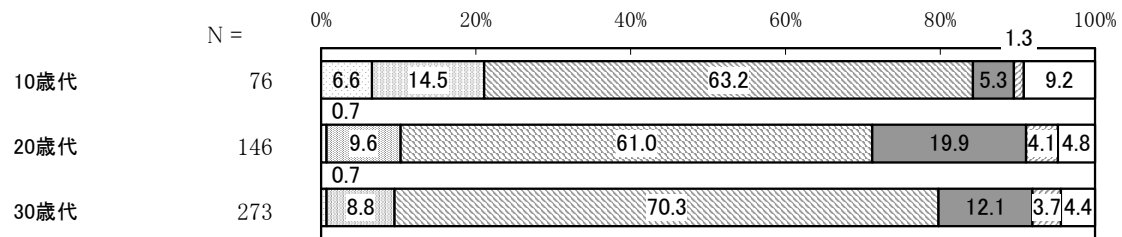
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



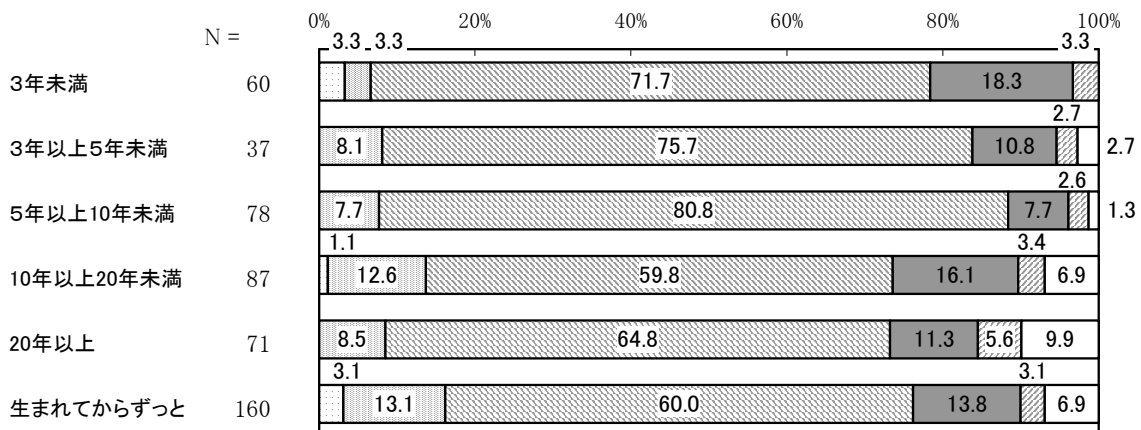
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ“満足”の割合が高く、10歳代で約2割となっています。また、20歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



【居住年数別】

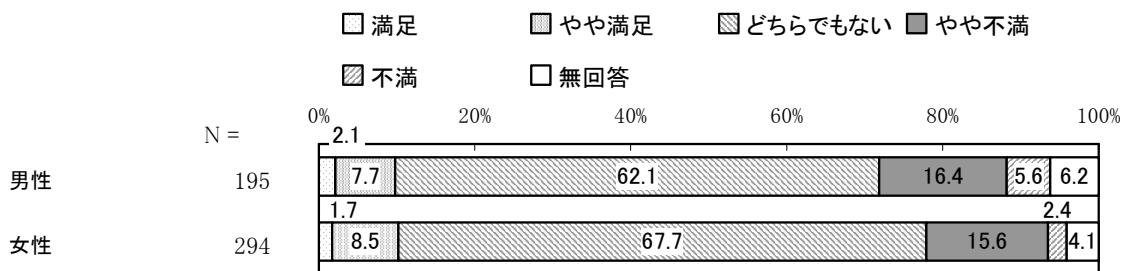
居住年数別でみると、他に比べ、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、3年未満、10年以上20年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



(3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築

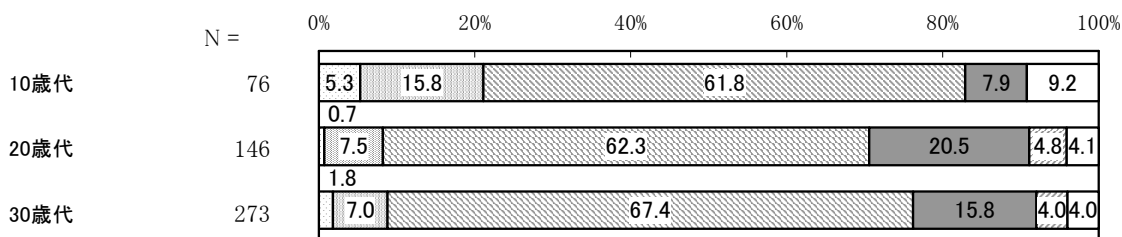
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高く、約7割となっています。



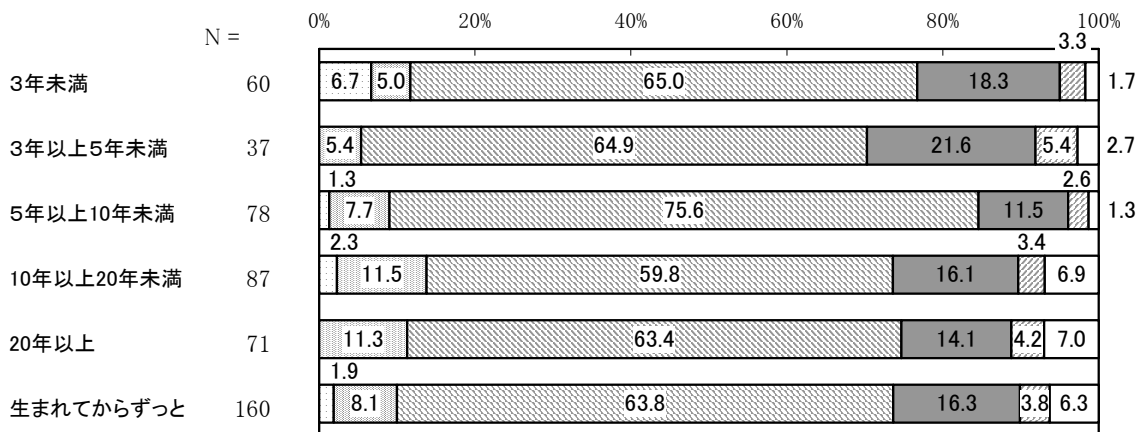
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

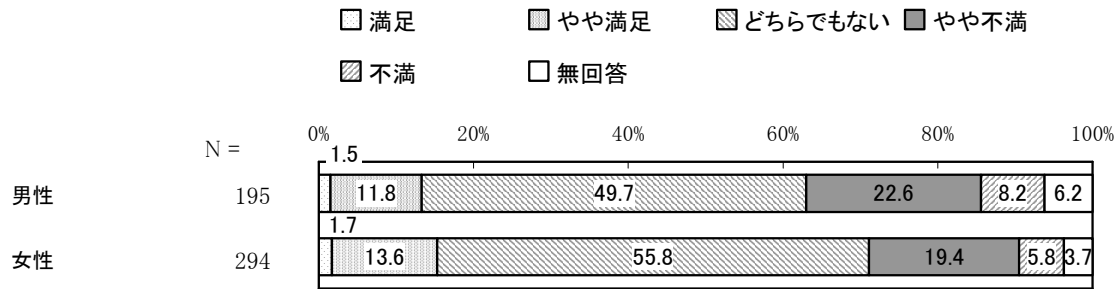
居住年数別でみると、他に比べ、3年以上5年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



(4) 市の魅力の向上と発信

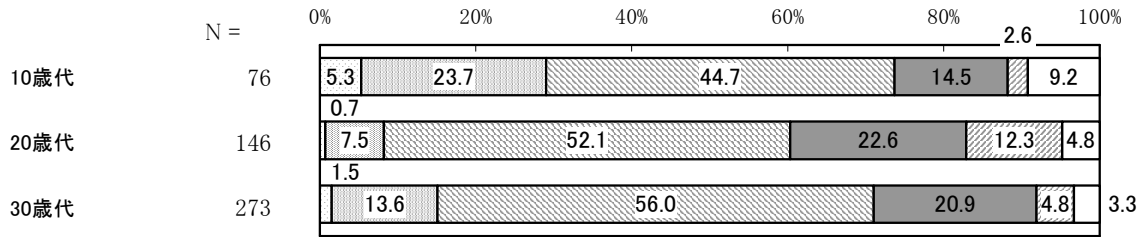
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約3割となっています。



【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

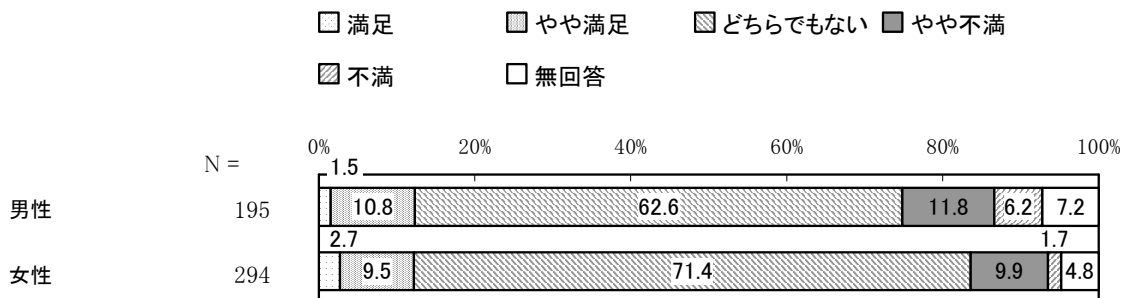
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(5) 定住・移住の促進

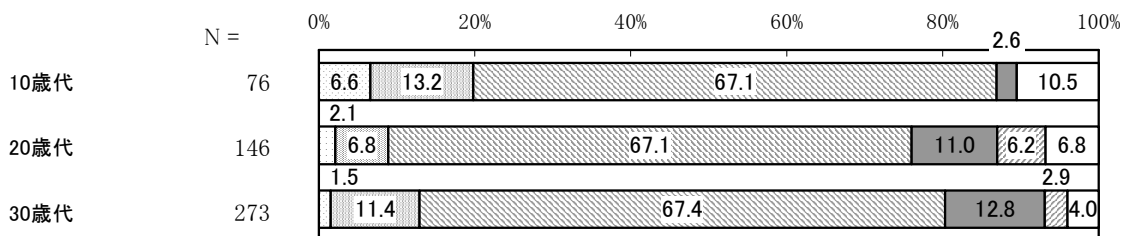
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



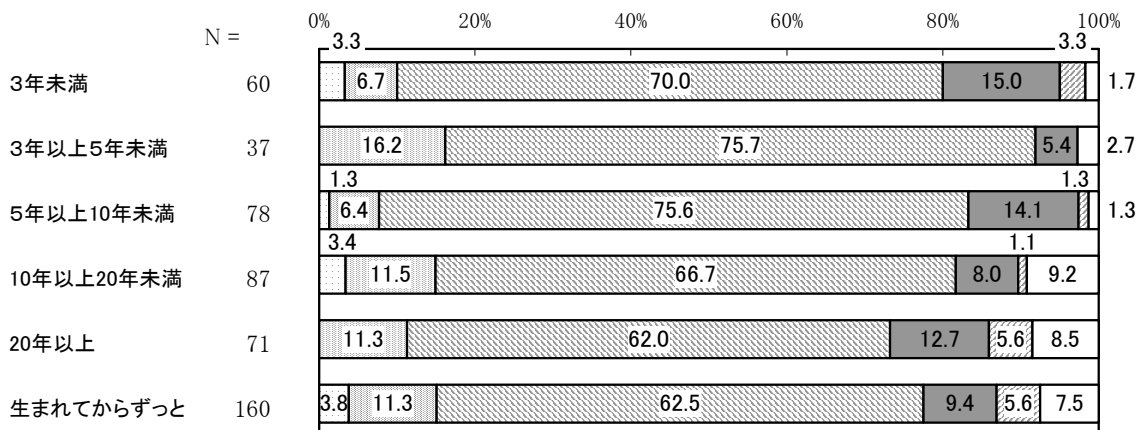
【年代別】

年代別でみると、他に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



【居住年数別】

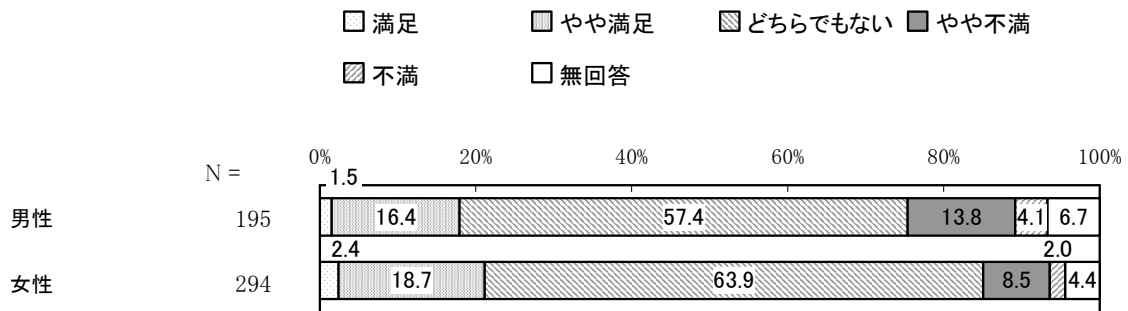
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、20年以上で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、5年以上10年未満で“満足”の割合が低く、1割未満となっています。



(6) 地域と市民の元気づくり

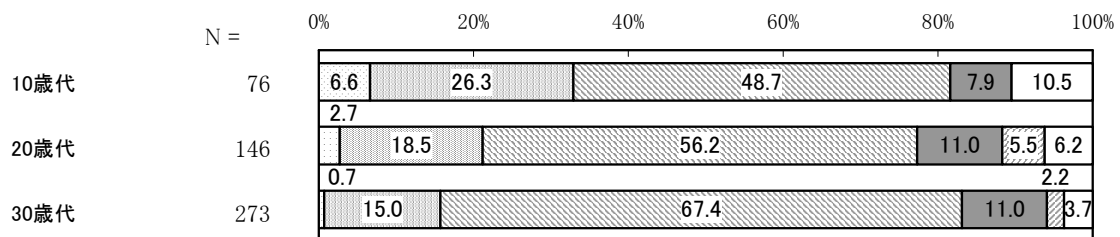
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



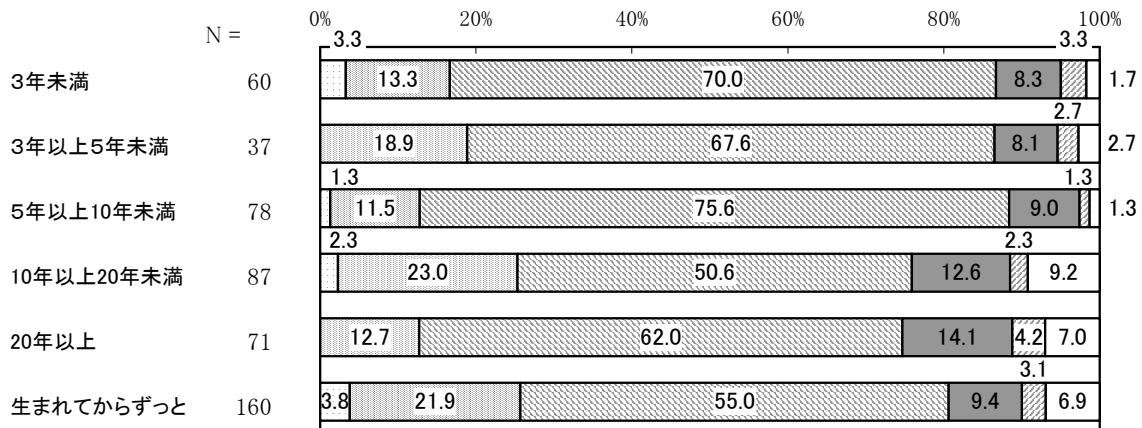
【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ“満足”の割合が高くなっており、10歳代で約3割となっています。



【居住年数別】

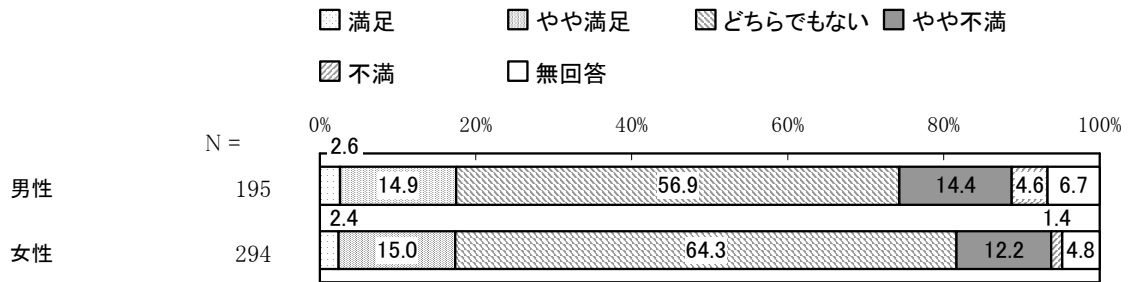
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む

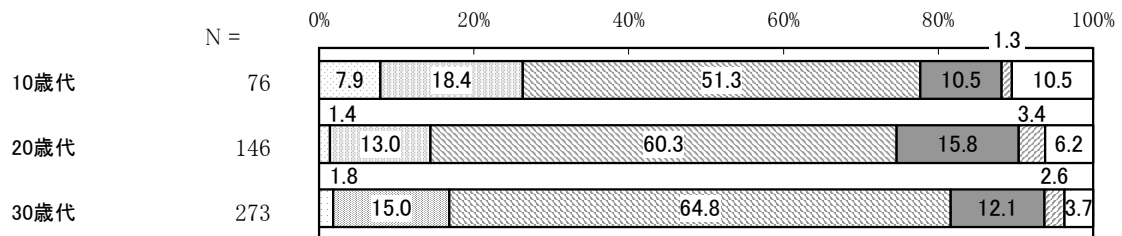
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



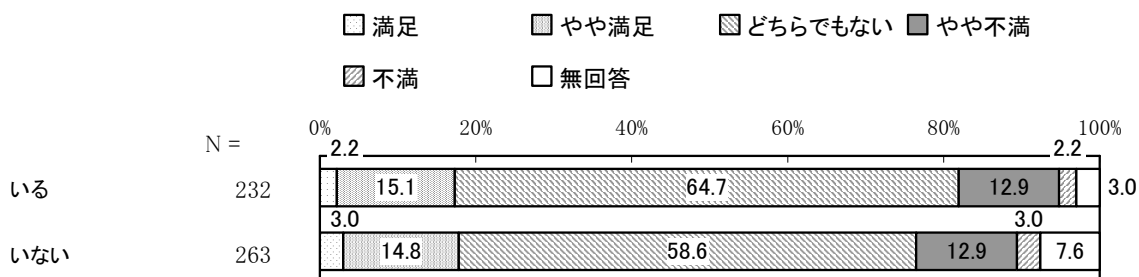
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



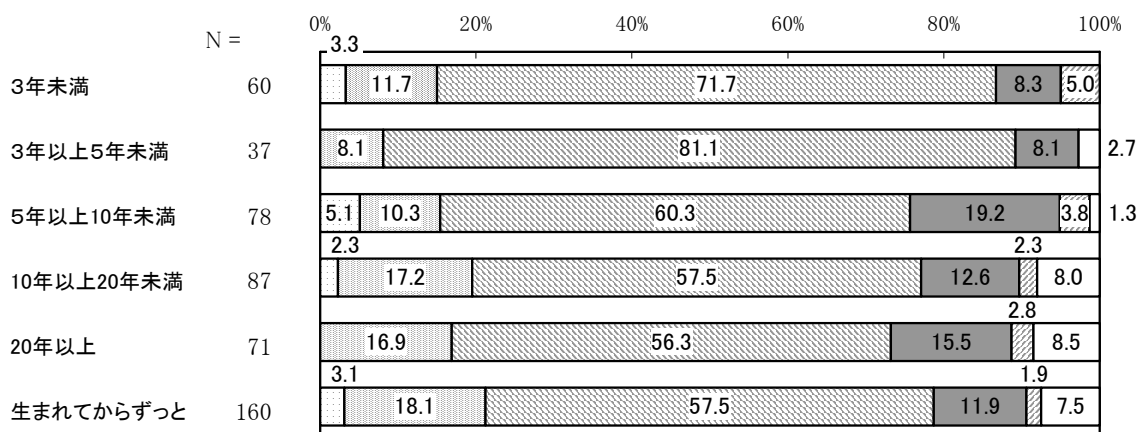
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「どちらでもない」の割合が高く、6割台半ばとなっています。



【居住年数別】

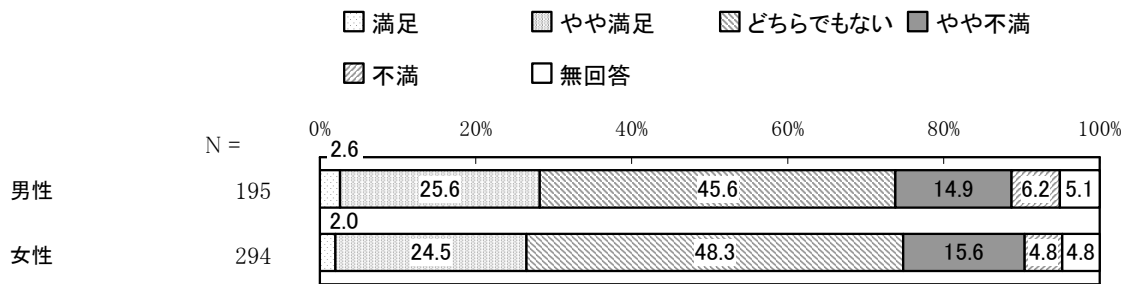
居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(8) 安心して子育てできる環境づくり

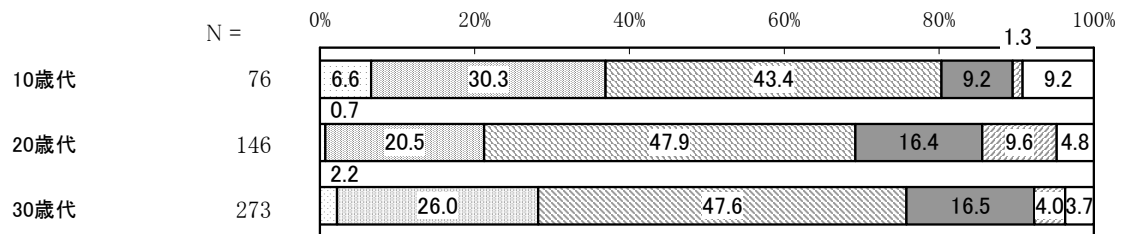
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



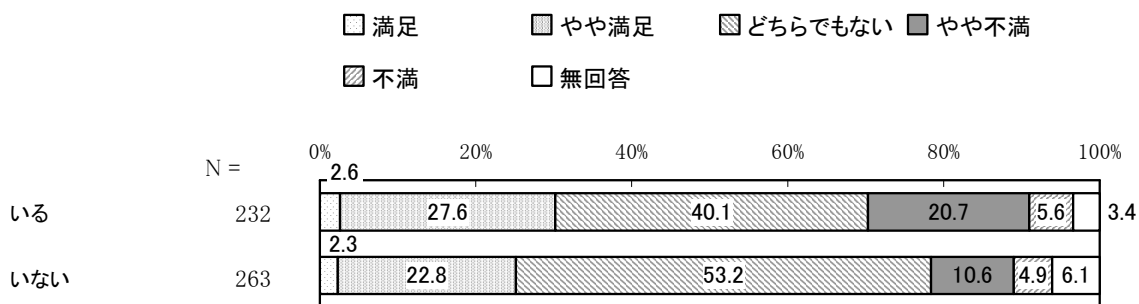
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



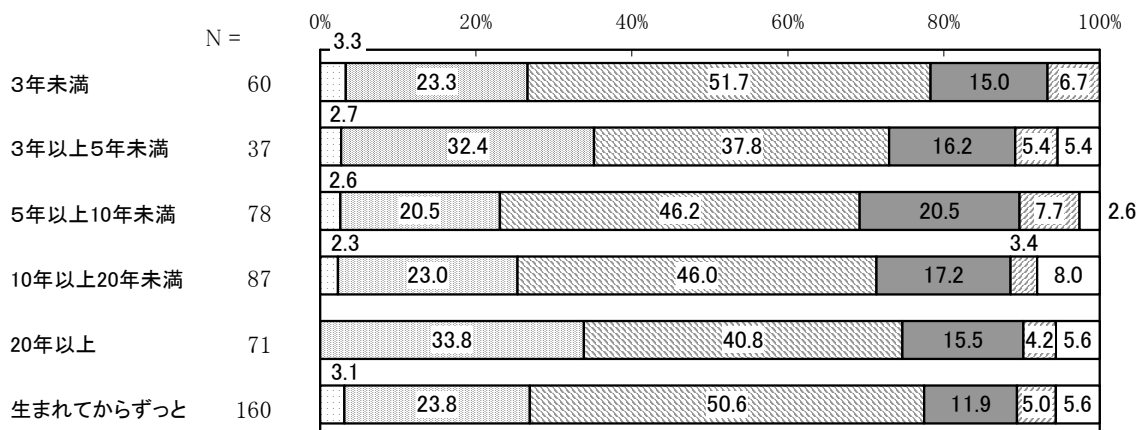
【子どもの有無別】

子どもの有無別で見ると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“不満”とともに“満足”の割合が高くなっています。



【居住年数別】

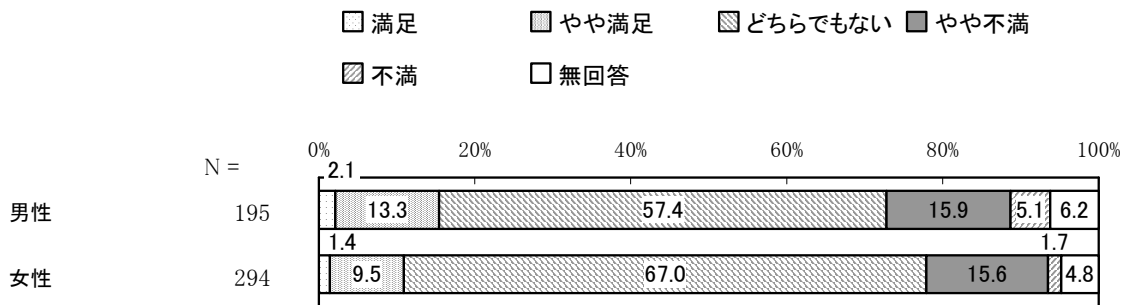
居住年数別で見ると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、3割台半ばとなっています。



(9) 子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす

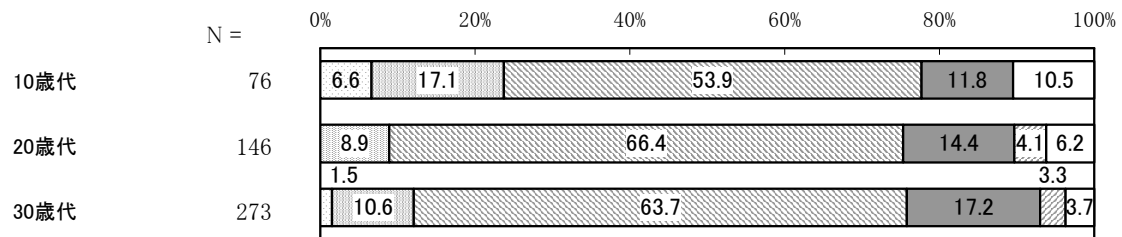
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「どちらでもない」の割合が高く、約7割となっています。



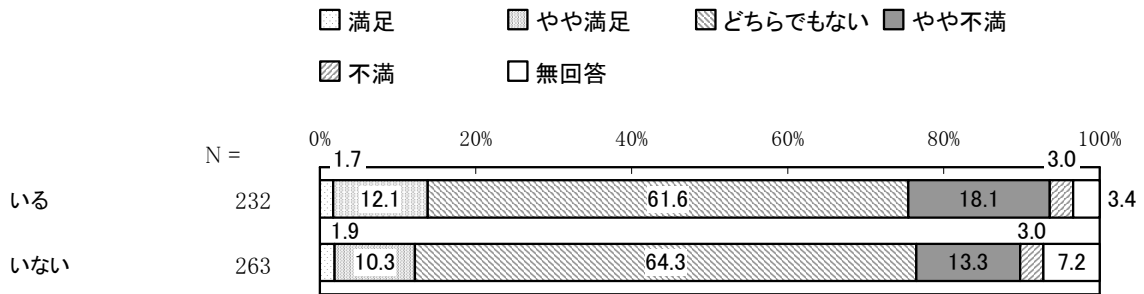
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。また他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



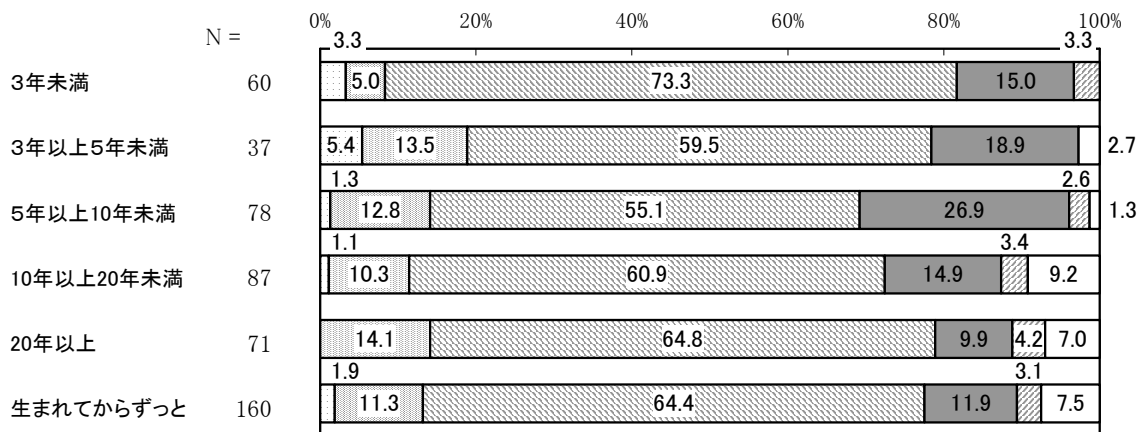
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、大きな差異はみられません。



【居住年数別】

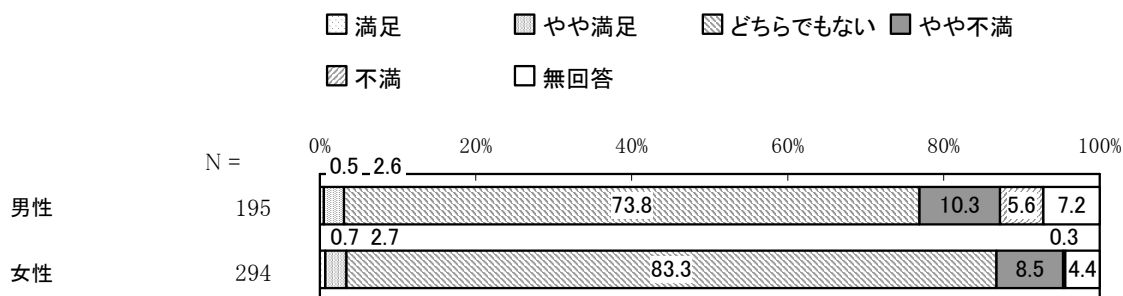
居住年数別でみると、他に比べ、5年以上10年未満で“不満”の割合が高く、約3割となっています。また、3年以上5年未満で“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(10) 結婚への機会づくり

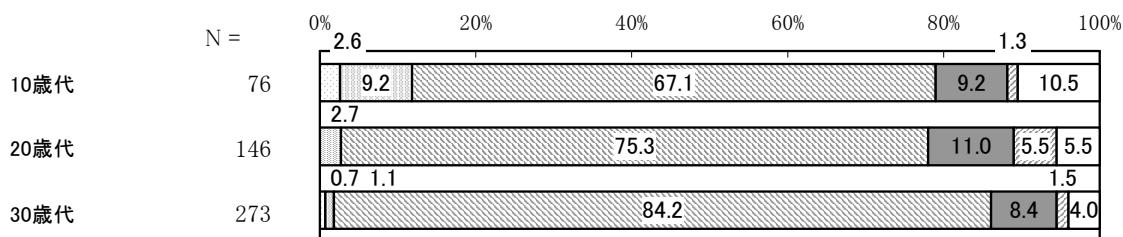
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、1割台半ばとなっています。



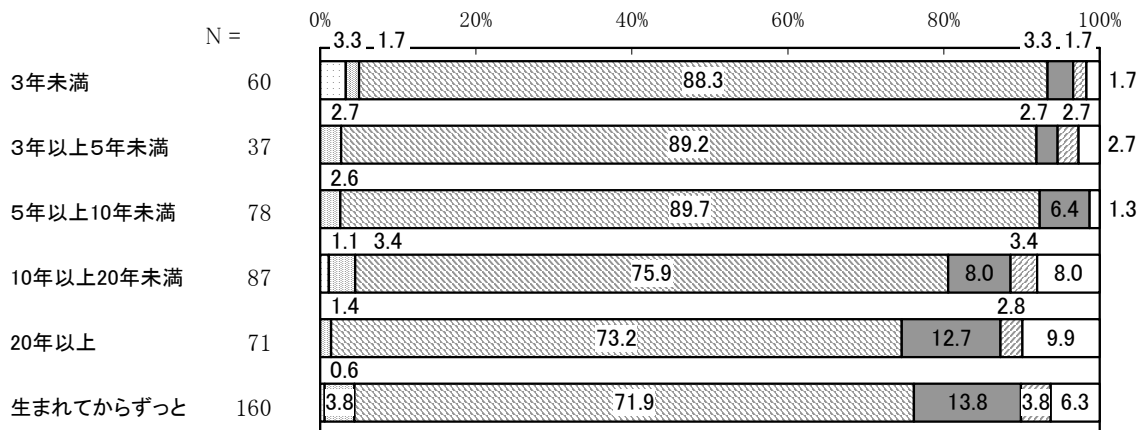
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、20歳代で“不満”の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、10歳代で“満足”の割合が高く、約1割となっています。



【居住年数別】

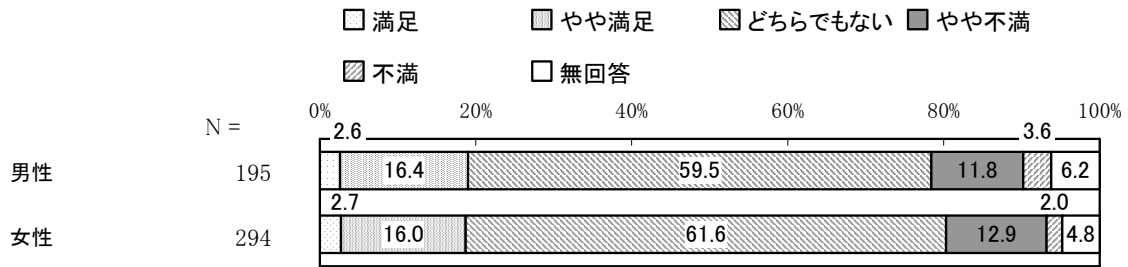
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上、生まれてからずっとで“不満”の割合が高く、1割を超えています。



(11) 健康で暮らせる環境づくり

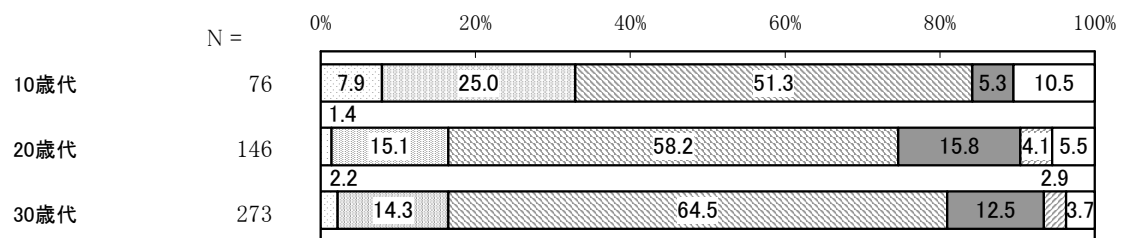
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



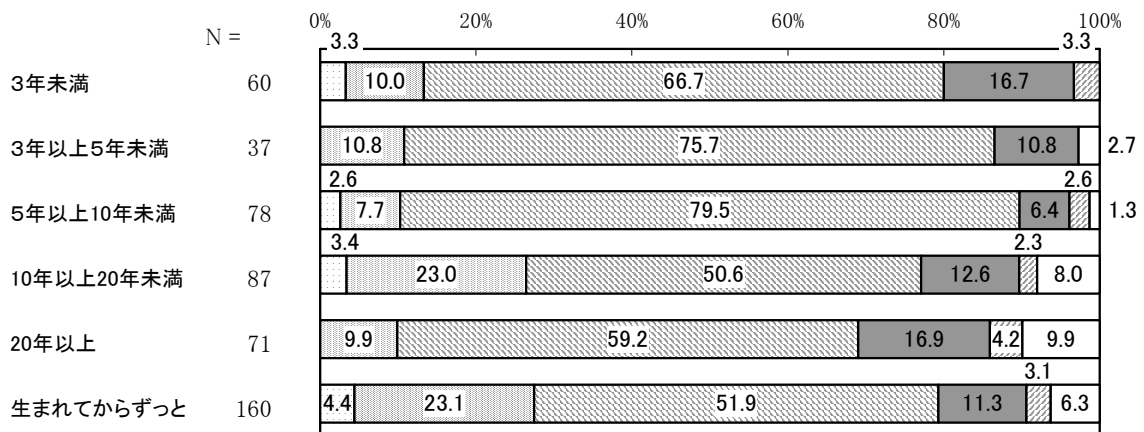
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

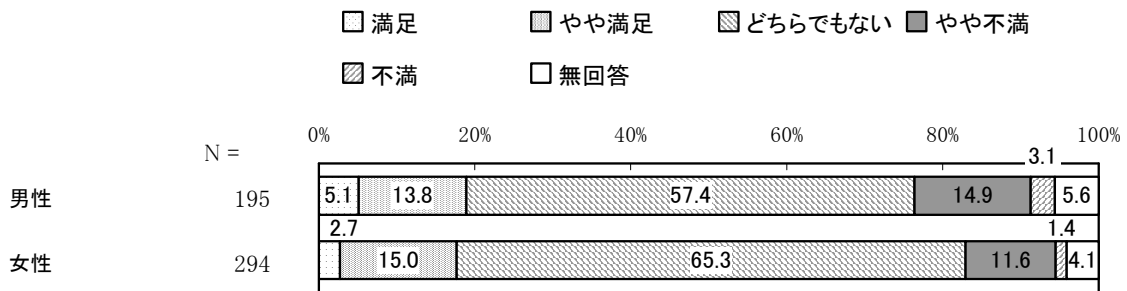
居住年数別でみると、他に比べ、3年未満、20年以上で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



(12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり

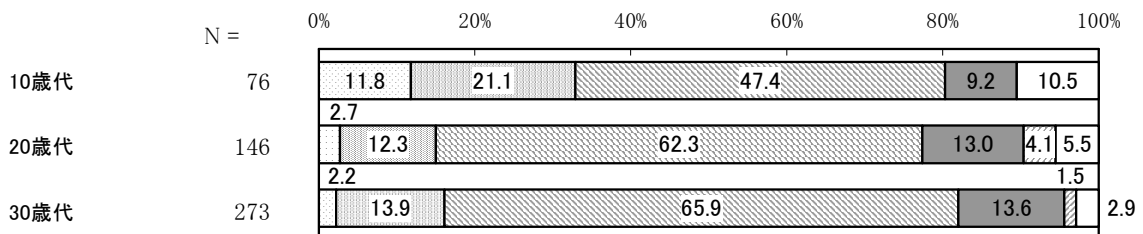
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、約2割となっています。



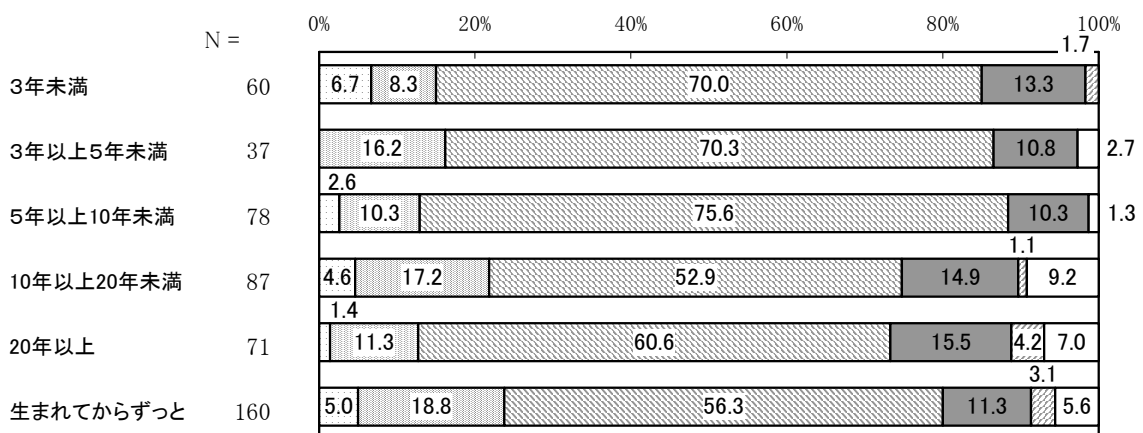
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約3割となっています。



【居住年数別】

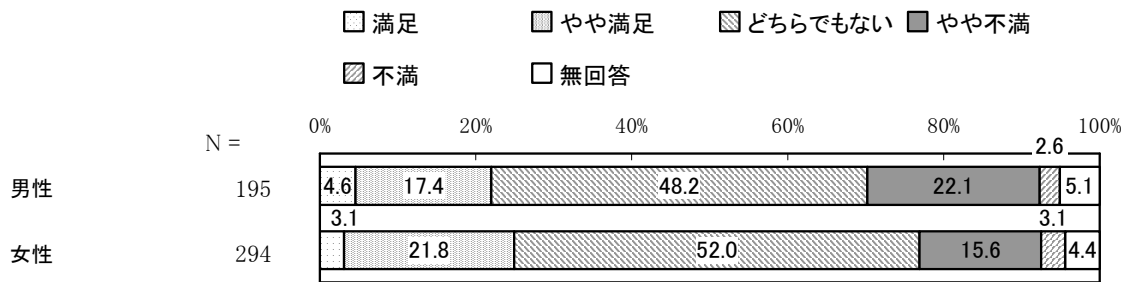
居住年数別でみると、他に比べ、20年以上で“不満”の割合が高く、約2割となっています。また、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約2割となっています。



(13) 安心して暮らせる生活環境づくり

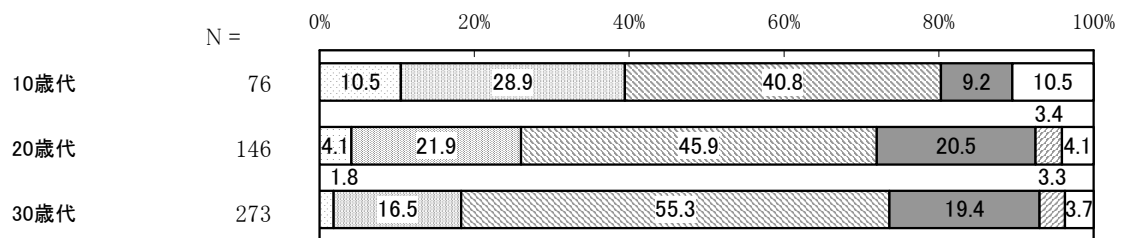
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で“不満”の割合が高く、2割台半ばとなっています。



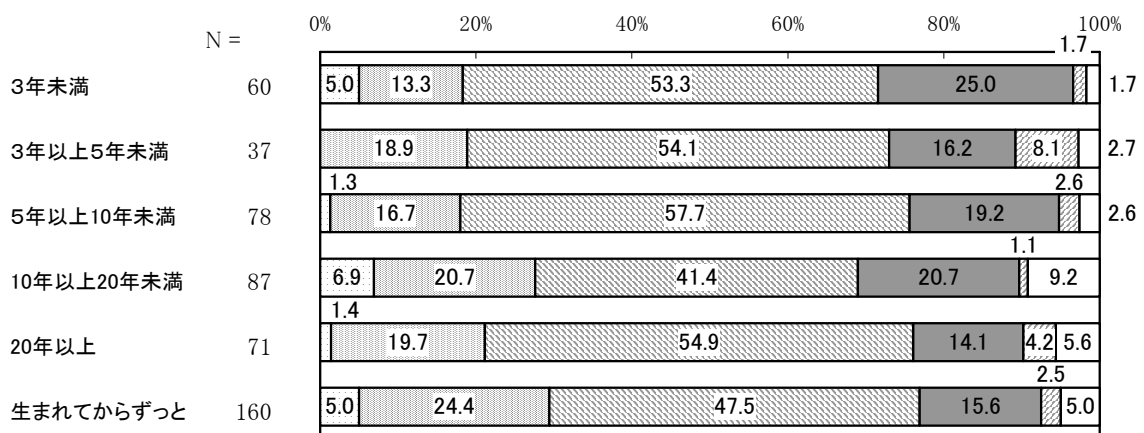
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で“満足”の割合が高く、約4割となっています。



【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が短くなるにつれ“不満”の割合が高くなっています。また、他に比べ、10年以上20年未満、生まれてからずっとで“満足”の割合が高く、約3割となっています。



【ポートフォリオによる分析】

(1) 満足度・今後の重要性の得点化

13項目の質問項目について、「満足度」と「重要度」を5つの選択肢の中から回答してもらい、下記の手順で得点化し、分析を行いました。

■満足度・今後の重要性の得点化の手順■

満足度		得点		重要度		得点
不満		-2点		重要ではない	→	-2点
やや不満	→	-1点		あまり重要ではない	→	-1点
どちらでもない	→	0点		どちらでもない	→	0点
やや満足	→	1点		やや重要	→	1点
満足	→	2点		重要	→	2点
無回答	→	計算対象外		無回答	→	計算対象外

■得点の算出式■

2点×「満足(重要)」の回答数

+1点×「やや満足(やや重要)」の回答数

+0点×「どちらでもない」の回答数

-1点×「やや不満(あまり重要ではない)」の回答数

-2点×「不満(重要ではない)」の回答数／無回答を除く回答数

算出された満足度・重要度の得点をもとに、各施策の満足度・重要度別に順位付けを行いました。

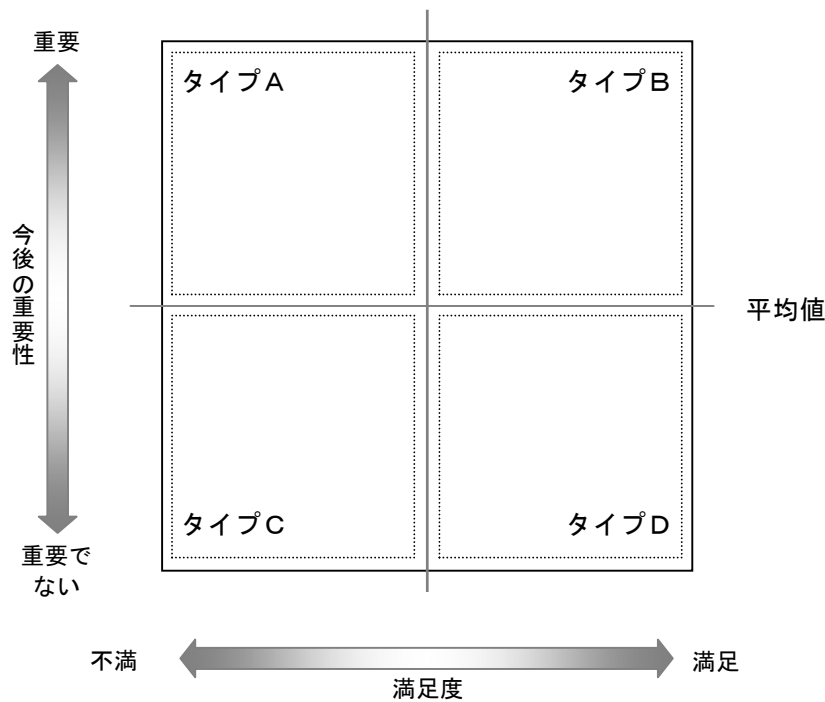
■満足度・重要度のベスト3とワースト3■

満足度		順位	重要度	
施策名	得点		得点	施策名
(6) 地域と市民の元気づくり (12) 支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり	0.06	第1位	1.53	(8) 安心して子育てできる環境づくり
(8) 安心して子育てできる環境づくり (11) 健康で暮らせる環境づくり (13) 安心して暮らせる生活環境づくり	0.04	第2位	1.48	(13) 安心して暮らせる生活環境づくり
(7) 子どもたちのふるさとを愛する心を育む	0.02	第3位	1.22	(11) 健康で暮らせる環境づくり
(2) 地域産業の活力づくり (9) 子どもに心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす	-0.07	第11位	0.82	(6) 地域と市民の元気づくり
(1) 企業の誘致・拡張と活動の支援 (3) 「ひと」と「しごと」の好循環の構築 (10) 結婚への機会づくり	-0.11	第12位	0.66	(5) 定住・移住の促進
(4) 市の魅力の向上と発信	-0.18	最下位	0.43	(10) 結婚への機会づくり

(2) ポートフォリオ分析による満足度・重要度の評価

各項目の満足度・重要度の得点の関係について、満足度・重要度をそれぞれ縦軸と横軸にとり、得点の平均値を境界として、4つの領域に区分したプロット図を作成し、今後の施策の方向性について分析しました。

施策は、全体的に満足度が低く、重要度が高い傾向があり、その中でも重要度および満足度が高い理由についての検証が必要なタイプBに特に分布しています。



◆タイプA

満足度は低い、重要度は高い

→ 今後の重点課題として検討が必要なタイプ。

◆タイプB

満足度は高く、重要度も高い

→ 事業の継続実施、もしくは施策展開について検討が必要なタイプ。

◆タイプC

満足度は低く、重要度も低い

→ 全体に比べ、重要度および満足度が低い理由についての検証が必要なタイプ。施策の縮小や廃止などを含めた検討が必要。

◆タイプD

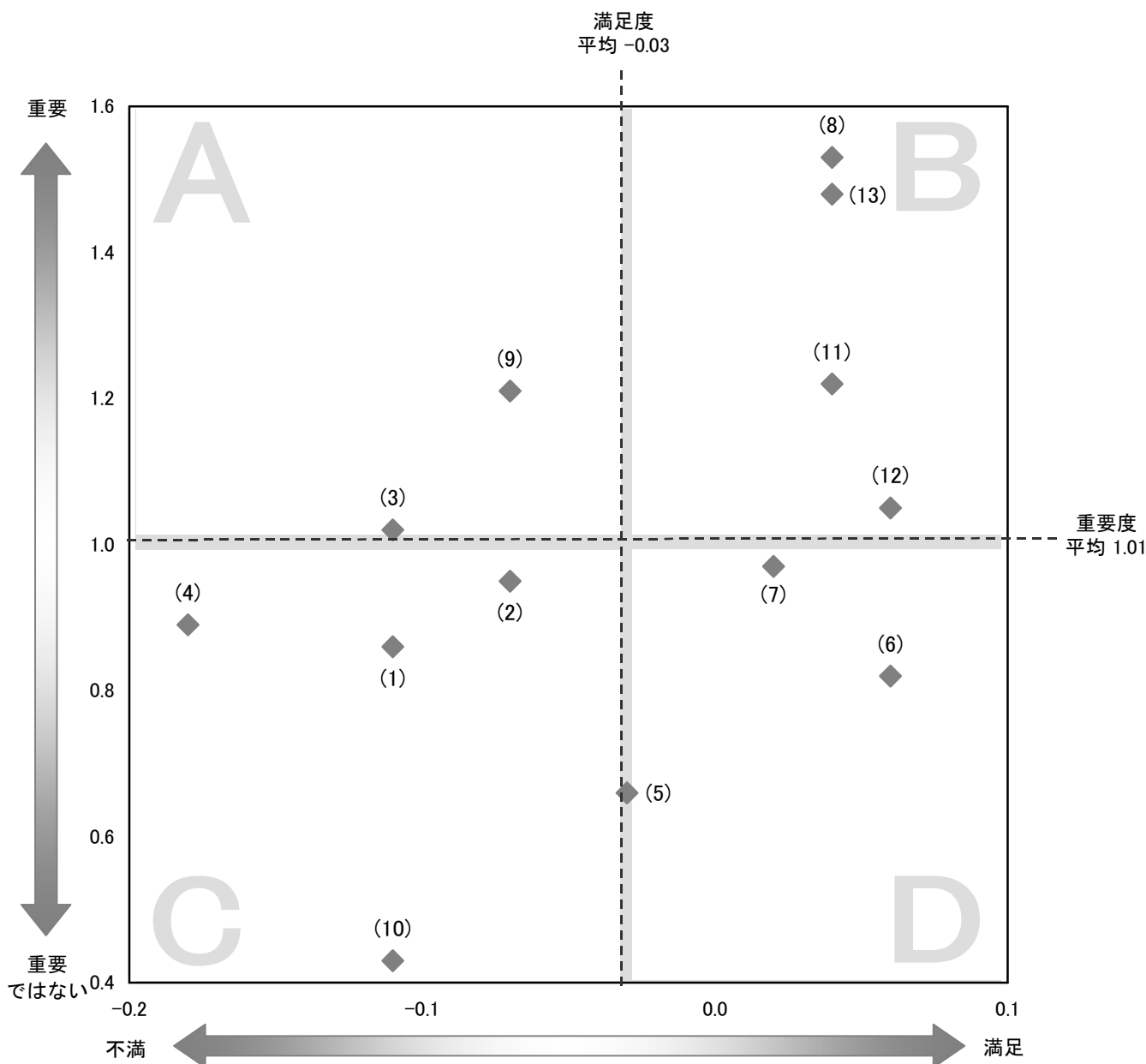
満足度は高い、重要度は低い

→ これまでの施策が充実した結果、満足度が高くなったものが含まれていると考えられるタイプ。ただし、施策が過剰になっていないか検討が必要。

●施策のポートフォリオ分析

満足度は低い、重要度は高い施策（タイプA）は、『(3)「ひと」と「しごと」の好循環の構築』、『(9)子どもの心に寄り添い、個々の力を引き出し、伸ばす』となっています。

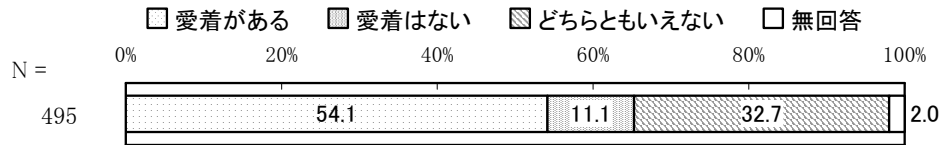
また、満足度は高く、重要度も高い施策（タイプB）は、『(8)安心して子育てできる環境づくり』、『(11)健康で暮らせる環境づくり』、『(12)支え合いにより地域で暮らせる仕組みづくり』、『(13)安心して暮らせる生活環境づくり』となっています。



(4) 可児市のイメージについて

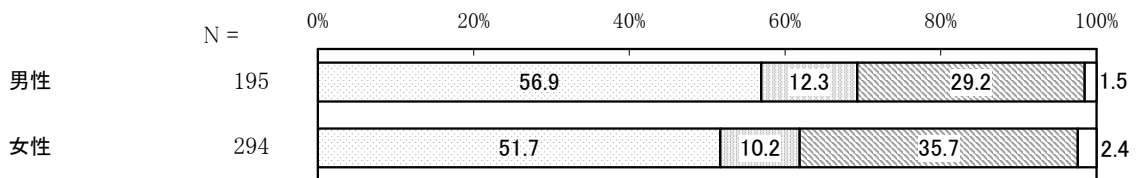
問 10 可児市に愛着はありますか。

「愛着がある」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 32.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「愛着がある」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



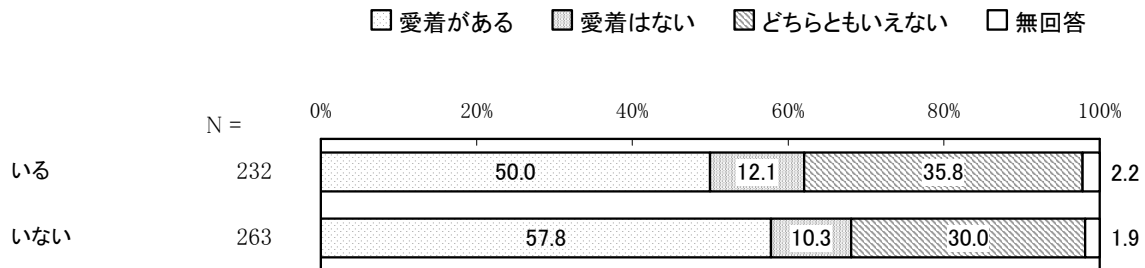
【年代別】

年代別でみると、他の年代に比べ、10歳代で「愛着がある」の割合が高く、約7割となっています。



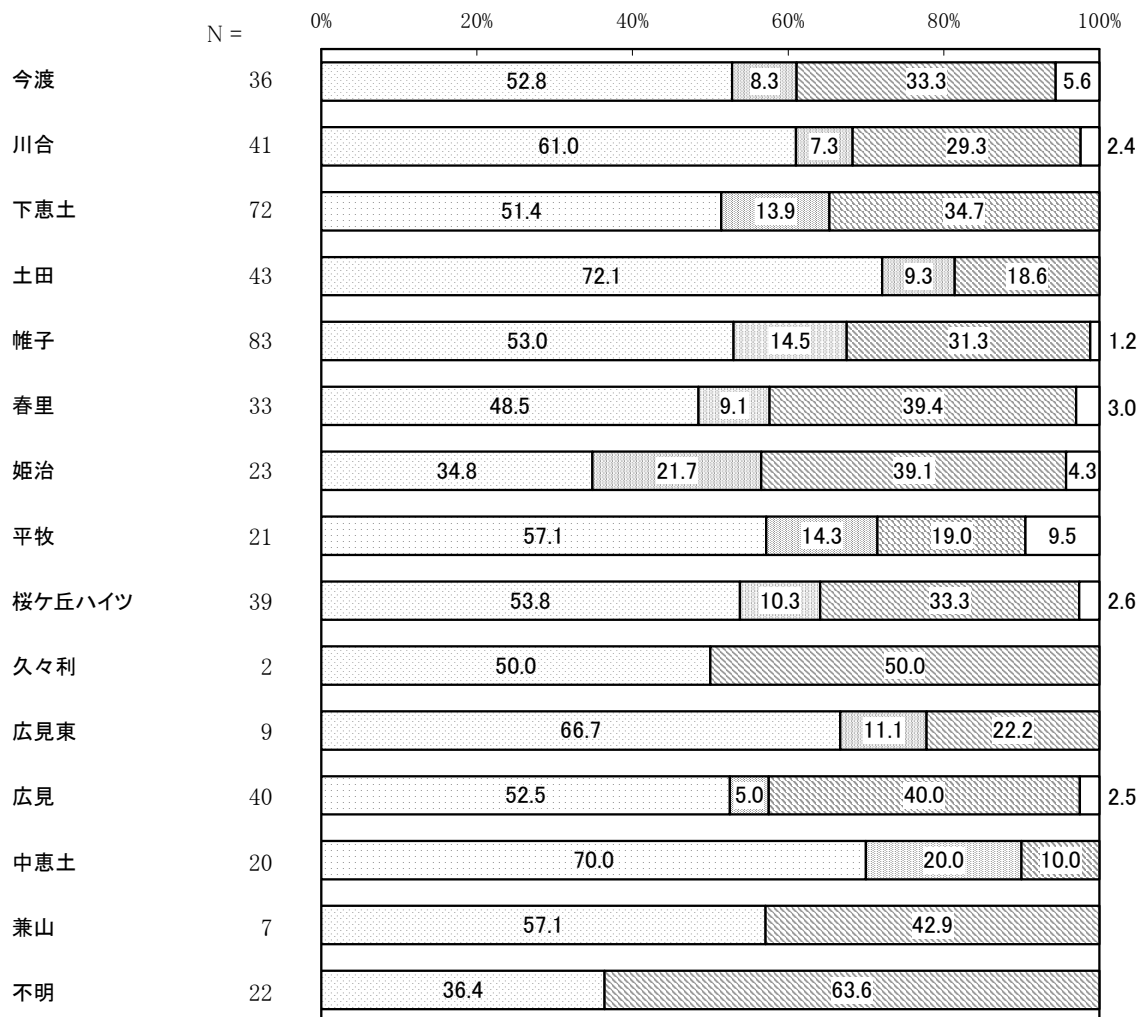
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「愛着がある」の割合が高く、約6割となっています。



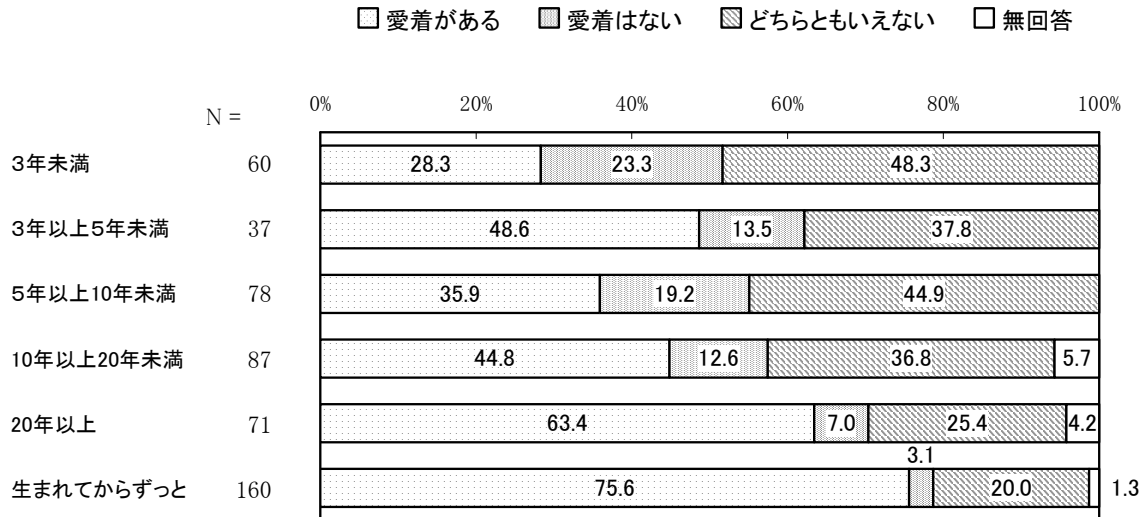
【居住地区別】

居住地区別でみると、土田で、「愛着がある」の割合が最も高く、7割を超えています。また、姫治で「愛着がある」の割合が最も低く、3割半ばとなっています。



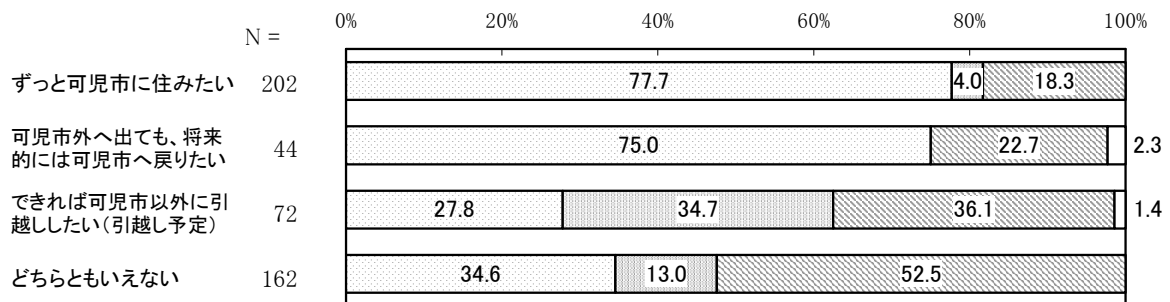
【居住年数別】

居住年数別でみると、居住年数が長くなるにつれ「愛着がある」の割合が高くなる傾向がみられ、生まれてからずっとで7割台半ばとなっています。



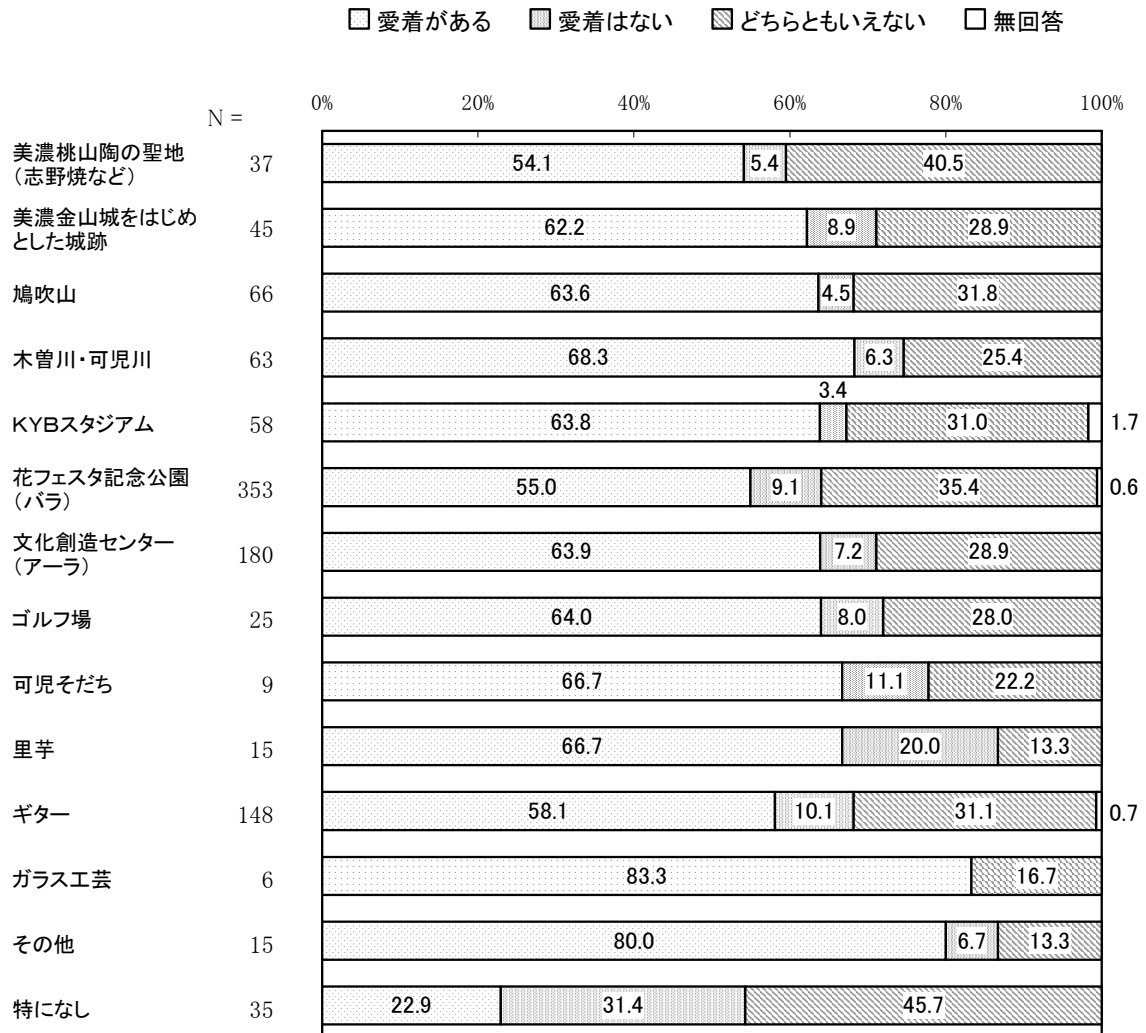
【可児市への定住意向別】

可児市への定住意向別でみると、他に比べ、ずっと可児市に住みたい、可児市外へ出ても、将来的には可児市へ戻りたいで「愛着がある」の割合が高く、7割を超えています。



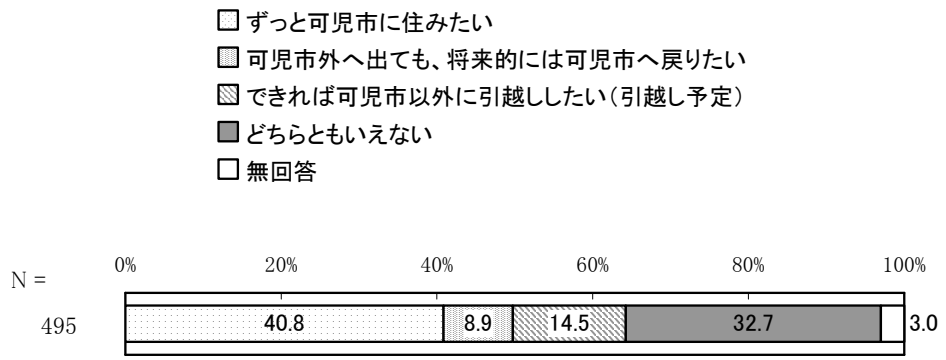
【自慢できる観光資源別】

自慢できる観光資源別でみると、他に比べ、木曾川・可児川で「愛着がある」の割合が高く、約7割となっています。また、特になしで「愛着はない」の割合が高く、約3割となっています。



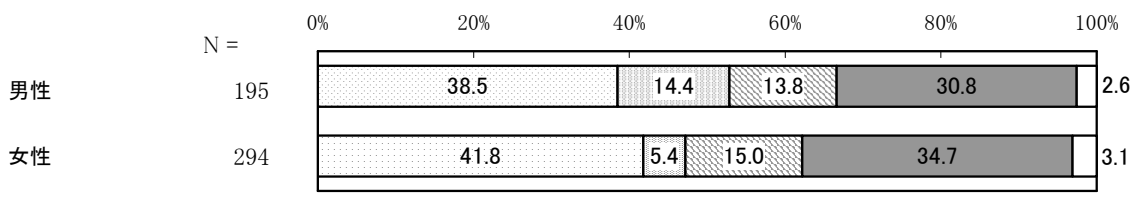
問 11 あなたは、可児市に今後も住み続けようと思いますか。(〇は1つだけ)

「ずっと可児市に住みたい」の割合が40.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が32.7%、「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が14.5%となっています。



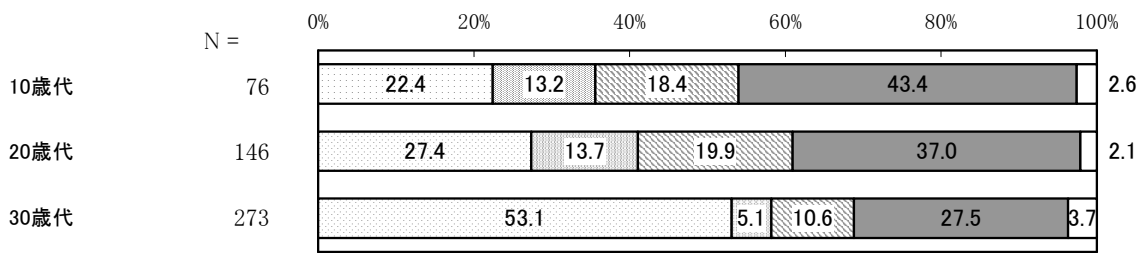
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたい」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



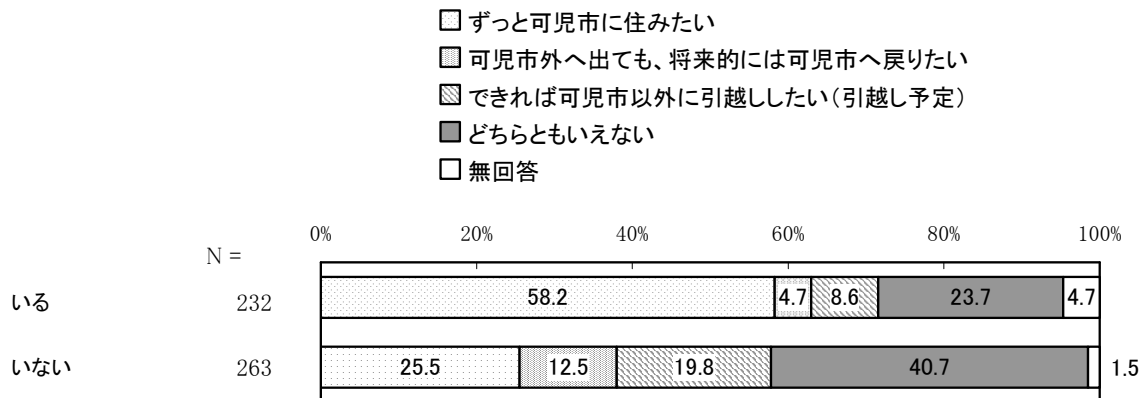
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、30歳代で約5割となっています。



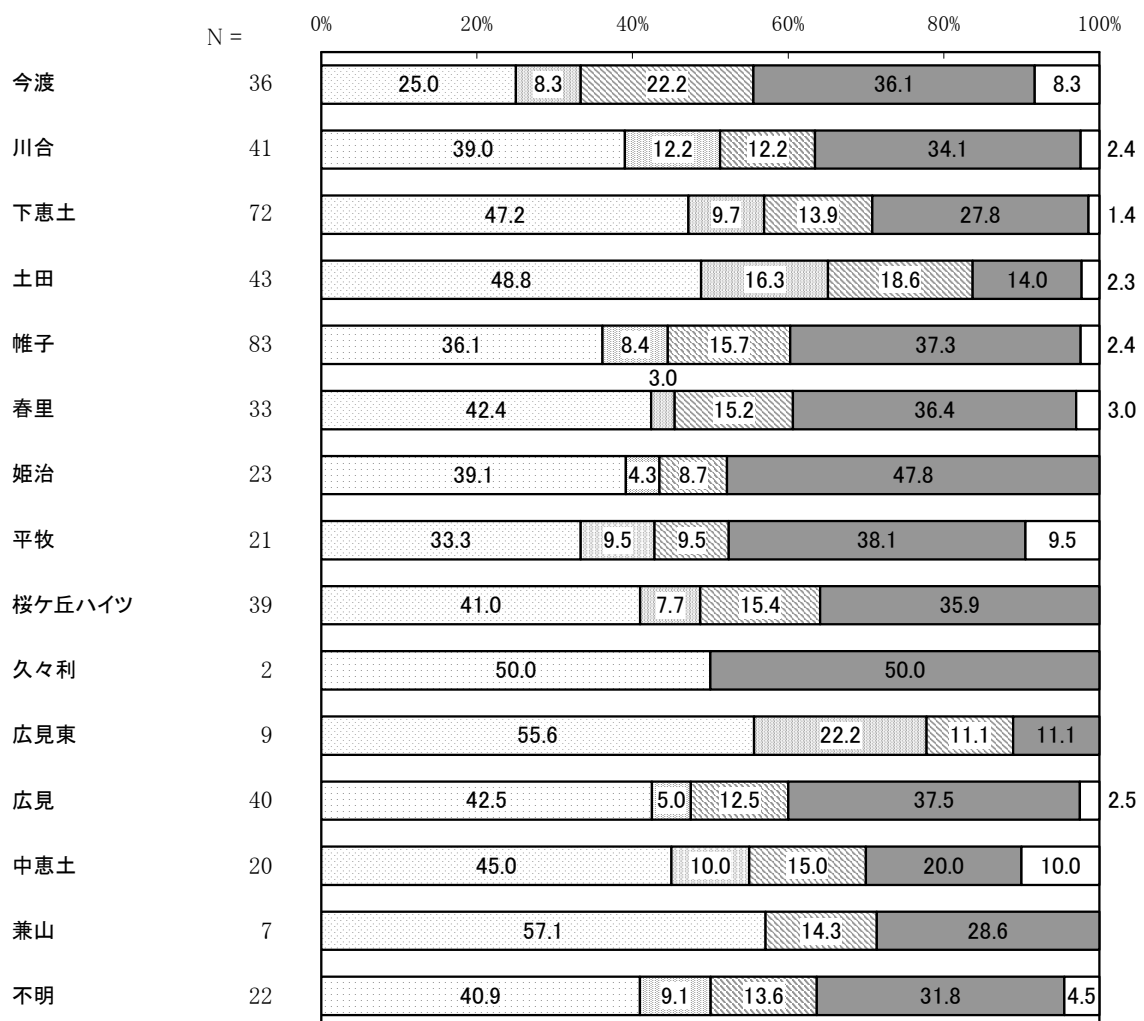
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、約6割となっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)」の割合が高く、約2割となっています。



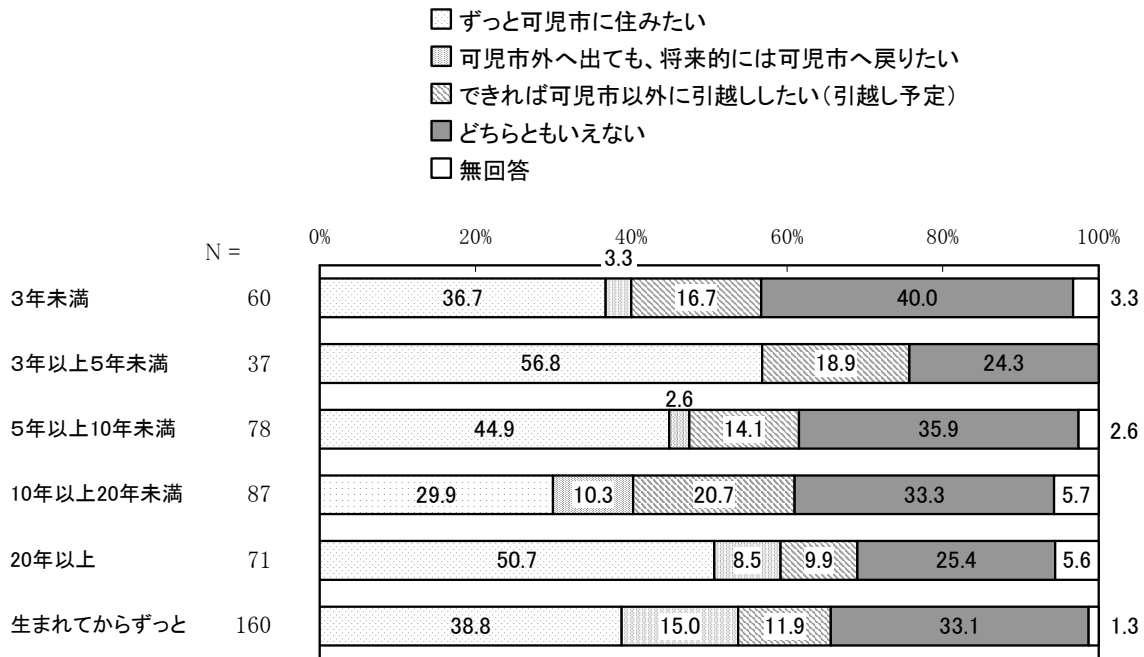
【居住地区別】

居住地区別でみると、他と比べて、兼山、広見東で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高くなっています。また、広見東で「可児市外へ出て、将来的には可児市へ戻りたい」の割合が高く、2割を超えています。



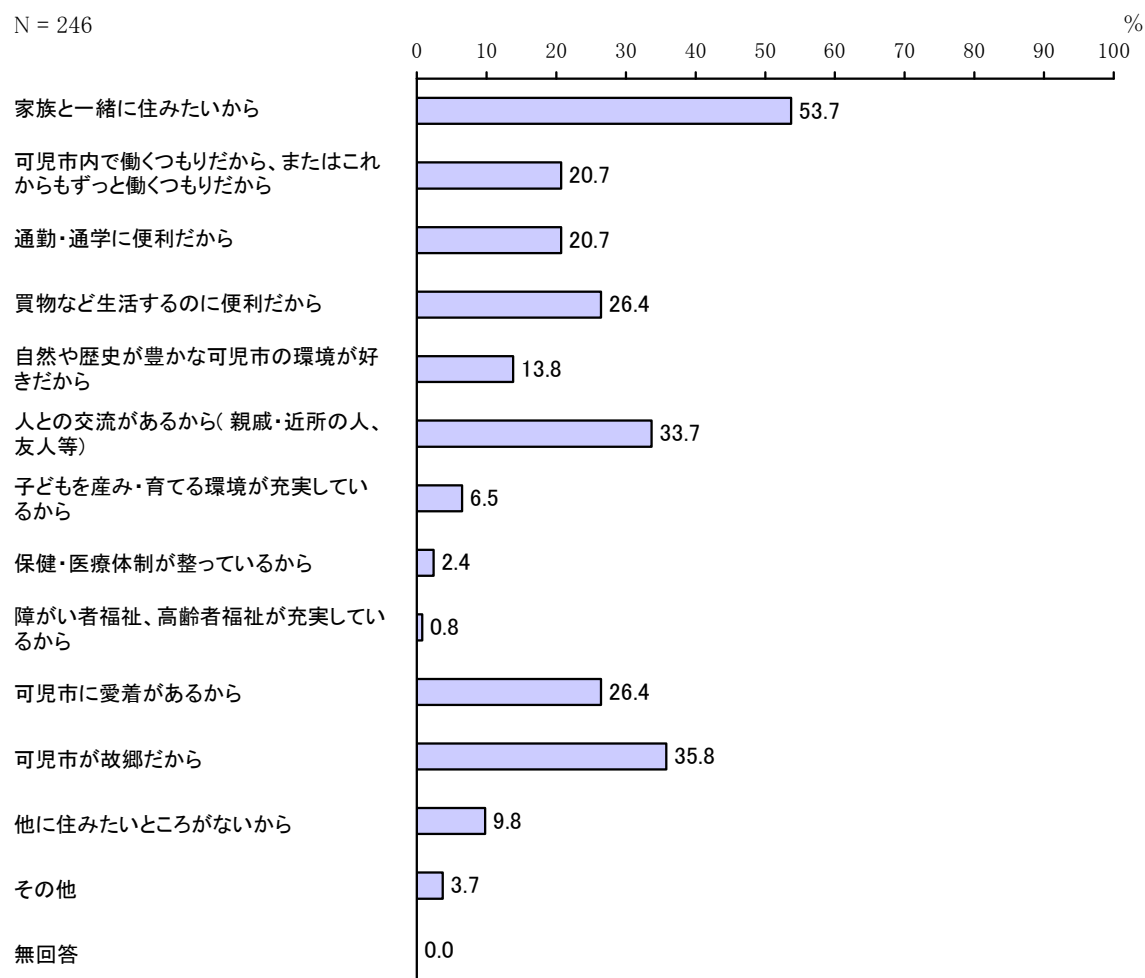
【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、3年以上5年未満で「ずっと可児市に住みたい」の割合が高く、5割台半ばとなっています。



問12 問11で1または2(ずっと可児市に住みたい 可児市外に出ても、将来的には可児市へ戻りたい)とお答えになった方は、その理由を次の中から「3つまで」選んで番号に○をつけてください。

「家族と一緒に住みたいから」の割合が53.7%と最も高く、次いで「可児市が故郷だから」の割合が35.8%、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」の割合が33.7%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「通勤・通学に便利だから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族と一緒に住みたいから」「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「可児市に愛着があるから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、 またはこれからもずっと働く つもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だ から	自然や歴史が豊かな可児市の 環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・ 近所の人、友人等)	子どもを産み育てる環境が充 実しているから
男性	103	46.6	27.2	27.2	27.2	10.7	24.3	5.8
女性	139	58.3	16.5	15.8	26.6	15.8	41.0	7.2

区分	保健 医療体制が整 っているか ら	障がい者福祉、高齢者福祉が充 実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないか ら	その他	無回答
男性	1.9	1.9	21.4	40.8	11.7	2.9	-
女性	2.9	-	29.5	30.9	7.9	4.3	-

【年代別】

年代別でみると、年齢が高くなるにつれ「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」の割合が高く、「人との交流があるから(親戚・近所の人、友人等)」「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が低くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「買物など生活するのに便利だから」の割合が、20歳代で「家族と一緒に住みたいから」の割合が低くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、 またはこれからもずっと働く つもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だ から	自然や歴史が豊かな可児市の 環境が好きだから	人との交流があるから(親戚・ 近所の人、友人等)	子どもを産み育てる環境が充 実しているから
10歳代	27	59.3	7.4	22.2	11.1	11.1	37.0	3.7
20歳代	60	41.7	13.3	20.0	30.0	15.0	35.0	1.7
30歳代	159	57.2	25.8	20.8	27.7	13.8	32.7	8.8

区分	保健医療体制が整っているか ら	障がい者福祉、高齢者福祉が充 実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないか ら	その他	無回答
10歳代	3.7	—	40.7	51.9	7.4	—	—
20歳代	—	3.3	31.7	41.7	13.3	5.0	—
30歳代	3.1	—	22.0	30.8	8.8	3.8	—

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「家族と一緒に住みたいから」「可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから」「人との交流があるから（親戚・近所の人、友人等）」「子どもを産み・育てる環境が充実しているから」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「通勤・通学に便利だから」「自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから」「可児市に愛着があるから」「可児市が故郷だから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、 またはこれからもずっと働く つもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だ から	自然や歴史が豊かな可児市の 環境が好きだから	人との交流があるから（親 戚・近所の人、友人等）	子どもを産み育てる環境が充 実しているから
いる	146	57.5	24.7	17.8	28.1	8.2	38.4	9.6
いない	100	48.0	15.0	25.0	24.0	22.0	27.0	2.0

区分	保健 医療体制が整 っているか ら	障がい者福祉、高齢者福祉が充 実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないか ら	その他	無回 答
いる	3.4	—	23.3	28.8	10.3	4.1	—
いない	1.0	2.0	31.0	46.0	9.0	3.0	—

【居住地区別】

居住地区別でみると、今渡、川合、姫治、広見東で「家族と一緒に住みたいから」の割合が高くなっています。また、他と比べて、姫治で「通勤・通学に便利だから」の割合が最も高く、5割となっています。

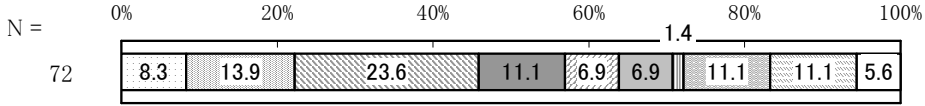
単位：％

区分	有効回答数(件)	家族と一緒に住みたいから	可児市内で働くつもりだから、またはこれからもずっと働くつもりだから	通勤・通学に便利だから	買物など生活するのに便利だから	自然や歴史が豊かな可児市の環境が好きだから	友人等	人との交流があるから(親戚 近所の人)	子どもを産み・育てる環境が充実しているから	保健・医療体制が整っているから	障がい者福祉、高齢者福祉が充実しているから	可児市に愛着があるから	可児市が故郷だから	他に住みたいところがないから	その他	無回答
今渡	12	75.0	16.7	25.0	16.7	—	33.3	8.3	—	—	33.3	41.7	16.7	8.3	—	
川合	21	66.7	14.3	23.8	23.8	9.5	33.3	9.5	—	4.8	23.8	19.0	4.8	4.8	—	
下恵土	41	46.3	29.3	22.0	36.6	9.8	19.5	2.4	—	—	29.3	34.1	9.8	4.9	—	
土田	28	57.1	28.6	10.7	21.4	7.1	53.6	—	3.6	—	28.6	42.9	14.3	—	—	
帷子	37	54.1	13.5	21.6	29.7	27.0	35.1	5.4	2.7	—	21.6	40.5	—	—	—	
春里	15	53.3	6.7	6.7	26.7	33.3	33.3	20.0	6.7	—	13.3	26.7	—	13.3	—	
姫治	10	70.0	20.0	50.0	20.0	—	20.0	—	10.0	—	20.0	30.0	20.0	—	—	
平牧	9	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	22.2	11.1	—	—	33.3	44.4	33.3	11.1	—	
桜ヶ丘 ハイツ	19	42.1	26.3	26.3	15.8	10.5	36.8	15.8	5.3	—	31.6	31.6	15.8	10.5	—	
久々利	1	—	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	
広見東	7	100.0	14.3	—	14.3	—	28.6	14.3	—	—	28.6	71.4	—	—	—	
広見	19	52.6	21.1	36.8	26.3	5.3	31.6	—	5.3	—	31.6	31.6	15.8	—	—	
中恵土	11	45.5	27.3	9.1	36.4	18.2	45.5	9.1	—	—	27.3	36.4	—	—	—	
兼山	4	25.0	—	—	—	25.0	100.0	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	
不明	11	45.5	9.1	18.2	45.5	18.2	18.2	9.1	—	9.1	18.2	27.3	18.2	—	—	

問 13 問 11 で 3（できれば可児市以外に引越したい(引越し予定)）とお答えになった方は、その理由を次の中から「1つ」選んで番号に○をつけて下さい。

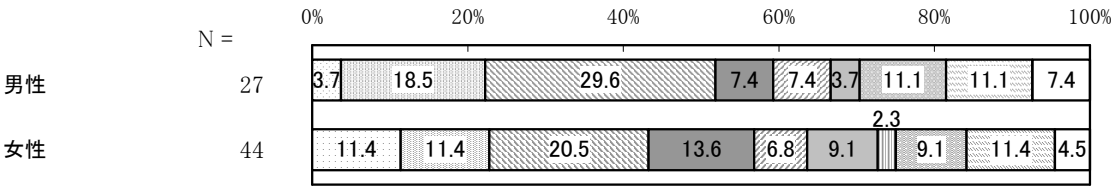
「通学・通勤に不便だから」の割合が 23.6%と最も高く、次いで「進学や仕事の事情(転勤等)から」の割合が 13.9%、「買物など生活するのに不便だから」、「故郷に戻るため」の割合が 11.1%となっています。

- 可児市に働く場所がないから
 通学・通勤に不便だから
 娯楽や遊ぶ施設がないから
 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
 その他
- 進学や仕事の事情(転勤等)から
 買物など生活するのに不便だから
 親との同居や結婚等の事情から
 保健・医療体制が整っていないから
 故郷に戻るため
 無回答



【性別】

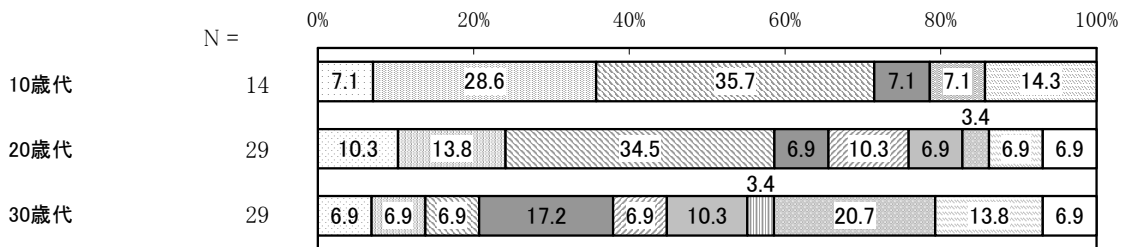
性別でみると、女性に比べ、男性で「進学や仕事の事情(転勤等)から」「通学・通勤に不便だから」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「可児市に働く場所がないから」「買物など生活するのに不便だから」「親との同居や結婚等の事情から」の割合が高くなっています。



【年代別】

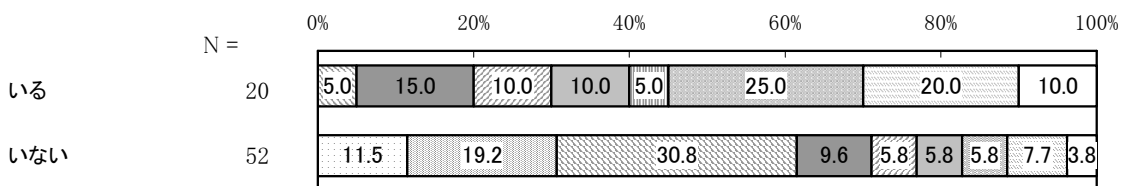
年代別でみると、年代が低くなるにつれ「進学や仕事の事情（転勤等）から」の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、30歳代で「通学・通勤に不便だから」の割合が低く、「買物など生活するのに不便だから」の割合が高くなっています。

- 可児市に働く場所がないから
 - 通学・通勤に不便だから
 - 娯楽や遊ぶ施設がないから
 - 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
 - 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
 - その他
- 進学や仕事の事情（転勤等）から
 - 買物など生活するのに不便だから
 - 親との同居や結婚等の事情から
 - 保健・医療体制が整っていないから
 - 故郷に戻るため
 - 無回答



【子どもの有無別】

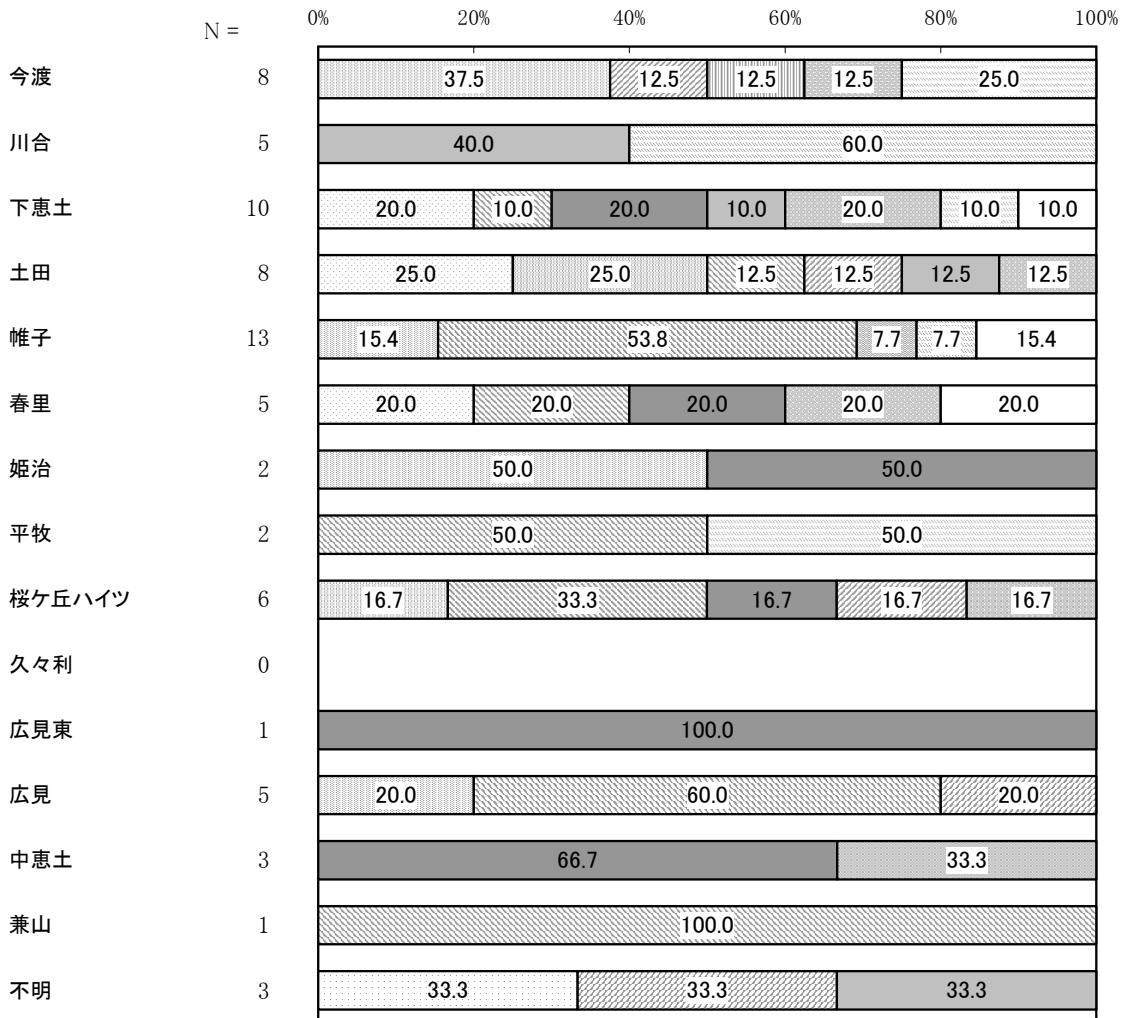
子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「買物など生活するのに不便だから」「子どもを産み・育てる環境が充実していないから」「故郷に戻るため」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「可児市に働く場所がないから」「進学や仕事の事情（転勤等）から」「通学・通勤に不便だから」の割合が高くなっています。



【居住地区別】

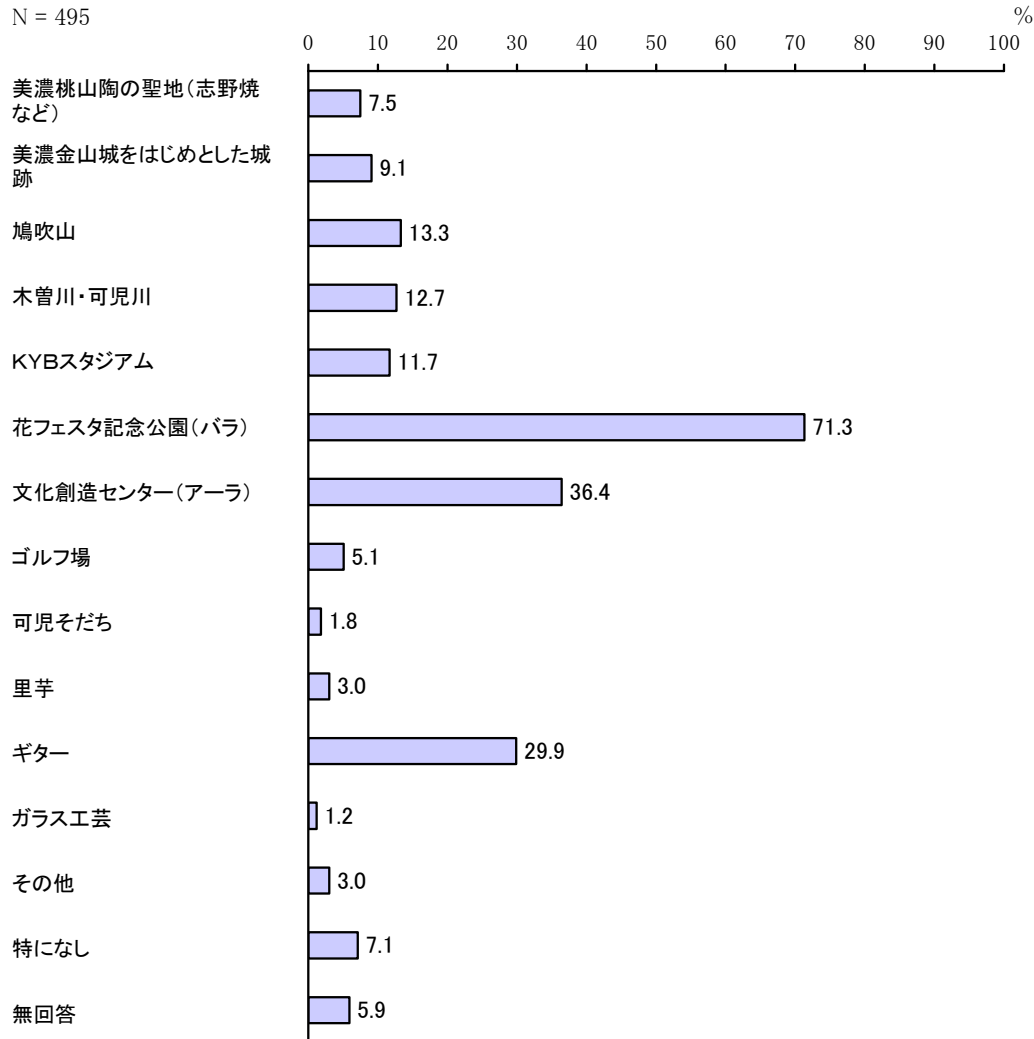
居住地区別でみると、帷子、広見で「通学・通勤に不便だから」の割合が高くなっています。

- 可児市に働く場所がないから
- ▨ 通学・通勤に不便だから
- ▩ 娯楽や遊ぶ施設がないから
- 子どもを産み・育てる環境が充実していないから
- ▧ 障がい者福祉、高齢者福祉が充実していないから
- その他
- ▨ 進学や仕事の事情(転勤等)から
- 買物など生活するのに不便だから
- ▧ 親との同居や結婚等の事情から
- 保健・医療体制が整っていないから
- ▧ 故郷に戻るため
- 無回答



問 14 可児市の自慢できる地域資源（観光施設・特産品など）を次の中から3つまで選んでください。

「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が71.3%と最も高く、次いで「文化創造センター（ア－ラ）」の割合が36.4%、「ギター」の割合が29.9%となっています。



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「花フェスタ記念公園（バラ）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など)	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園（バラ）	文化創造センタ ー アール
男性	195	7.7	7.2	14.9	15.4	14.9	65.1	35.4
女性	294	7.1	10.2	11.9	11.2	9.5	75.9	36.7

区分	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
男性	6.7	1.0	2.1	29.7	0.5	4.6	9.2	5.1
女性	3.7	2.4	3.4	30.6	1.7	2.0	5.4	6.5

【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「鳩吹山」「ギター」の割合が高くなっており、30歳代で3割台半ばとなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で「KYBスタジアム」「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園(バラ)	文化創造センタ ー(アーラ)
10歳代	76	10.5	9.2	11.8	13.2	22.4	67.1	55.3
20歳代	146	6.8	10.3	12.3	15.8	7.5	75.3	35.6
30歳代	273	7.0	8.4	14.3	11.0	11.0	70.3	31.5

区分	ゴルフ場	可児そだち	里辛	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
10歳代	1.3	3.9	3.9	17.1	1.3	2.6	6.6	5.3
20歳代	6.2	1.4	4.1	25.3	2.7	2.7	6.8	4.8
30歳代	5.5	1.5	2.2	35.9	0.4	3.3	7.3	6.6

【居住年数別】

居住年数別で見ると、他に比べ、10年以上20年未満で「KYBスタジアム」「文化創造センター（アーラ）」の割合が高くなっています。また、5年以上10年未満で「ギター」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 志野焼など	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園 バラ	文化創造センタ ー アーラ
3年未満	60	5.0	6.7	5.0	15.0	3.3	71.7	23.3
3年以上5年未満	37	—	8.1	13.5	2.7	8.1	75.7	40.5
5年以上10年未満	78	6.4	6.4	7.7	12.8	6.4	76.9	33.3
10年以上20年未満	87	9.2	8.0	11.5	6.9	20.7	67.8	49.4
20年以上	71	7.0	11.3	19.7	15.5	12.7	63.4	29.6
生まれてからずっと	160	10.0	11.3	17.5	16.3	13.1	73.1	37.5

区分	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
3年未満	5.0	1.7	—	21.7	1.7	3.3	13.3	10.0
3年以上5年未満	5.4	—	5.4	32.4	—	2.7	5.4	13.5
5年以上10年未満	6.4	3.8	2.6	38.5	1.3	2.6	3.8	5.1
10年以上20年未満	2.3	1.1	5.7	24.1	—	—	6.9	6.9
20年以上	8.5	1.4	2.8	32.4	—	4.2	8.5	5.6
生まれてからずっと	4.4	1.9	2.5	30.0	2.5	4.4	5.6	2.5

【居住地区別】

居住地区別でみると、桜ヶ丘ハイツで「美濃桃山陶の聖地（志野焼など）」の割合が高くなっています。また、春里、姫治で「KYBスタジアム」の割合が高くなっています。

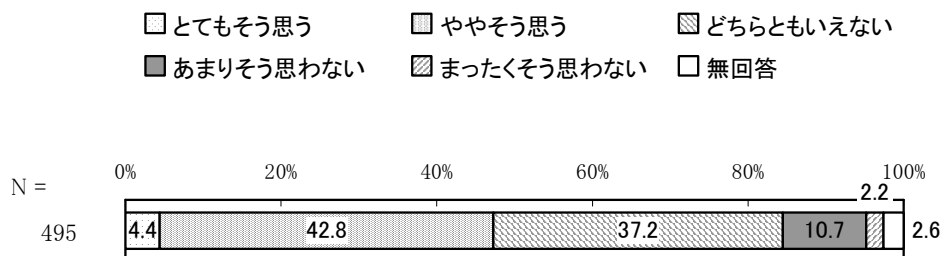
単位：％

区分	有効回答数 (件)	美濃桃山陶の聖地 (志野焼など)	美濃金山城をはじ めとした城跡	鳩吹山	木曾川・可児川	KYBスタジアム	花フェスタ記念公 園(バラ)	文化創造センタ ー アロー	ゴルフ場	可児そだち	里芋	ギター	ガラス工芸	その他	特になし	無回答
今渡	36	5.6	8.3	2.8	8.3	8.3	58.3	52.8	2.8	2.8	2.8	36.1	2.8	11.1	5.6	8.3
川合	41	7.3	12.2	17.1	22.0	7.3	87.8	41.5	4.9	—	2.4	17.1	—	—	—	4.9
下恵土	72	5.6	9.7	13.9	15.3	8.3	72.2	38.9	2.8	1.4	4.2	30.6	1.4	4.2	9.7	4.2
土田	43	—	9.3	23.3	20.9	14.0	53.5	25.6	2.3	2.3	2.3	30.2	—	2.3	11.6	2.3
帷子	83	4.8	7.2	26.5	18.1	13.3	79.5	43.4	6.0	1.2	3.6	24.1	1.2	2.4	3.6	6.0
春里	33	9.1	—	12.1	3.0	27.3	54.5	54.5	6.1	3.0	3.0	33.3	—	3.0	9.1	9.1
姫治	23	4.3	4.3	13.0	8.7	21.7	73.9	26.1	4.3	4.3	—	26.1	—	—	13.0	—
平牧	21	14.3	14.3	—	9.5	9.5	52.4	23.8	4.8	—	—	23.8	4.8	4.8	4.8	19.0
桜ヶ丘 ハイツ	39	28.2	7.7	5.1	7.7	—	69.2	23.1	—	2.6	7.7	38.5	2.6	—	12.8	5.1
久々利	2	50.0	—	—	—	50.0	100.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—	—	—
広見東	9	11.1	—	—	22.2	22.2	66.7	33.3	—	—	—	44.4	—	—	11.1	—
広見	40	2.5	5.0	5.0	2.5	12.5	80.0	27.5	12.5	—	—	40.0	—	—	5.0	7.5
中恵土	20	5.0	15.0	10.0	15.0	10.0	75.0	20.0	10.0	—	5.0	20.0	—	10.0	5.0	15.0
兼山	7	—	71.4	—	—	14.3	85.7	14.3	—	—	—	28.6	—	—	—	—
不明	22	9.1	13.6	13.6	9.1	9.1	81.8	36.4	9.1	9.1	4.5	36.4	4.5	4.5	4.5	—

(5) 子育て環境について

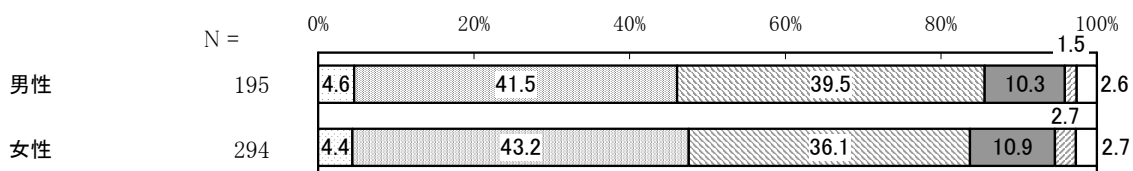
問 15 可児市は、子育てしやすい環境だと思いますか。(○は1つだけ)

「とてもそう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が 47.2%、「どちらともいえない」の割合が 37.2%、「あまりそう思わない」と「まったくそう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が 12.9%となっています。



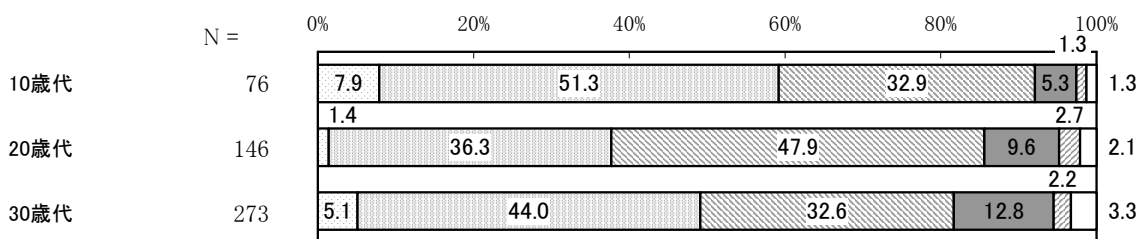
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



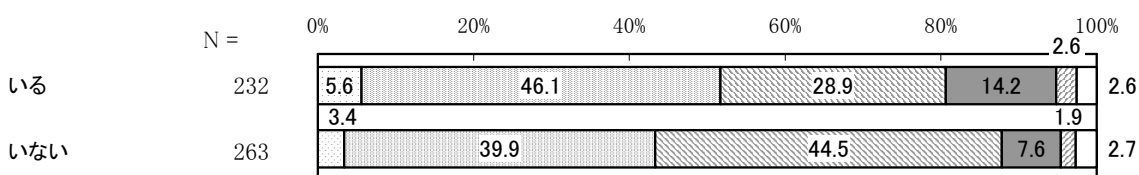
【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ“そう思わない”の割合が高くなっています。また、他の年代に比べ、10歳代で“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。



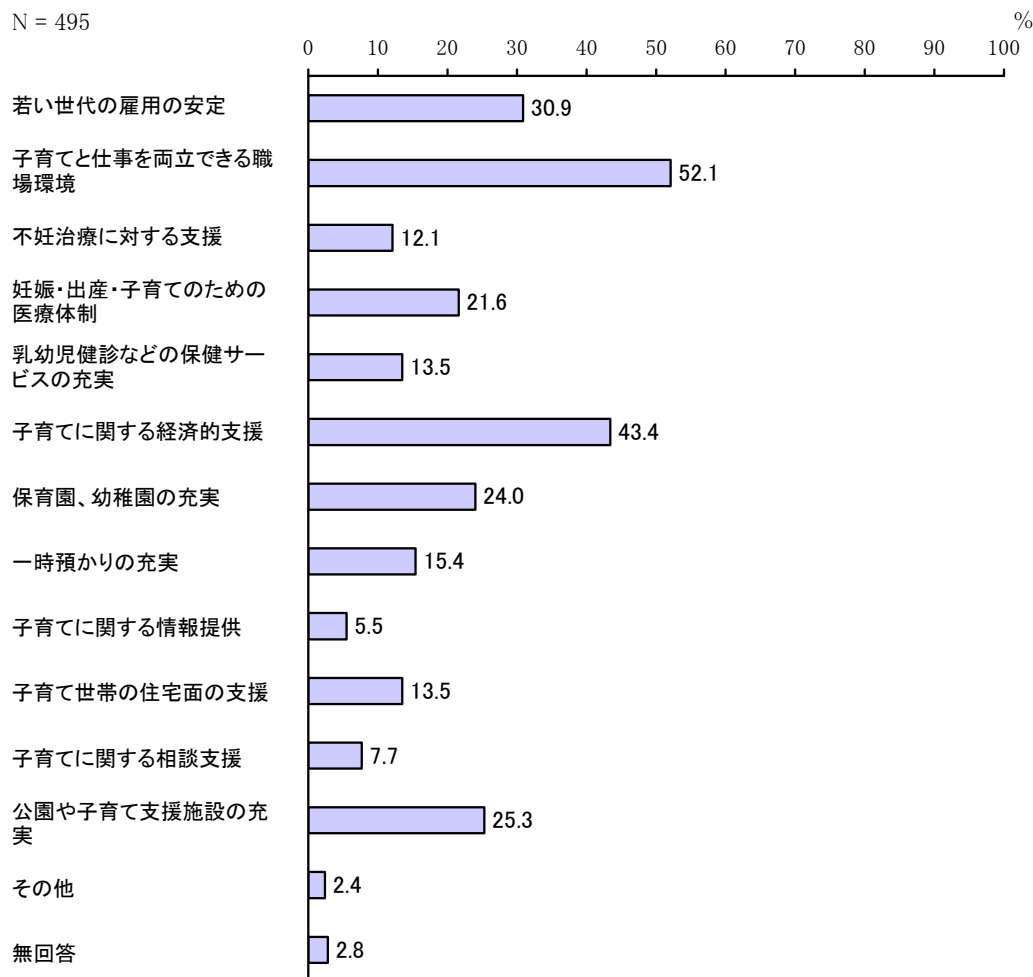
【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で“そう思う”“そう思わない”両方とも割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「どちらともいえない」の割合が高く、4割台半ばとなっています。



問 16 妊娠・出産・子育てのために、市は今後どのようなことを重視した支援策に取り組むべきと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「子育てに関する経済的支援」の割合が 43.4%、「若い世代の雇用の安定」の割合が 30.9%となっています。



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「若い世代の雇用の安定」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「一時預かりの充実」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
男性	195	43.1	42.6	9.7	22.6	11.3	42.6	22.1
女性	294	22.4	58.5	13.9	21.1	15.0	43.9	25.2

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
男性	12.3	5.6	12.8	8.2	20.5	4.1	3.6
女性	17.7	4.8	13.9	7.5	28.9	1.4	2.4

【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「子育てと仕事を両立できる職場環境」「不妊治療に対する支援」「子育て世帯の住宅面の支援」の割合が高くなっています。また、年代が低くなるにつれ「若い世代の雇用の安定」「乳幼児健診などの保健サービスの充実」「保育園、幼稚園の充実」「子育てに関する情報提供」「子育てに関する相談支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
10歳代	76	39.5	44.7	2.6	15.8	18.4	34.2	40.8
20歳代	146	35.6	51.4	9.6	26.0	13.7	45.2	24.0
30歳代	273	26.0	54.6	16.1	20.9	12.1	45.1	19.4

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
10歳代	11.8	11.8	5.3	14.5	19.7	—	3.9
20歳代	11.0	4.8	13.0	9.6	15.8	2.7	4.1
30歳代	18.7	4.0	16.1	4.8	31.9	2.9	1.8

【子どもの有無別】

子どもの有無別でみると、子どもがいない人に比べ、子どもがいる人で「子育てと仕事を両立できる職場環境」「不妊治療に対する支援」「子育てに関する経済的支援」「一時預かりの充実」「子育て世帯の住宅面の支援」「公園や子育て支援施設の充実」の割合が高くなっています。また、子どもがいる人に比べ、子どもがいない人で「若い世代の雇用の安定」「妊娠・出産・子育てのための医療体制」「子育てに関する相談支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
いる	232	17.7	57.3	15.1	17.7	12.5	50.4	22.4
いない	263	42.6	47.5	9.5	25.1	14.4	37.3	25.5

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
いる	19.8	3.4	19.4	4.3	36.2	1.7	1.3
いない	11.4	7.2	8.4	10.6	15.6	3.0	4.2

【職業別】

職業別でみると、他に比べ、嘱託・契約社員で「若い世代の雇用の安定」「子育てと仕事を両立できる職場環境」の割合が、正社員・正職員、家事専業で「子育てに関する経済的支援」の割合が高くなっています。

単位：％

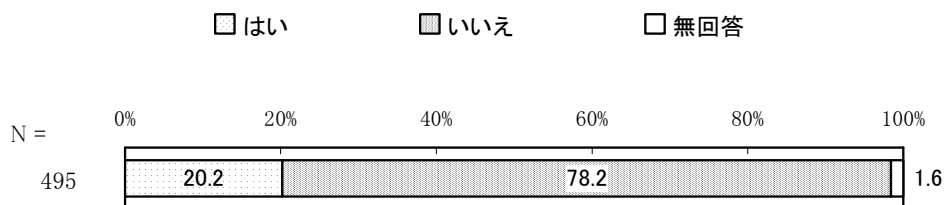
区分	有効回答数 (件)	若い世代の雇用の安定	子育てと仕事を両立できる職場環境	不妊治療に対する支援	妊娠・出産・子育てのための医療体制	乳幼児健診などの保健サービスの充実	子育てに関する経済的支援	保育園、幼稚園の充実
正社員・正職員	198	28.8	47.5	10.6	22.2	13.6	50.5	28.3
アルバイト・パート	65	27.7	63.1	16.9	23.1	10.8	38.5	18.5
派遣社員	5	20.0	100.0	20.0	20.0	—	60.0	—
嘱託・契約社員	10	60.0	70.0	20.0	10.0	—	40.0	10.0
自営業主・家族従業員	22	27.3	59.1	13.6	18.2	—	40.9	22.7
内職	5	20.0	80.0	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0
家事専業	74	17.6	52.7	17.6	18.9	14.9	50.0	14.9
学生	84	46.4	46.4	2.4	19.0	20.2	31.0	34.5
無職	23	39.1	47.8	17.4	30.4	8.7	26.1	13.0
その他	7	42.9	57.1	28.6	28.6	—	28.6	14.3

区分	一時預かりの充実	子育てに関する情報提供	子育て世帯の住宅面の支援	子育てに関する相談支援	公園や子育て支援施設の充実	その他	無回答
正社員・正職員	15.2	5.1	16.7	7.1	23.7	3.5	2.0
アルバイト・パート	15.4	3.1	12.3	7.7	26.2	3.1	4.6
派遣社員	20.0	—	20.0	20.0	20.0	—	—
嘱託・契約社員	10.0	20.0	20.0	—	30.0	—	—
自営業主・家族従業員	27.3	—	13.6	4.5	27.3	4.5	—
内職	—	—	40.0	—	20.0	—	—
家事専業	21.6	4.1	17.6	5.4	39.2	—	1.4
学生	10.7	10.7	4.8	11.9	16.7	—	2.4
無職	13.0	4.3	4.3	8.7	26.1	4.3	13.0
その他	—	—	—	14.3	—	14.3	14.3

(6) 運動の推進について

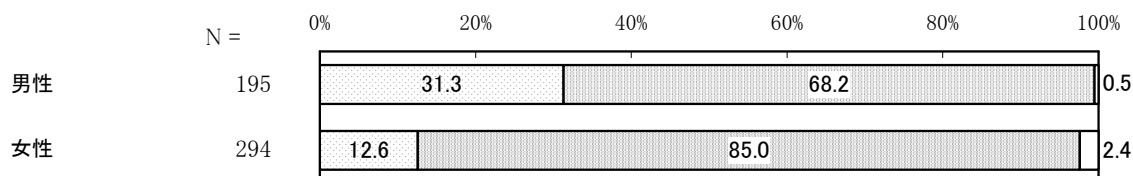
問 17 可児市では、1回30分週2回のウォーキングを推奨する歩こう可児302運動や1人の市民が少なくとも1つのスポーツに親しむ一市民スポーツを推進しています。あなたは、30分以上の運動を週2回以上、1年以上続けていますか。

「はい」の割合が20.2%、「いいえ」の割合が78.2%となっています。



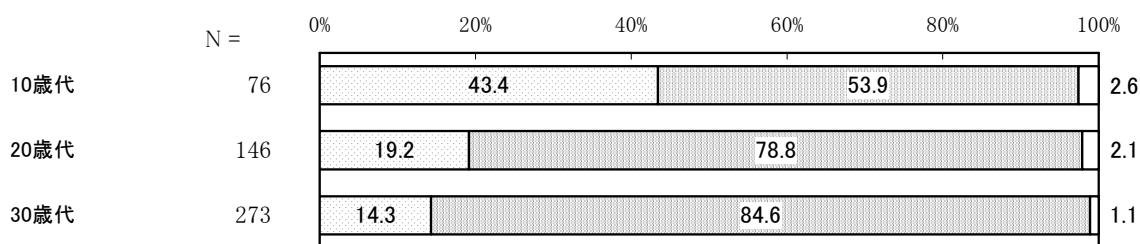
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「はい」の割合が高く、約3割となっています。



【年代別】

年代別でみると、年代が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなっており、10歳代で約4割となっています。



可児市市民意識アンケート調査
調査結果報告書

平成 28 年 9 月

発行：可児市 企画部 総合政策課